

2025年度シラバス

科目名 ¹	生命倫理・動物福祉		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	生命倫理の考え方や動物愛護・動物福祉について学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	生命倫理の考え方や、獣医療とのかわり方を学ぶ。 「5つの自由」や動物福祉の評価方法、安楽死の考え方を理解する。 愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物の福祉問題とその対策を学ぶ。 殺処分や虐待の問題、災害時の対応、走物実験の3Rについて考える。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第1章 P.171～第9章 P.318)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「生命倫理・動物福祉」(授業担当教員作) 成績判定 試験五肢択一問題50問 (授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	特になし			関連後科目 ¹⁹	人と動物の関係学			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月18日	生命倫理の概念	生命倫理の考え方や獣医療への関わりについて説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P171～P176
第2回	4月25日	様々な動物観と歴史的な遍歴	国や宗教による動物観の違いやその歴史を説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P177～P186
第3回	5月9日	動物愛護運動の歴史	近代および現代の動物愛護運動について説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P187～P193
第4回	5月16日	動物の権利と福祉①	動物の権利・5つの自由を理解し、説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P193～P195
第5回	5月23日	動物の権利と福祉②	日本における「動物愛護」と世界における「動物福祉」の違いを理解する。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P195～P196
第6回	5月30日	安楽死について	動物病院での安楽死の考え方を知り、動物看護師の役割について理解する。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P197～P204
第7回	6月6日	動物福祉の評価	動物福祉の生理的・行動的指標の種類と測定方法を説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P205～P215
第8回	6月13日	動物福祉と社会	動物福祉に関する方と行政の仕組みの概要を理解する。 動物福祉が経済・教育・保護活動にどのような影響を及ぼすか理解する。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P217～P230
第9回	6月20日	愛玩動物の福祉	愛玩動物の飼育や福祉の問題、適正な管理方法を理解する。 また、動物保護や虐待、殺処分、災害対策について学ぶ。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P231～P251
第10回	6月27日	産業動物の福祉	産業動物福祉の定義や国際標準を理解し、飼育の現状を学ぶ。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P253～P280
第11回	7月4日	実験動物の福祉	3Rの概念と具体的方法について説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P281～P294
第12回	7月18日	展示動物及び使役動物の福祉	動物展示の意義と現状を理解し、環境エンリッチメントについて考え、説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P295～P308
第13回	7月25日	野生動物の福祉	野生動物の福祉上の問題点を説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 P309～P318
第14回	8月29日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	9月5日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	-

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間) 50問(五肢択一問題)
課題レポート: 10%分 (評価基準は授業内で発信)
授業態度: 減点方式 (遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席: 減点方式 (1回欠席5点 2回欠席3点 3回欠席1点 とする)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀 (S) : 100点～90点
②確認テスト	1位		2位			20	優 (A) : 89点～80点
③課題レポート		2位	1位			10	良 (B) : 79点～70点
④授業態度			2位	1位		10	可 (D) : 69点～60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	西 景子
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物形態機能学 I ²			学科名 (コース名) ²	動物看護科		学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業。「動物形態機能学 I」と「動物形態機能学 II」の履修を以って、愛玩動物看護師カリキュラム「動物形態機能学」の履修となる。動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基礎を確立する。※この科目は理解度を高めるために「動物形態機能学 I」と「動物形態機能学 II」の中で、教科書の内容を							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 1. 生命のすがた 1) 細胞の構造について理解する 2) DNAの働きについて理解する 3) 上皮組織、腺組織、支持組織、筋組織、神経組織について理解する							
受講条件	13 動物看護科に在籍している							
教科書名	14 EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1巻」			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物形態機能学 I」(授業担当教員作)、小テスト			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	ヒューマン・アニマル・ボンド「デジタルアナトミーWEB」			
関連前科目	18 なし			関連後科目 ¹⁹	動物形態機能学 II、動物形態機能学実習			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1.2回	○月○日	授業概要説明 第1章 生命のすがた	授業内容: 第1章 体を形作る基本物質～遺伝情報 到達目標: 第5回にて実施の第1章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P3-16
第3.4回	○月○日	第1章 生命のすがた 第2章 血液と造血器	授業内容: 第1章 ～気管の成り立ちと維持・調節システム、第2章 血球成分と血漿成分～赤血球の構造と機能 到達目標: 第5回にて実施の第1章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P16-27、P31-35
第5.6回	○月○日	第2章 血液と造血器 第3章 血液循環とその調節	授業内容: 第1章 小テスト実施、第2章 白血球の構造と機能～血小板機能と血液凝固機序および繊維素溶解、第3章 循環器系の概要～心臓の周期 到達目標: 第9回にて実施の第2-3章小テストで60%以上の正答率で答えられる				第1巻 小テスト 教科書 第1巻 P31-42、P45-53
第7.8回	○月○日	第3章 血液循環とその調節 第4章 生体の防御機構	授業内容: 第3章 心電図～脾臓のしくみ、第4章 生体を守る防御機構～獲得免疫 到達目標: 第9回にて実施の第2-3章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P53-71、P77-85
第9.10回	○月○日	第5章 脳と神経 第6章 感覚と情報伝達	授業内容: 第2-3章 小テスト実施、第5章 脳と神経系の役割～行動の神経調節、第6章 感覚系とは～聴覚と平衡感覚 到達目標: 第13回にて実施の第4-7章小テストで60%以上の正答率で答えられる				第2-3巻 小テスト 教科書 第1巻 P91-139、P145-170
第11.12回	○月○日	第6章 感覚と情報伝達(続き)	授業内容: 第6章 聴覚と平衡感覚～視覚 到達目標: 第13回にて実施の第4-7章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P145-185
第13.14回	○月○日	第7章 からだの支持と運動	授業内容: 第7章 体の位置・方向を示す用語と表面解剖学的区分～骨格筋 到達目標: 第13回にて実施の第4-7章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P189-233
第15.16回	○月○日	第8章 外皮系と体温調節	授業内容: 第4-7章 小テスト実施、第8章 外皮 到達目標: 第25回にて実施の第8-12章小テストで60%以上の正答率で答えられる				第4-7巻 小テスト 教科書 第1巻 P239-241
第17.18回	○月○日	第8章 外皮系と体温調節 第9章 呼吸とその調節	授業内容: 第8章 皮膚の付属器官～皮膚による体温調節機構、第9章 呼吸器の構造～呼吸 到達目標: 第25回にて実施の第8-12章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P255-263
第19.20回	○月○日	第10章 内分泌とホルモン 第11章 消化吸収と栄養代謝	授業内容: 第10章 内分泌とは外分泌や傍分泌との違い～消化管ホルモンの機能、第11章 歯の分類と数 到達目標: 第25回にて実施の第8-12章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P267-288 教科書 第1巻 P293-294
第21.22回	○月○日	第11章 消化吸収と栄養代謝	授業内容: 第11章 舌の形と働き～ミネラル 到達目標: 第25回にて実施の第8-12章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P295-328
第23.24回	○月○日	第12章 尿の生成と体液調節	授業内容: 第12章 腎臓～酸・塩基平衡 到達目標: 第25回にて実施の第8-12章小テストで60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P335-365
第25.26回	○月○日	第1章 生命のすがた (2回目)	授業内容: 第8-12章 小テスト実施、第1章 体を形作る基本物質～遺伝情報 到達目標: 第29回にて実施の成績判定試験で60%以上の正答率で答えられる				第8-12巻 小テスト 教科書 第1巻 P3-16
第27.28回	○月○日	第1章 生命のすがた (2回目)	授業内容: 第1章 上皮組織・腺組織・支持組織・筋組織・神経組織、気管の成り立ちと維持・調節システム 到達目標: 第29回にて実施の成績判定試験で60%以上の正答率で答えられる				教科書 第1巻 P16-27
第29.30回	○月○日	授業振り返り/単位認定試験/テスト返し/解説	授業振り返り/授業内にて前期末試験/試験の問題の意義/復習する				※学生証が必要

成績評価方法 21.

成績判定試験: 第29回にて実施 五肢択一問題 70問 50分間
小テスト: 第5回、第9回、第13回、第25回にて実施。 各回の進捗により問題数は変更。詳細は各回の小テスト前の授業にて解説
授業態度: 減点方式 (居眠りや私語、許可のない個人端末使用等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席: 欠席回数0回: 10点、1回: 8点、2回: 5点、3回: 4点、4回: 3点、5回: 2点、6-7回: 1点
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀 (S) : 100点～90点	
②小テスト	1位	2位				20	優 (A) : 89点～80点	
③課題レポート						なし	良 (B) : 79点～70点	
④授業態度			1位	2位		20	可 (D) : 69点～60点	
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥出席				1位		10		
							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	林 弘之
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物形態機能学Ⅱ ²			学科名(コース名) ²	動物看護科		学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要(全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業。「動物形態機能学Ⅰ」と「動物形態機能学Ⅱ」の履修を以って、愛玩動物看護師カリキュラム「動物形態機能学」の履修となる。動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基礎を確立する。							
科目の到達目標(教育課程の位置づけ)	12 1. 生命のすかた 1) 細胞の構造について理解する 2) DNAの働きについて理解する 3) 上皮組織、腺組織、支持組織、筋組織、神経組織について理解する							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。動物形態機能学Ⅰの単位取得。							
教科書名	14 EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1巻」			教材名	15 PowerPoint「動物形態機能学Ⅱ」(授業担当教員作)、小テスト			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト	17 ヒューマン・アニマル・ボンド「デジタルアトミーWEB」			
関連前科目	18 動物形態機能学Ⅰ			関連後科目	19 動物形態機能学実習			

20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材				
第1~2回	○月○日	第2章 血液と造血器(2巡目) 第3章 血液循環とその調節(2巡目)	授業内容:第2章 血球成分と血小板機能と血液凝固機構および繊維素溶解、第3章 循環器系の概要~心臓の周期 到達目標:第17回にて実施の中間確認テストで60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P31-42、P45-53				
第3~4回	○月○日	第3章 血液循環とその調節(2巡目) 第4章 生体の防御機構(2巡目)	授業内容:第3章 心電図~脾臓のしくみ、第4章 生体を守る防御機構~獲得免疫 到達目標:第17回にて実施の中間確認テストで60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P53-71、P77-80				
第5~6回	○月○日	第4章 生体の防御機構(2巡目)	授業内容:第1-3章小テスト実施。第4章 生体を守る防御機構~獲得免疫 到達目標:第17回にて実施の中間確認テストで60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P80-85				
第7~8回	○月○日	第5章 脳と神経(2巡目)	授業内容:第5章 脳と神経系の役割~行動の神経調節 到達目標:第17回にて実施の中間確認テストで60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P91-114				
第9~10回	○月○日	第5章 脳と神経(2巡目) 第6章 感覚と情報伝達(2巡目)	授業内容:第5章 脳と神経系の役割~行動の神経調節、第6章 感覚系とは~聴覚と平衡感覚 到達目標:第17回にて実施の中間確認テストで60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P114-153				
第11~12回	○月○日	第6章 感覚と情報伝達(2巡目)	授業内容:第6章 感覚系とは~聴覚と平衡感覚 到達目標:第17回にて実施の中間確認テストで60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P154-182				
第13~14回	○月○日	第6章 感覚と情報伝達(2巡目) 第7章 からだの支持と運動(2巡目)	授業内容:第6章 感覚系とは~聴覚と平衡感覚、第7章 体の位置・方向を示す用語と表面解剖学的区分~骨格筋 到達目標:第17回にて実施の中間確認テストで60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P182-185、P189-199				
第15~16回	○月○日	第7章 からだの支持と運動(2巡目)	授業内容:第7章 体の位置・方向を示す用語と表面解剖学的区分~骨格筋 到達目標:第17回にて実施の中間確認テストで60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P199-212				
第17~18回	○月○日	中間確認テスト 第7章 からだの支持と運動(2巡目) 第8章 外皮系と体温調節(2巡目)	授業内容:中間確認テスト、第7章 体の位置・方向を示す用語と表面解剖学的区分~骨格筋、第8章 外皮 到達目標:第29回にて実施の成績判定試験で60%以上の正答率で答えられる	中間確認テスト 教科書 第1巻 P212-233、P239-247				
第19~20回	○月○日	第8章 外皮系と体温調節(2巡目) 第9章 呼吸とその調節(2巡目)	授業内容:第8章 皮膚の付属器目~皮膚による体温調節機構、第9章 呼吸器の構造~呼吸 到達目標:第29回にて実施の成績判定試験で60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P248-251、P255-263				
第21~22回	○月○日	第9章 呼吸とその調節(2巡目) 第10章 内分泌とホルモン(2巡目)	授業内容:第9章 呼吸器の構造~呼吸、第10章 内分泌とは外分泌や傍分泌の違い~視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎 到達目標:第29回にて実施の成績判定試験で60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P263-274、P275-284				
第23~24回	○月○日	第10章 内分泌とホルモン(2巡目) 第11章 消化吸収と栄養代謝(2巡目)	授業内容:第10章 ラングレルハンス島、消化管ホルモンの機能、第11章 菌の分類と数 到達目標:第29回にて実施の成績判定試験で60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P285-287、P297-303				
第25~26回	○月○日	第11章 消化吸収と栄養代謝(2巡目)	授業内容:第11章 菌の分類と数 到達目標:第29回にて実施の成績判定試験で60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P304-327				
第27~28回	○月○日	第12章 尿の生成と体液調節(2巡目) 成績判定試験前振り	授業内容:第12章 腎臓~酸・塩基平衡、成績判定試験前振り 到達目標:第29回にて実施の成績判定試験で60%以上の正答率で答えられる	教科書 第1巻 P335-365				
第29~30回	○月○日	授業振返り/成績判定試験/テスト返し/解説	授業振返り/授業内にて前期末試験/試験の問題の意義/復習する	※学生証が必要				

21. 成績評価方法							
成績判定試験:第29回にて実施 五肢択一問題 70問 50分間 中間確認テスト:第17回にて実施。詳細は各回の小テスト前の授業にて解説 授業態度:減点方式(居眠りや私語、許可のない個人端末使用等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点) 出席:欠席回数0回:10点、1回:8点、2回:5点、3回:4点、4回:3点、5回:2点、6-7回:1点 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②中間確認テスト	1位	2位				20	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			1位	2位		20	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席				1位		10	
不合格の場合							再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	林 弘之
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物繁殖学		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。 繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を習得する							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 生殖器の形態と機能を理解する 2. 性周期と交配について理解する							
受講条件	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第1章 P.373~第2章 P.446)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物繁殖学」(授業担当教員作)、成績判定試験 「動物繁殖学」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト 「動物繁殖学」全2回(第4,8回授業内で実施)(授業担当教員)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	http://www.hab-net.com/digitalanatomyweb.html			
関連前科目 ¹⁸	動物形態機能学Ⅰ、動物形態機能学Ⅱ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 雄犬の生殖器について	雄犬の生殖器の基本構造、繁殖生理について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第1
第2回	○月○日	雄の生殖器について	雄犬と雄猫の生殖器の基本構造の違いについて説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第2
第3回	○月○日	雌の生殖器について	雌犬と雌猫の生殖器の基本構造の違いについて説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第3
第4回	○月○日	生殖器小テスト① 性ホルモンについて	性ホルモンの名称と産生部位および標的臓器の説明ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第4
第5回	○月○日	生殖器小テストの解説 膣スミア検査について	膣スミア検査の概要と検査の流れを説明する事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第5
第6回	○月○日	繁殖生理について	犬と猫の繁殖生理の違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第6
第7回	○月○日	妊娠診断・分娩時のホルモン	妊娠診断方法について説明できる。分娩時に強く作用するホルモンを答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第7
第8回	○月○日	性ホルモン小テスト 帝王切開について	帝王切開のメリットとデメリットについて説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第8
第9回	○月○日	母親のいる新生子の管理方法	母親がいる新生子と母親がいない新生子で必要とされるケアの違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第9
第10回	○月○日	胎子循環について	胎子循環と新生子(生まれてから)の循環の違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第
第11回	○月○日	先天性疾患について	犬猫で起こる可能性が高い先天性疾患を理由と共に答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第
第12回	○月○日	新生子の生理機能について	新生子と移行期、成長期の動物の生理機能の違いを説明できる。	・PowerPoint「動物繁殖学 第
第13回	○月○日	試験前総復習	成績判定試験の正答率が60%以上を超えることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻 ・PowerPoint「動物繁殖学 第

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:全2回確認テスト実施。第4回授業内で実施(10点分)、第8回授業内で実施(10点分)
授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点
③課題レポート	2位		1位			10	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位	2位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	林 弘之	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員 実務経験紹介	林 弘之 -
---------	------	---------	-------	------------------	-----------

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物行動学 ²			学科名 (コース名) ²	動物看護科		3. 2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム 「基礎動物学」に位置する授業						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。						
受講条件	動物看護科に在籍している						
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 2023年3月4日改訂第2版第1刷発行 (第1章 P.3~第7章 P.166)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物行動学」授業担当教員作、単位認定試験問題 (五肢択一式) 授業担当教員作		
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター・スクリーン			関連サイト ¹⁷	日本動物行動学会 https://ethology.jp/		
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ¹⁹	なし		

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	動物行動学の基本概念	【内容】 授業の必要性・概要・目的・についての説明/動物行動学の4つの分野/ 行動の進化と適応 【目標】 動物行動学の4分野を正しく分類し、各分野の役割を説明できる	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P3~P14) PowerPoint「動物行動学」①
第2回	○月○日	維持行動の意味と効果	【内容】 摂食、飲水行動、排泄行動、身づくろい行動、休憩行動について 【目標】 生理的行動(摂食、排泄など)を5種類以上挙げ、それぞれの特徴を説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P17~P26) PowerPoint「動物行動学」②
第3回	○月○日	発達過程と社会行動①	【内容】 社会行動とは/生殖行動、犬のコミュニケーション行動について 【目標】 社会行動の定義を説明し、生殖行動と犬のコミュニケーション行動を2例ずつ挙げて説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P29~P45) PowerPoint「動物行動学」③
第4回	○月○日	確認テスト 発達過程と社会行動②	【内容】 確認テスト(1~3回目)/猫のコミュニケーション行動/敵対行動と親和行動について 【目標】 猫のコミュニケーション行動を3種以上挙げ、敵対・親和行動の違いを説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P46~P54) PowerPoint「動物行動学」④
第5回	○月○日	行動発現のしくみ	【内容】 行動の動機付けと脳による行動の制御/行動の周期性 【目標】 行動の動機付けの要因を3つ以上説明し、周期性の基本概念を理解できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P57~P70) PowerPoint「動物行動学」⑤
第6回	○月○日	行動の発達	【内容】 行動の周期性/行動の発達ステージについて 【目標】 日周リズムと年周リズムの違いを説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P73~P86) PowerPoint「動物行動学」⑥
第7回	○月○日	確認テスト 行動の学習	【内容】 確認テスト(4~6回目)/馴化・感作・般化・レスポナント条件付け・オペラント条件付けについて 【目標】 馴化感作般化の違いを説明できる/レスポナント条件付け・オペラント条件付けとは何かをそれぞれ説明できる	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P84~P88) PowerPoint「動物行動学」⑦
第8回	○月○日	問題行動①	【内容】 オペラント条件付けについて 【目標】 オペラント条件付けの4つの基本型(正の強化・負の強化・正の弱体化・負の弱体化)を説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P89~P96) PowerPoint「動物行動学」⑧
第9回	○月○日	問題行動②	【内容】 問題行動とは/問題行動における動物看護師の役割について 【目標】 問題行動の定義を述べ、動物看護師の支援内容を2例以上挙げて説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P101~P107) PowerPoint「動物行動学」⑨
第10回	○月○日	問題行動③	【内容】 問題行動診療と治療の手順(条件付け)について 【目標】 問題行動の診療の流れを説明し、条件付けを用いた基本的な治療法を1つ以上説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P109~P122) PowerPoint「動物行動学」⑩
第11回	○月○日	確認テスト 犬と猫における主な問題行動①	【内容】 確認テスト(7~9回目)問題行動の治療法(薬物療法、不妊手術等)について 【目標】 問題行動に対する薬物療法と不妊手術の目的をそれぞれ説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P123~P132) PowerPoint「動物行動学」⑪
第12回	○月○日	犬と猫における主な問題行動②	【内容】 恐怖・不安・排泄・常同の行動 【目標】 恐怖・不安・常同行動の違いを3つ以上の例を交えて説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P151~P160) PowerPoint「動物行動学」⑫
第13回	○月○日	確認テスト 犬と猫における主な問題行動③	【内容】 確認テスト(10~12、13回目)/高齢性認知機能低下の原因と症状と対応について 【目標】 高齢性認知機能低下に関する原因・症状・対応方法を各2点以上挙げて説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 (P161~P165) PowerPoint「動物行動学」⑬
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	【内容】 受験前の振り返り、受験/授業の内容を振り返り、テストを実施する 【目標】 授業内容に関する成績判定試験で70%以上正答する。	成績判定試験用紙
第15回	○月○日	テスト返し/解説	【内容】 試験問題の答え合わせと解説/試験結果を分析し、学習の改善に活かす 【目標】 誤答問題の原因を3つ以上分析し、改善点を具体的に記述できる。	PowerPoint「動物行動学」⑭

成績評価方法 21.

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト: 全4回確認テスト実施 第4回授業内で実施(5点分)、第7回授業内で実施(5点分)、第11回授業内(5点分)、第13回授業内(5点分)
授業態度: 20点満点で10点スタートの加減点法(遅刻・早退居眠りや私語等はその度に1点減点、発表や質問その度には1点加点)
出席: 0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	1位					10	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	小笠原 季輝
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物栄養学Ⅰ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業。 5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージごとに必要とされる栄養素の違いについて理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 基礎栄養学 1) 6大栄養素(糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、水)について理解する 2) 栄養要求の種差(必須アミノ酸、必須脂肪酸など)について理解する 3) 食性、嗜好、嗜好性、摂食行動について理解する							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第1章 P.3~第4章 P.121)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」(授業担当教員作)、成績判定試験「動物栄養学Ⅰ」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト「動物栄養学Ⅰ」全4回記述式(第4.7.10.13回授業内で実施)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン、電卓			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 ペットフード協会 https://petfood.or.jp ヒルズ https://www.hills.co.jp/			
関連前科目 ¹⁸	特になし			関連後科目 ¹⁹	動物栄養学Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 6大栄養素について	動物栄養学の重要性について説明する事が出来る。 6大栄養素に該当する栄養素、3大栄養素に該当する栄養素を全て答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第2回	○月○日	タンパク質について	タンパク質の消化酵素、体内での役割、過不足による健康問題に関する五肢択一問題を5問中3問以上正答できる。犬猫の必須アミノ酸を全て答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第3回	○月○日	炭水化物について	炭水化物の消化酵素、体内での役割、過不足による健康問題に関する五肢択一問題を5問中3問以上正答できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第4回	○月○日	脂質について	脂質の消化酵素、体内での役割、過不足による健康問題に関する五肢択一問題を5問中3問以上正答できる。犬猫の必須脂肪酸を全て答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第5回	○月○日	ビタミンについて	水溶性ビタミンと脂溶性ビタミンの違いを答えられる。 脂溶性ビタミンの種類と働きを全て答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第6回	○月○日	ミネラル・水について	主要ミネラルと微量ミネラルの違いを答えられる。 主要ミネラルのNaClの関係性、MgCaPの関係性を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第7回	○月○日	BCS・カロリー計算について	飼主に栄養状態の評価の仕方を説明できる。 動物の体重を元にカロリー計算をする事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第8回	○月○日	犬猫に与えてはいけない食べ物	飼主に犬猫に与えてはいけない食べ物とその理由を説明できる。 犬猫に与えてはいけない食べ物を誤食してしまった場合の対処・対応の仕方を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第9回	○月○日	ペットフードについて① (ペットフードの歴史・種類)	犬用フード、猫用フードができた理由を時代背景とともに説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第10回	○月○日	ペットフードについて② (ペットフード安全法・ペットフード公正競争規約)	ペットフード安全法、ペットフード公正競争規約に関する五肢択一問題を5問中3問以上正答できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第11回	○月○日	ライフステージごとの食餌管理	ライフステージとは何か説明できる。 ライフステージごとに必要とされる栄養素、カロリー量について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第12回	○月○日	減量プログラムについて	肥満状態とは何か説明できる。 減量プログラムの流れを飼主に説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第13回	○月○日	エキゾチックアニマルの栄養学	愛玩鳥とウサギの栄養学に関する五肢択一問題を5問中3問以上正答できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅰ」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:全4回確認テスト実施 第4回授業内で実施(5点分)、第7回授業内で実施(5点分)、第10回授業内(5点分)、第13回授業内(5点分)
授業態度:10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
作品:第8回授業後「犬・猫に与えてはいけない食べ物」について飼主に啓発するためのポスターをA4用紙1枚にまとめる。(評価基準は授業内にて説明)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点	
⑤作品			1位		2位	10	不可(E):59点以下	
⑥出席			1位			10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物栄養学Ⅱ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業。 動物栄養学Ⅰの知識をもとに各種疾病の療法食の特色や様々な給餌方法を習得する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 疾患と栄養 1) さまざまな疾患時の食餌療法について説明できる。 2) 療法食の特徴や効果を理解し、飼主に説明できる。 2. 強制給餌と経管・静脈栄養法							
受講条件	動物看護科に在籍している、動物栄養学Ⅰを履修している							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第5章 P.123~第6章 P.194)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」(授業担当教員作)、成績判定試験「動物栄養学Ⅱ」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト「動物栄養学Ⅱ」全4回記述式(第4.7.10.13回授業内で実施)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	https://www.hills.co.jp/ ロイヤルカナン https://www.royalcanin.com/jp/dogs/products/vet-products			
関連前科目 ¹⁸	動物栄養学Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 動物栄養学Ⅰの振り返り① (6大栄養素について)	動物栄養学の重要性について説明する事が出来る。 6大栄養素に該当する栄養素の体での役割を全て答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第2回	○月○日	動物栄養学Ⅰの振り返り① (カロリー計算・ペットフード・与えてはいけない食べ物)	BWを元に必要カロリーの計算を何も見ずにできる。 犬猫に与えてはいけない食べ物と理由、食べたときの症状を答える事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第3回	○月○日	癌の食餌管理	健康な動物と癌の動物での栄養素の代謝の違いを説明できる。 癌の動物で気をつけなければならない栄養素とその理由を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第4回	○月○日	心臓病の食餌管理	健康な動物と心臓病の動物での栄養素の代謝の違いを説明できる。 心臓病の動物で気をつけなければならない栄養素とその理由を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第5回	○月○日	腎臓病の食餌管理①(腎臓の仕組み・慢性腎臓病とは)	腎臓の働きを簡潔に説明できる。 慢性腎臓病がどのような病気か説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第6回	○月○日	腎臓病の食餌管理②(慢性腎臓病で気を付ける栄養素)	健康な動物と慢性腎臓病の動物での栄養素の代謝の違いを説明できる。 慢性腎臓病の動物で気をつけなければならない栄養素とその理由を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第7回	○月○日	肝臓病の食餌管理	健康な動物と肝臓病の動物での栄養素の代謝の違いが説明できる。 肝臓病の動物で気をつけなければならない栄養素とその理由を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第8回	○月○日	皮膚病の食餌管理①(皮膚病の種類・アレルギーについて)	犬猫で起こりやすい皮膚病を答えられる。 アレルギーの仕組みを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第9回	○月○日	皮膚病の食餌管理②(アレルギー療法食について)、下部尿路疾患の食餌管理	アレルギーの動物の食餌管理の方法を説明できる。 犬猫でよく起こる下部尿路疾患と原因となる栄養素が答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第10回	○月○日	糖尿病の食餌管理	I型糖尿病とII型糖尿病の違いが説明できる。 糖尿病で食餌管理が必要となる理由を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第11回	○月○日	消化器疾患の食餌管理	消化器疾患ごとに制限する栄養素、摂取が推奨される栄養素を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第12回	○月○日	経管栄養について	カテーテルの衛生管理の重要性を理解し実践できる。 TPNとPPNの違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第13回	○月○日	流動食の作成方法/成績判定試験説明	各種カテーテルサイズに流れる流動食を作ることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:全4回確認テスト実施 第4回授業内で実施(5点分)、第7回授業内で実施(5点分)、第10回授業内(5点分)、第13回授業内(5点分)
授業態度:20点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥出席			1位			10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					

2025年度シラバス

科目名 ¹	比較動物学 I ²			動物看護科 ²			学年 ³	3 3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業。 飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理方法、実験動物の品種や飼育管理方法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体群管理について学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	2. 産業動物 1) 家畜(馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏)の歴史と品種、特徴について理解する 2) 各家畜の消化器の形態と機能、食性について理解する 3) 各家畜の性周期と繁殖生理について理解する							
受講条件	動物看護科に在籍をしている。動物形態機能学 I・II の単位取得							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」			教材名 ¹⁵	PowerPoint「比較動物学」(授業担当教員作)、成績判定試験「比較動物学」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト「比較動物学」五肢択一式(第9回授業内で実施)(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	https://www.maff.go.jp/			
関連前科目 ¹⁸	動物形態機能学 I・II			関連後科目 ¹⁹	比較動物学 II			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	家畜(産業動物)とは①(産業動物全般の違い)	授業内容: 授業概要説明/産業動物全般の違い 到達目標: 最終スライドにおける設問に正解する	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第2回	○月○日	家畜(産業動物)とは②(産業動物全般の違い)	授業内容: 産業動物全般の違い 到達目標: 最終スライドにおける設問に正解する	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第3回	○月○日	牛について①(牛の品種・特性・飼養管理)	授業内容: 牛の品種・特性、飼養管理 到達目標: 牛の解剖学的な特性を理解し、それに伴う飼養管理を理論的に説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第4回	○月○日	牛について②(牛の解剖生理・疾患)	授業内容: 牛の解剖、生理、疾患 到達目標: 複胃動物の生理学的な違いを理解し、ルーメンの特徴を説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第5回	○月○日	豚について①(豚の品種・特性・飼養管理)	授業内容: 豚の品種、特性、飼養管理 到達目標: 三元交雑種のメリットと、豚のライフステージごとの飼料の違いを説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第6回	○月○日	豚について②(豚の解剖生理・疾患)	授業内容: 豚の解剖、生理、疾患 到達目標: 豚の監視伝染病において注視すべき点を説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第7回	○月○日	鶏について①(鶏の品種・特性・飼養管理)	授業内容: 鶏の品種、特性、飼養管理 到達目標: 鶏において採卵鶏と肉養鶏の飼育方法の違いを理解し、説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第8回	○月○日	鶏について②(鶏の解剖生理・疾患)	授業内容: 鶏の解剖、生理、疾患 到達目標: 解剖学的な違いを理解し、他の動物と違った点を注意することを説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第9回	○月○日	中間まとめ 小テスト	授業内容: 牛・豚・鶏の復習/小テスト 到達目標: ここまでの内容を理解し、説明できる 小テストで60%以上を獲得	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第10回	○月○日	小テストの返却/解説 馬について①(馬の品種・特性・飼養管理)	授業内容: 馬の品種、特性、飼養管理 到達目標: 馬の品種や分類法を理解し、品種による飼養管理方法を説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第11回	○月○日	馬について②(馬の解剖生理・疾患)	授業内容: 馬の解剖、生理、疾患 到達目標: 解剖学的特徴を理解し、同じ草食動物の牛と比較して動物種差を説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第12回	○月○日	綿羊・山羊について	授業内容: 綿羊と山羊の品種、特性、飼養管理、解剖、生理、疾患 到達目標: 綿羊と山羊において、解剖学的・生理学的特徴を理解し、説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第13回	○月○日	畜産の現状 総まとめ	授業内容: 肉牛・乳牛・豚肉・鶏卵・鶏肉の分布/法定伝染病、届出伝染病の疾病/産業動物の復習 到達目標: 各種動物種の違いを理解し、法定伝染病、届出伝染病の疾病について説明できる	・ EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第14回	○月○日	成績判定試験	授業内容: 授業内にて成績判定試験 到達目標: 成績判定試験で60%を獲得できる	・ 比較動物学 I 成績判定試験
第15回	○月○日	成績判定試験の返却/解説	授業内容: 成績判定試験の解答と正答率の悪かった問題の詳しい解説 到達目標: 間違えた問題を正答できるようにする	・ Word「15. 比較動物学 成績判定試験」 ・ PowerPoint「15. 比較動物学

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト: 第9回授業内で実施(20問・30分間)
授業態度: 20点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席: 0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①出席			1位			10	秀(S): 100点~90点
②小テスト	1位	2位				20	優(A): 89点~80点
③授業態度			2位	1位		10	良(B): 79点~70点
④成績判定試験	1位	2位				60	可(D): 69点~60点
							不可(E): 59点以下
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	大井 剛	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	大井 剛
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	比較動物学Ⅱ ²			動物看護科 ²			学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業。 飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理方法、実験動物の品種や飼育管理方法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体群管理について学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	2. 産業動物 1) 家畜(馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏)の歴史と品種、特徴について理解する 2) 各家畜の消化器の形態と機能、食性について理解する 3) 各家畜の性周期と繁殖生理について理解する							
受講条件	動物看護科に在籍をしている。比較動物学Ⅰの単位取得							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」			教材名 ¹⁵	PowerPoint「比較動物学」(授業担当教員作)、成績判定試験「比較動物学」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト「比較動物学」五肢択一式(第7回授業内で実施)(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	https://www.maff.go.jp/			
関連前科目 ¹⁸	比較動物学Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	前期の復習	授業内容:授業概要説明、前期の復習 到達目標:前期の内容をもとにした問題(授業最終スライド)を正当する	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第2回	○月○日	実験動物概論①	授業内容:実験動物について 到達目標:実験動物の概要について説明できる。	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第3回	○月○日	実験動物概論②	授業内容:実験動物について 到達目標:代表的な実験動物の種類を3種以上答えられる。	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第4回	○月○日	実験動物各論①	授業内容:マウス、ラットについて 到達目標:マウスとラットの違いについての問題を正答率60%以上で解答できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第5回	○月○日	実験動物各論②	授業内容:ウサギ、ハムスター、モルモットについて 到達目標:各動物の違いについて簡潔に説明できる。	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第6回	○月○日	実験動物各論③	授業内容:スナネズミ、サル、その他の動物について 到達目標:各動物の違いについて簡潔に説明できる。	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第7回	○月○日	中間まとめ 確認テスト	授業内容:産業動物を含めた範囲の復習 到達目標:これまでの範囲(前期を含む)を完璧にする 確認テストで60%以上を獲得	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第8回	○月○日	確認テストの返却/解説	授業内容:解剖、生理、疾患など問題に対する解答・解説 到達目標:間違えた問題を理解し、解説できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第9回	○月○日	展示動物	授業内容:展示動物に関する違いと留意点 到達目標:展示動物の特徴を説明できる。	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第10回	○月○日	野生動物	授業内容:野生動物に関する違いと留意点 到達目標:産業動物、実験動物、展示動物、野生動物の違いを説明できる。	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第11回	○月○日	後期範囲の復習	授業内容:解剖、生理、疾患など問題に対する解答・解説 到達目標:間違えた問題を理解し、解説できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第12回	○月○日	総まとめ①	授業内容:産業動物、実験動物について 到達目標:総復習で不明点をなくす	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第13回	○月○日	総まとめ②	授業内容:実験動物、展示動物、野生動物について 到達目標:総復習で不明点をなくす	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第14回	○月○日	成績判定試験(全範囲)	授業内容:授業内にて成績判定試験 到達目標:成績判定試験で60%以上を獲得できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」
第15回	○月○日	成績判定試験の返却/解説	授業内容:成績判定試験の解答・正答率の低かった問題の解説 到達目標:国家試験に出題傾向の高い比較動物学に関する問題の正答率が80%を超える。	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:第7回授業内で実施(20問・30分間)
授業態度:20点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①出席			1位			10	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位	2位				20	優(A):89点~80点
③授業態度		2位	1位			10	良(B):79点~70点
④成績判定試験	1位	2位				60	可(D):69点~60点
							不可(E):59点以下
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	大井 剛	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	大井 剛
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物看護関連法規 ²			学科名 (コース名) ²	動物看護科		学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	15	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業。 動物看護に関する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 法学総論 1) 法の体系について理解する 2) 獣医療に関する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する 2. 愛玩動物看護師法							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5巻」			教材名 ¹⁵	科目担当教員作成レポート用紙			
設備名・機器名 ¹⁶	白板			関連サイト ¹⁷	「e-gov 法令検索」 https://laws.e-gov.go.jp/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ¹⁹	動物愛護・適正飼養関連法規			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	法の基礎知識	法令の種類と、獣医療に関する法規と愛玩動物看護師の関わりについてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第2回	○月○日	愛玩動物看護師法	愛玩動物看護師法の内容を要点ごとにA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第3回	○月○日	獣医師法	獣医師法の内容と、獣医師と愛玩動物看護師の業務範囲の違いをA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第4回	○月○日	獣医療法	獣医療法の内容と、飼育動物の診療施設と広告の制限についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第5回	○月○日	感染症法	感染症法の内容と、定められる感染症をA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第6回	○月○日	狂犬病予防法	狂犬病予防法の内容と、狂犬病の予防と蔓延を防ぐために愛玩動物看護師に求められる指導内容をA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第7回	○月○日	薬機法	薬機法の内容と、毒薬・劇薬・麻薬・向精神薬の容器の表示や管理方法をA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第8回	○月○日	家畜伝染病予防法	家畜伝染病の内容と定められる義務についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻

成績評価方法 21.

成績判定試験: 「動物愛護・適正飼養関連法規」第7回の授業内で実施(50分間) 50問(五肢択一問題)
課題レポート: 毎回 評価基準は各回にて提示・説明
授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S): 100点~90点
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点
③課題レポート	2位	1位				20	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	藤本 嘉明
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物愛護・適正飼養関連法規 ²			学科名 (コース名) ²	動物看護科		学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	15	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業。 動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 愛護・適正飼養の基本となる概念 1) 愛護・適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する 2. 愛護・適正飼養関連行政法規 1) 動物の愛護及び管理に関する法律の概要について理解する							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5巻」			教材名 ¹⁵	科目担当教員作成レポート用紙			
設備名・機器名 ¹⁶	白板			関連サイト ¹⁷	「e-gov 法令検索」 https://laws.e-gov.go.jp/			
関連前科目 ¹⁸	動物看護関連法規			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	愛護・適正飼養の基本となる概念/動物の愛護及び管理に関する法律①	愛護・適正飼養に関する法規と愛玩動物看護師の関わりについてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第2回	○月○日	動物の愛護及び管理に関する法律②	動物愛護法の目的と内容をA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第3回	○月○日	ペットフード安全法/ 動物のトラブルに関する法律	ペットフード安全法と民法718条の内容についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第4回	○月○日	社会福祉行政・環境衛生法規	補助犬法・廃棄物処理法・化製法を学び、それぞれの内容と責務についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第5回	○月○日	野生動物等に関する法律及び条約①	生物多様性基本法・外来生物法・ワシントン条約・種の保存法の内容についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第6回	○月○日	野生動物等に関する法律及び条約②	鳥獣保護管理法・ラムサール条約・自然公園法・文化財保護法の内容についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第7回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	※学生証が必要
第8回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容を解説	

成績評価方法 21.

成績判定試験: 第7回の授業内で実施(50分間) 25問(五肢択一問題)
課題レポート: 毎回 評価基準は各回にて提示・説明
授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点	
③課題レポート	2位	1位				20	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下	
⑥出席				1位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	藤本 嘉明
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物看護学概論		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。 獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 動物看護の基本となる概念 1) 動物看護の目的、概念について理解する 2) 獣医療と動物看護の歴史について理解する 3) 獣医療倫理、動物看護師の倫理綱領について理解する							
受講条件	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第2版発行 (第1章 P.3~第4章 P.67)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物看護学概論」(授業担当教員作)、「愛玩動物 看護師の倫理綱領ワークシート」(配布プリント)、Googleスプレッドシート			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	特になし			関連後科目 ¹⁹	動物臨床看護学総論、動物臨床看護学各論Ⅰ、 動物臨床看護学各論Ⅱ、動物臨床看護学実習			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 獣医療と動物看護の歴史と倫理	獣医療と動物看護の歴史と倫理についての五肢択一問題を5問中3問以上正答できる	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第2回	○月○日	動物看護の基本となる概念 愛玩動物看護師の倫理綱領①	「愛玩動物看護師の倫理綱領」についてグループで話し合い、言葉の意味から分かりやすい文章に変換することができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第3回	○月○日	動物看護の基本となる概念 愛玩動物看護師の倫理綱領② (グループワーク)	「愛玩動物看護師の倫理綱領」各項目の文章から「愛玩動物看護師として自身がやるべき行動」を考え、話し合うことができる。	・「愛玩動物看護師の倫理綱領 ワークシート」(プリント) ・スプレッドシートを使用
第4回	○月○日	動物看護の基本となる概念 愛玩動物看護師の倫理綱領③ (発表)	他グループの考えた「自身がやるべき行動」に対して意見を発することができる。	・「愛玩動物看護師の倫理綱領 ワークシート」(プリント) ・スプレッドシートを使用
第5回	○月○日	動物にとっての福祉・健康・QOL 看護動物に影響を与える環境要因	動物が理解できない一時的な不快感の具体例を1つ考えることができる	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第6回	○月○日	動物看護が果たすべき役割 動物看護師にとっての動物福祉	動物看護師の役割・目的に合わせた「国家資格化に伴いできるようになった「新たな活躍方法」を3つの分野の中から1つ考えることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第7回	○月○日	動物看護の探求 動物看護学(師)教育の変遷 動物看護理論の成立過程	症例に対し、アビリティーモデルを用いて動物看護の要不要を判断できる	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第8回	○月○日	動物看護学の成立 動物看護学と高等教育	提示された情報から動物看護上の問題点を抽出し、ルール通りに表記することができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第9回	○月○日	動物看護過程について① (アセスメント～動物看護診断)	症例情報からアセスメントを行い、基本アセスメント用紙の得られた情報に該当する欄の備考欄を埋めることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第10回	○月○日	動物看護過程について② (動物看護計画)	症例のアセスメント情報から動物看護上の問題点を抽出し、ルール通りに表記することができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第11回	○月○日	動物看護過程について③ (動物看護実践～動物看護評価)	動物看護計画を立てるためのルールに則って「動物看護目標」とその「観察項目」を考えることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書4巻 ・PowerPoint「動物看護学概論」
第12回	○月○日	動物看護過程まとめ① (発表準備)	与えられた症例情報から動物看護過程一連の流れ(アセスメント～動物看護計画まで)として、基本情報アセスメント用紙と動物看護記録一号用紙の空欄を埋めることができる。	・上記配布資料全て使用 ・スプレッドシート使用
第13回	○月○日	動物看護過程まとめ② (グループワーク発表)	①学んできたルール通りに動物看護記録一号用紙が完成できる。 ②クラスメイトが作成した計画に対して、学んできたルールに合っていない部分を指摘できる。	・上記配布資料全て使用 ・スプレッドシート使用
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一問題)
課題レポート:第12回(5点)、第13回(15点) 評価基準は各回にて提示・説明
授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点	
③課題レポート	3位	2位			1位	20	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥出席				1位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物病理学		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム 「基礎動物看護学」に位置する授業。 さまざまな疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 動物病理学の基礎 1) 病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義について説明できる。 2) 病理組織標本の作製法について説明できる。 3) 病理組織学的検査の実施手順について説明できる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している、動物形態機能学Ⅰ、動物形態機能学Ⅱの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第1章 P.3~第7章 P.137)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物病理学」(授業担当教員作)、成績判定試験 「動物病理学」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)確認テ スト3回実施5肢択一式			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	https://univ.obihiro.ac.jp/~vet-pathol/about/pathology.html			
関連前科目 ¹⁸	動物形態機能学			関連後科目 ¹⁹	動物臨床看護学各論Ⅰ、動物臨床看護学各論Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 標本作製について	動物病理学の必要性を説明できる。 病理標本の作成手順を何も見ずに説明・実践できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第1
第2回	○月○日	病因(内因・外因)について	病因の内因と外因の違いと何が該当するか答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第2
第3回	○月○日	代謝障害と変性について	代謝障害が体内に及ぼす影響を説明できる。 変性の種類と、その特徴を簡潔に説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第3
第4回	○月○日	萎縮・壊死・アポトーシスについて	萎縮の仕組みを説明できる。 壊死とアポトーシスの違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第4
第5回	○月○日	進行性病変・創傷について	創傷の種類と特徴を簡潔に説明できる。 創傷に関する実地画像問題を60%以上の正答率で答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第5
第6回	○月○日	組織・細胞の修復と再生について	組織・細胞の修復過程を説明することができる。 循環障害によっておこる悪影響を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第6
第7回	○月○日	血液・組織液の循環障害について	循環障害によっておこる悪影響を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第7
第8回	○月○日	炎症について① (炎症の定義・原因)	炎症の5徴候と炎症が起こる仕組みを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第8
第9回	○月○日	炎症について② (炎症による形態変化・炎症の分類)	白血球と炎症反応の関係性を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第9
第10回	○月○日	炎症について③ (慢性炎症と急性炎症の特徴)	慢性炎症と急性炎症の違い、特徴を説明できる。 慢性炎症と急性炎症に関する問題を60%以上の正答率で答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第
第11回	○月○日	腫瘍について① (腫瘍の定義と特徴・腫瘍の増殖)	腫瘍の定義を説明できる。 悪性腫瘍と良性腫瘍での増殖方法、特徴の違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第
第12回	○月○日	腫瘍について② (宿主への影響・腫瘍の原因と種類)	がん性悪液質について説明できる。 腫瘍発生の因子にどのようなものがあるか答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第
第13回	○月○日	先天性疾患について	犬猫の代表的な先天性疾患を2種類答えられる。 先天性疾患と後天性疾患の違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物病理学 第

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:全3回確認テスト実施 第4回授業内で実施(7点分)、第8回授業内で実施(7点分)、第12回授業内で(6点分)
授業態度:10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
課題レポート:各回まとめ問題を解いたものを提出。(評価基準は授業内で発信)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点
③課題レポート		2位		1位		10	良(B):79点~70点
④授業態度			2位		1位	10	可(C):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	薄邊 厚太
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/sawabe/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物薬理学 I		学科名 ² (コース名)	2. 動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。 「動物薬理学 I」と「動物薬理学 II」の履修を以て、愛玩動物看護師カリキュラム「動物薬理学」の履修となる。 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 1. 動物薬理学の基礎 1) 獣医臨床における薬物治療の概念と目的について説明できる。 2) 薬理作用とその発現機構について説明できる。 3) 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)と半減期、耐性について説明できる。							
受講条件	13. 動物看護科に在籍している。							
教科書名	14. 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第1章 P.141~第5章 P.259)			教材名	15. PowerPoint「動物薬理学 I」(授業担当教員作)、成績判定試験「動物薬理学 I」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト全3回分五肢択一式(授業担当教員作)			
設備名・機器名	16. プロジェクター、スクリーン			関連サイト	17. 愛玩動物看護師ポータル https://pvn-portal.com/yakurisayou-yakubutsudoutai/			
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. 動物薬理学 II			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 医薬品について	動物薬理学の必要性を説明できる。 医薬品の基準を定めている法律が何か説明できる。臨床試験とは何か説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第2回	○月○日	薬と薬理作用/剤型と投与方法について	剤形ごとの特徴や適している投与方法について答えられる。 投与方法ごとの略語を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第3回	○月○日	薬物動態について	薬物動態とは何か説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第4回	○月○日	薬物に影響を与える因子 薬物の有害作用について	体内で起こる薬物有害反応にどのようなものがあるか答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第5回	○月○日	神経系の基本事項 自律神経に作用する薬物について	神経系の仕組みについて簡潔に答えられる。 自律神経に作用する代表的な薬(作動薬・遮断薬)をそれぞれ答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第6回	○月○日	全身麻酔薬について	獣医療で用いられる代表的な全身麻酔薬を3種類以上答えられる	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第7回	○月○日	鎮痛薬・筋弛緩薬について	代表的な麻薬性鎮痛薬と非麻薬性鎮痛薬を答えられる。 筋弛緩薬の作用機序を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第8回	○月○日	鎮静薬について	獣医療の現場でどのようなときに鎮静薬を用いるか説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第9回	○月○日	問題行動治療薬について	獣医療で用いられる代表的な問題行動治療薬を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第10回	○月○日	鎮咳薬・気管支拡張薬について	鎮咳薬・気管支拡張薬の作用機序について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第11回	○月○日	心不全治療薬・抗不整脈薬について	親善治療薬であるACE阻害薬と強心薬について説明できる。 獣医療で用いられる代表的な抗不整脈薬を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第12回	○月○日	利尿薬について	ループ利尿薬の作用機序について説明できる。 抗利尿薬がどのようなときに用いられるか答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第13回	○月○日	動物薬理学 I 総復習	動物薬理学 I の内容総復習を通して、単位認定試験の正答率が60%を超える事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学 I」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト: 全3回確認テスト実施 第4回授業内で実施(7点分)、第8回授業内で実施(7点分)、第12回授業内で実施(6点分)
授業態度: 10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
課題レポート: 各回まとめ問題を解いたものを提出。(評価基準は授業内で発信)
出席: 0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	1位		2位			20	優(A): 89点~80点
③課題レポート	2位		1位			10	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	澤邊 厚太
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/sawabe/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所	作成者	Checker(確認者)
改1					
改2					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物薬理学Ⅱ		学科名 ² (コース名)	2. 動物看護科			学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。 「動物薬理学Ⅰ」と「動物薬理学Ⅱ」の履修を以て、愛玩動物看護師カリキュラム「動物薬理学」の履修となる。 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 1. 消化器に作用する薬物 1) 制吐薬について説明できる。 2) 制酸薬と胃粘膜保護薬について説明できる。 3) 消化管運動調節薬について説明できる。							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。動物薬理学Ⅰの単位取得。							
教科書名	14 愛玩動物看護師カリキュラム単独教科書2巻 EDUWARD PRESS出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第6章 P.261～第10章 P.356)			教材名	15 PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」(授業担当教員作)、成績判定試験「動物薬理学Ⅱ」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト全3回分五肢択一式(授業担当教員作)			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト	17 愛玩動物看護師ポータル https://pvn-portal.com/yakurisayou-yakubutsudoutai/			
関連前科目	18 なし			関連後科目	19 動物薬理学Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 制吐薬、催吐吐について	動物薬理学の必要性を説明できる。 制吐薬と催吐薬の違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第2回	○月○日	抗潰瘍薬、消化管運動促進薬、 消化管運動抑制薬について	消化器疾患で用いられる薬と作用機序について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第3回	○月○日	止瀉薬、瀉下薬、肝・脾疾患の 治療薬について	止瀉薬と瀉下薬の違いを説明できる。 肝臓、脾臓疾患で用いられる薬を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第4回	○月○日	オータコイドについて	オータコイドが何か説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第5回	○月○日	抗炎症薬、糖尿病治療薬について	ステロイド剤とNSAIDの違いを説明できる。 インスリン注射について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第6回	○月○日	甲状腺機能障害、脂質代謝異常、 骨代謝異常の治療薬について	甲状腺、脂質代謝異常、骨代謝異常の治療で用いられる薬を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第7回	○月○日	抗貧血薬、血液凝固阻害薬について	獣医療で用いられる代表的な血液凝固阻害薬と作用機序について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第8回	○月○日	免疫抑制薬、ワクチンについて	獣医療で用いられる代表的な免疫抑制剤について説明できる。 ワクチンの仕組みについて説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第9回	○月○日	抗腫瘍薬について	愛玩動物看護師国家試験問題で出題頻度の高い抗腫瘍薬の種類と副作用について答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第10回	○月○日	抗菌薬、抗真菌薬について	代表的な抗菌薬(β-ラクタム系、ニューキノロン系など)を答えられる。 獣医療で用いられる代表的な抗真菌薬を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第11回	○月○日	駆虫薬、抗原虫薬、殺虫薬について	獣医療で用いられる各種内部寄生虫に対する駆虫薬と抗原虫薬について答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第12回	○月○日	消毒薬について	消毒薬の広域スペクトルについて説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第13回	○月○日	動物薬理学Ⅱ総復習	動物薬理学Ⅱの内容総復習を通して、単位認定試験の正答率が60%を超える事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム 単独教科書2巻 ・PowerPoint「動物薬理学Ⅱ」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:全3回確認テスト実施 第4回授業内で実施(7点分)、第8回授業内で実施(7点分)、第12回授業内で実施(6点分)
授業態度:10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
課題レポート:各回まとめ問題を解いたものを提出。(評価基準は授業内で発信)出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点
③課題レポート	2位		1位			10	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	澤邊 厚太
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/sawabe/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)	
改1					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物感染症学 I			動物看護科			学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業「動物感染症学 I」と「動物感染症学 II」、「動物感染症学 III」の履修を以って、愛玩動物看護師カリキュラム「動物感染症学」の履修となる。微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病メカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 1. 微生物の分類と特徴 1) 細菌の分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する 2) ウイルスの分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する 3) 真菌の分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する 2. 微生物検査							
受講条件	13 動物形態機能学 I・II の履修							
教科書名	14 EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」			教材名	15 PowerPoint「動物感染症学 I」（授業担当教員作）、成績判定試験「動物感染症学 I」五肢択一式問題70問（授業担当教員作）、小テスト「動物感染症学 I」全2回、五肢択一式（第5、10回授業			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト	17 https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/kansi_densen/kansi_densen.html			
関連前科目	18 動物形態機能学 I・II			関連後科目	19 動物感染症学 II、動物感染症学 III			

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	序論	授業内容：微生物学の歴史/微生物の定義、感染症の定義 到達目標：微生物の定義を理解し、説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第2回	○月○日	ウイルス学総論	授業内容：ウイルスの分類と構造/増殖・感染と伝播 到達目標：ウイルスの分類法を構造的な違いを踏まえて、説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第3回	○月○日	細菌学総論①	授業内容：細菌の分類/細菌の構造 到達目標：細菌の分類法を構造的な違いを踏まえて、説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第4回	○月○日	細菌学総論②	授業内容：細菌の増殖・代謝/細菌の遺伝子 到達目標：細菌の増殖の仕方を違いを踏まえて、説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第5回	○月○日	真菌学総論、プリオン総論 小テスト	授業内容：真菌の分類・構造/プリオン病の定義/小テスト 到達目標：真菌の分類・特徴とプリオンの概念を、説明できる 小テストで60%を獲得できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第6回	○月○日	小テストの返却/解説 微生物検査法①	授業内容：バイオセーフティ、滅菌と消毒/産業動物の消毒 到達目標：バイオセーフティの重要性を理解し、それに伴う消毒を、説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第7回	○月○日	微生物検査法②	授業内容：ウイルス検査法、細菌検査法 到達目標：ウイルス検査の方法と、細菌検査の方法の違いを理解し、特徴を説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第8回	○月○日	微生物検査法③	授業内容：真菌検査法、プリオン病検査・診断法/薬剤感受性試験、PCR検査 到達目標：真菌検査の方法と、プリオンの検査法の違いと、それぞれの検査の違いを理解し、説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第9回	○月○日	免疫応答の異常①	授業内容：自己免疫による疾患/移植における免疫反応 到達目標：免疫応答を復習・理解し、それによる異常を理解・説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第10回	○月○日	免疫応答の異常② 小テスト	授業内容：免疫異常による疾患/小テスト 到達目標：免疫異常の疾患を理解し、説明できる 小テストで60%以上を獲得できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第11回	○月○日	小テストの返却/解説 動物感染症①	授業内容：病原体の感染経路/感染症の成立と統御要因/感染症と病原体および生体防御機構 到達目標：感染症の定義とその防御対応を理解し、説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第12回	○月○日	動物感染症②	授業内容：ワクチンの原理と種類/治療に用いる抗ウイルス薬/抗菌薬と薬剤耐性菌 到達目標：ワクチンの違いを理解し、説明できる	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第13回	○月○日	総まとめ	授業内容：ここまでの内容の復習 到達目標：総復習で動物感染症学 I 内容の不明点を無くすることができる。	・ EDUWARD PRESS 出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」
第14回	○月○日	成績判定試験	授業内容：授業内にて成績判定試験 到達目標：成績判定試験にて60%以上を獲得できる	・ 動物感染症学 I 成績判定試験
第15回	○月○日	成績判定試験の返却/解説	授業内容：成績判定試験の解説、正答率の低かった問題の解説 到達目標：間違った問題を理解し、正答できるようにする	・ PowerPoint「15. 動物感染症学 I」

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分間) 60問(五肢択一式問題)
小テスト：各20問 30分間 (第5回、第10回)
授業態度：10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①出席			1位			10	秀(S)：100点～90点	
②小テスト	1位	2位				20	優(A)：89点～80点	
③授業態度			2位	1位		10	良(B)：79点～70点	
④成績判定試験	1位	2位				50	可(D)：69点～60点	
							不可(E)：59点以下	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	大井 剛	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	大井 剛
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)	
改1					
改2					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物感染症学Ⅱ ²			動物看護科 ²			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業「動物感染症学Ⅰ」と「動物感染症学Ⅱ」、「動物感染症学Ⅲ」の履修を以って、愛玩動物看護師カリキュラム「動物感染症学」の履修となる。微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病メカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 1. 微生物の分類と特徴 1) 細菌の分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する 2) ウイルスの分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する 3) 真菌の分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する 2. 微生物検査							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。動物感染症学Ⅰの単位取得。							
教科書名	14 EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」			教材名	15 PowerPoint「動物栄養学Ⅱ」（授業担当教員作）、成績判定試験「動物感染症学Ⅱ」五肢択一式問題70問（授業担当教員作）、小テスト「動物感染症学Ⅱ」五肢択一式（第6、10回授業内で実施）			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト	17 https://www.maff.go.jp/			
関連前科目	18 動物感染症学Ⅰ			関連後科目	19 動物感染症学Ⅲ			

授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	感染症の制御・制圧	授業内容：1. 農林水産省行政による動物感染症対策 2. 厚生労働省行政による動物由来感染症対策 到達目標：感染症、伝染病の様々な法規を理解する	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第2回	○月○日	感染症学各論 -犬と猫の感染症-	授業内容：【ウイルス病】狂犬病～パラインフルエンザ感染症 到達目標：犬における重要な伝染病の原因・症状を理解し、説明できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第3回	○月○日	感染症学各論 -犬と猫の感染症-	授業内容：【ウイルス病】犬パルボウイルス感染症～猫汎白血球減少症 到達目標：犬における伝染病と猫における重篤な伝染病の原因・症状を理解し、説明できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第4回	○月○日	感染症学各論 -犬と猫の感染症-	授業内容：【ウイルス病】猫白血病ウイルス感染症～猫のSFTS 到達目標：猫における重要な伝染病の原因・症状を理解し、説明できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第5回	○月○日	感染症学各論 -犬と猫の感染症-	授業内容：【細菌病】レプトスピラ症～猫のヘモプラズマ症 【真菌病】皮膚糸状菌症 到達目標：ウイルス以外の伝染病の問題点を把握し、説明できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第6回	○月○日	中間まとめ 小テスト	授業内容：今までの復習 到達目標：ここまでの内容を完璧にできる 小テストで60%以上を獲得できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第7回	○月○日	感染症学各論 -産業動物の感染症- ①	授業内容：【ウイルス病】口蹄疫～アカバネ病 到達目標：産業動物における伝染病の特徴と、愛玩動物における伝染病との違いを理解し、説明できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第8回	○月○日	感染症学各論 -産業動物の感染症-	授業内容：【ウイルス病】豚流行性下痢～高病原性鳥インフルエンザ 到達目標：産業動物における豚・鳥の主要な伝染病を理解し、説明できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第9回	○月○日	感染症学各論 -産業動物の感染症-	授業内容：【細菌病】乳房炎～炭疽 【プリオン病】序論～牛海綿状脳症 到達目標：乳房炎の分類とBSEの原因などの疾患の他の伝染病との違いを理解し、説明できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第10回	○月○日	感染症学各論 -実験動物の感染症- 小テスト	授業内容：【ウイルス病】1. センダイウイルス感染症～5. ハンタウイルス感染症 【細菌病】4. サルモネラ症～4. ネズミコリネ菌症 到達目標：実験動物の分類を理解し、説明できる	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第11回	○月○日	感染症学各論 -エキゾチックペットと野生動物の感染-	授業内容：【ウイルス】アリエンシオン病～バネ ヲカウイルス感染症(伝染性膿疱性皮膚炎) 【細菌病】カエトバ(増殖性回腸炎)～飼育下野生動物のエンテリチス症 【真菌病】メガバクテリウム症～鳥類のアムギルシス症 授業内容：感染症の法規 狂犬病～猫コロナウイルス感染症 到達目標：復習を通して動物感染症学Ⅱの不明点をなくす	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第12回	○月○日	総まとめ①	授業内容：レプトスピラ～膿皮症 産業動物・実験動物の感染症 到達目標：復習を通して動物感染症学Ⅱ内容の不明点をなくす	・ EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻」
第13回	○月○日	総まとめ②		
第14回	○月○日	成績判定試験	授業内容：授業内で成績判定試験 到達目標：成績判定試験にて60%以上を獲得できる	・ 動物感染症学Ⅱ成績判定試験
第15回	○月○日	成績判定試験の返却/解説	授業内容：成績判定試験の解答・正答率の低かった問題の解説 到達目標：間違った問題を理解し、正答できるようにする	・ PowerPoint「15. 動物感染症学

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分間) 60問(五肢択一式問題)
小テスト：各20問 30分間 (第6回、第10回)
授業態度：10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①出席			1位			10	秀(S)：100点～90点
②小テスト	1位	2位				20	優(A)：89点～80点
③授業態度			2位	1位		10	良(B)：79点～70点
④成績判定試験	1位	2位				60	可(C)：69点～60点 不可(D)：59点以下
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	大井 剛	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	大井 剛
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物感染症学Ⅲ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年	3. 3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。 微生物や寄生虫の分類、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、予防や治療など感染対策の基礎について理解する。 感染防御に関わる免疫学に基礎について学ぶ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 微生物分類と特徴 1) 微生物分類について説明できる。 2) ウイルス、細菌、真菌、プリオンの分類、構造、増殖方法、病原性について説明できる。 2. 寄生虫の分類と特徴							
受講条件	動物看護科に在籍している、動物感染症学Ⅰ、動物感染症学Ⅱの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第1章1 P.3 ~第2章5 P.455)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」(授業担当教員作)、成績判定試験「動物感染症学Ⅲ」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト「動物感染症学Ⅲ」全4回記述式(第4.7.10.13回授業内)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	農林水産省 https://www.maff.go.jp/aqs/hou/36.html 日本微生物生態学会 https://www.microbial-ecology.jp/or/microbial.html			
関連前科目 ¹⁸	動物感染症学Ⅰ、動物感染症学Ⅱ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 動物感染症学Ⅰ振り返り① (感染症学概要・微生物分類・動物感染症学Ⅰ振り返り② (細菌・真菌・プリオン病について))	動物感染症学の必要性について説明できる。 感染成立の要因、微生物分類について説明できる。 ウイルスの構造、代表的なウイルス感染症を2種類以上答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第2回	○月○日	動物感染症学Ⅱ振り返り① (犬の感染症について)	細菌・真菌・プリオンの構造を説明できる。 各種代表的な感染症を2種類以上答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第3回	○月○日	動物感染症学Ⅱ振り返り② (猫の感染症について)	犬の混合ワクチンに含まれる感染症を全て答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第4回	○月○日	動物感染症学Ⅱ振り返り③ (産業動物・エキゾチックアニマルの感染症について)	猫の混合ワクチンに含まれる感染症を全て答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第5回	○月○日	寄生動物とはノミ・マダニについて	家畜伝染病予防法の法定伝染病と届出伝染病の違いを説明できる。 産業動物やエキゾチックアニマルで起こりやすい感染症と特徴を3種類以上答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第6回	○月○日	ノミ・マダニ以外の外部寄生虫について	ノミ・マダニの生活環、予防法、媒介する感染症を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第7回	○月○日	内部寄生虫について/原虫類について	ニキビダニ、ヒゼンダニ類、シラミ、ハジラミの特徴を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第8回	○月○日	原虫感染症について①(胞子虫類について)	内部寄生虫の大まかな分類分けを答えられる。 原虫の特徴(シスト・オーシスト・栄養型の違い)を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第9回	○月○日	原虫感染症について②(胞子虫類以外の原虫感染症)	イソスポラ・アイメリア・トキソプラズマ・クリプトスポリジウム、それぞれの特徴が説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第10回	○月○日	蠕虫類について①(フィラリア)	ジアルジア・トリコモナス・赤痢アメーバの症状や特徴を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第11回	○月○日	蠕虫類について②(回虫・鞭虫・鉤虫・アニサキス・吸虫類)	フィラリア感染症の症状・予防方法を説明する事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第12回	○月○日	蠕虫類について③(条虫類)	回虫類(犬回虫・猫回虫・犬小回虫)の虫卵の違い、感染環の違いを答えられる。 鞭虫・鉤虫・アニサキス・壺型吸虫の感染環・虫卵の特徴を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第13回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	瓜実条虫・マンソン頭頸条虫・多包条虫・日本海裂頭条虫の感染環、症状を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」
第14回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻 ・PowerPoint「動物感染症学Ⅲ」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:全4回確認テスト実施 第4回授業内で実施(5点分)、第7回授業内で実施(5点分)、第10回授業内(5点分)、第13回授業内(5点分)
課題レポート:全3回実施(第1,4,8回授業にて内容発信)課題提出は期限を過ぎるごとに減点。1日過ぎる-1点、2日過ぎる-2点、3日過ぎる-3点、4日以降は-5点減点とする。課題内容の評価基準は授業内にて発信。
授業態度:10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点
③課題レポート	2位		1位			10	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					

2025年度シラバス

科目名 ¹	公衆衛生学 I			学科名 ² (コース名)	動物看護科		学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業「公衆衛生学Ⅰ」と「公衆衛生学Ⅱ」の履修を以って、愛玩動物看護師カリキュラム「公衆衛生学」の履修となる。環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 公衆衛生の概要 1) 公衆衛生の目的について理解する 2) 公衆衛生行政について理解する 3) 国民衛生の動向について理解する							
受講条件	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	EDWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5巻」			教材名 ¹⁵	科目担当教員作成レポート用紙			
設備名・機器名 ¹⁶	白板			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本公衆衛生学会 https://www.jsph.jp/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ¹⁹	公衆衛生学Ⅱ			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	公衆衛生の目的	公衆衛生の目的、公衆衛生行政についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第2回	○月○日	国民衛生の動向	国民衛生の動向、One Healthと獣医療の関係についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第3回	○月○日	食品衛生法	食品衛生の定義と目的をA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第4回	○月○日	細菌性食中毒/ウイルス性食中毒	細菌性食中毒とウイルス性食中毒についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第5回	○月○日	寄生虫性食中毒/有害物質による食中毒	寄生虫性食中毒と有害物質による食中毒についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第6回	○月○日	食品とアレルギー	食物アレルギーについてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第7回	○月○日	食品と水	食品の保存方法についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第8回	○月○日	食品安全行政の動向	食品衛生管理手法や食品の安全性についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第9回	○月○日	環境衛生とは	環境衛生の歴史、背景、現在の問題点についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第10回	○月○日	地球規模の環境問題	化学物質や放射線による健康障害についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第11回	○月○日	水の衛生	水を介した健康被害についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第12回	○月○日	廃棄物問題	廃棄物の取り扱いについてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第13回	○月○日	衛生動物	衛生動物による健康障害や動物の咬傷による健康被害についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第14回	○月○日	単位認定試験	成績判定試験実施	※学生証が必要
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容を解説	

成績評価方法 21.

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間) 50問(五肢択一問題)
課題レポート: 毎回 評価基準は各回にて提示・説明
授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀 (S) : 100点~90点	
②確認テスト						なし	優 (A) : 89点~80点	
③課題レポート	2位	1位				20	良 (B) : 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可 (C) : 69点~60点	
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥出席				1位		10		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	北村 昌樹	授業担当教員	藤本 嘉明
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				

2025年度シラバス

科目名 ¹	公衆衛生学Ⅱ			学科名 ² (コース名)	動物看護科		学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業「公衆衛生学Ⅰ」と「公衆衛生学Ⅱ」の履修を以って、愛玩動物看護師カリキュラム「公衆衛生学」の履修となる。環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 公衆衛生の概要 1) 公衆衛生の目的について理解する 2) 公衆衛生行政について理解する 3) 国民衛生の動向について理解する							
受講条件	動物看護科に在籍している。公衆衛生学Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5巻」			教材名 ¹⁵	科目担当教員作成レポート用紙			
設備名・機器名 ¹⁶	白板			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本公衆衛生学会 https://www.jsph.jp/			
関連前科目 ¹⁸	公衆衛生学Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	疫学	疫学調査法についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第2回	○月○日	感染と流行	感染の成立と疾病・健康被害についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第3回	○月○日	サーベイランス	予防疫学についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第4回	○月○日	バイオハザード	バイオハザードについてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第5回	○月○日	ウイルス性人獣共通感染症①	1. ラッサ熱~4. クリミア・コンゴ熱についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第6回	○月○日	ウイルス性人獣共通感染症②	5. 南米出血熱~13. リフトバレー熱についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第7回	○月○日	ウイルス性人獣共通感染症③	14. ハンタウイルス感染症~22. 新型コロナウイルス感染症についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第8回	○月○日	細菌性人獣共通感染症①	1. ペスト~9. 破傷風についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第9回	○月○日	細菌性人獣共通感染症②	10. 猫ひっかき病~20. オウム病についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第10回	○月○日	真菌性人獣共通感染症/ 原虫性人獣共通感染症	1. 皮膚糸状菌症、2. クリプトコッカス症、原虫性人獣共通感染症についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第11回	○月○日	蠕虫性人獣共通感染症/ 外部寄生虫症	線虫症、吸虫症、糸虫症、外部寄生虫症についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。☑	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第12回	○月○日	エマージング感染症	新興・再興感染症の言葉の意味や出現の背景についてA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第13回	○月○日	狂犬病予防の重要性	狂犬病の蔓延状況、症状や予防法を学び、その重要性を理解したうえで公衆衛生的観点からA4サイズのレポート用紙にまとめることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻
第14回	○月○日	定期テスト	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容を解説	-

成績評価方法 21.

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間) 50問(五肢択一問題)
課題レポート: 毎回 評価基準は各回にて提示・説明
授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点	
③課題レポート	2位	1位				20	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下	
⑥出席				1位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	藤本 嘉明
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物内科看護学		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム 「臨床動物看護学」に位置する授業。 内科診療補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録などについて理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 健康の保持増進について理解している 2. 診療補助に必要な技術が身についている 3. 検査・処置に必要な技術が身についている 4. 投薬に関わる技術が身についている							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 EDUWARD PRESS出版 2022年2月21日改訂第2版発行 (第1章 P.3~第4章 P.94) 動物看護実習テキスト第3版 愛玩動物看護師カリキュラム準拠			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物内科看護学I」(授業担当教員作)成績判定試験五肢択一問題60問(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本愛玩動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/			
関連前科目 ¹⁸	特になし			関連後科目 ¹⁹	動物内科看護学Ⅱ、動物内科看護学実習Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 消毒薬について	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明 犬舎・猫舎の消毒で用いる消毒薬と診察台の消毒方法を説明できる	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第2回	○月○日	入院舎の衛生管理	入院舎の消毒手順、感染症罹患動物が使用した入院舎の消毒が正しくできる	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第3回	○月○日	カルテ用語について モデル犬実習について	獣医療においてよく使用されるカルテ用語を答えられる。(小テスト正答率60%以上) キャリアバッグからの犬の出し入れ、診察台での犬の扱いを正しく行える。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第4回	○月○日	入院手続きについて	入退院の一連の流れ、同意書の説明方法を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第5回	○月○日	保定について	基本の保定(立位)ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第6回	○月○日	バイタルサインとは	バイタルサインが何か、どのようなものがあるか説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第7回	○月○日	バイタルサイン測定について	TPR、HR、PFA、CRTの測定方法を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第8回	○月○日	一般身体検査について① (目・耳・鼻)	一般身体検査における目、耳、鼻の正常を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第9回	○月○日	一般身体検査について② (姿勢)	一般身体検査における動物の正しい姿勢を説明できる	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第10回	○月○日	栄養管理について	BWを元にカロリー計算ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第11回	○月○日	輸液管理について	輸液管理を行うにあたって必要とされる物を何も見ずに準備できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第12回	○月○日	カルテの記入について	動物内科看護学実習Ⅰで来たモデル犬のバイタルサインの結果をカルテ用語を用いて記入できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第13回	○月○日	採血について	採血方法と採血で用いる血管、駆血方法とその注意点について説明・実践できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 60問(五肢択一問題)
確認テスト:全2回実施 第3回授業内で実施(10点) 第11回授業内で実施(10点)
課題レポート:10%分
授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:10%分(1回欠席5点 2回欠席3点 3回欠席1点とする)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点
③課題レポート	3位	2位			1位	10	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高橋 佳代子
				実務経験紹介	

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物内科学看護学Ⅱ			学科名 (コース名) ²	動物看護科		学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業。 内科診療補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録などについて理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 健康の保持・増進 1) 健康診断の内容と目的について理解する 2. 診療補助に必要な技術 1) 診察における愛玩動物看護師の役割について理解する 2) 診察室の準備と衛生管理について理解する							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。動物内科学看護学Ⅰ、動物内科学看護学実習Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 EDUWARD PRESS出版 2022年2月21日改訂第2版発行 (第5章 P.95～第17章 P.313) 動物看護実習テキスト第3版 愛玩動物看護師カリキュラム準拠			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物内科学看護学Ⅱ」(授業担当教員作) 成績判定試験五肢択一問題86問(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本愛玩動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/			
関連前科目 ¹⁸	動物内科学看護学Ⅰ、動物内科学看護学実習Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	動物内科学看護学実習Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1・2回	○月○日	マイクロチップについて 前期手技の復習、カルテ略語	マイクロチップの挿入器具、挿入手技、影響を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第3・4回	○月○日	輸血管理について	輸血療法実施までの手順の説明ができる。 輸血療法の準備ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第5・6回	○月○日	輸液剤の分類について 輸血時の観察・輸血後の検査	輸液剤の違いを理解し、輸液療法の準備ができる。 輸血時の観察項目・輸血後の検査項目の説明ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第7・8回	○月○日	小テスト(カルテ用語)① 眼科検査・耳検査について 小テスト(カルテ用語)②	獣医療において使用されるカルテ用語を答えられる。(小テスト正答率60%以上) 各眼科検査・耳検査の準備ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第9・10回	○月○日	薬の取り扱いについて 目薬・目垢検査について X線検査について①	獣医療において使用されるカルテ用語を答えられる。(小テスト正答率60%以上) 薬袋を記入でき、専門用語を使わずに投与方法を説明できる。 目垢の塗抹標本を作成・観察できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第11・12回	○月○日	X線検査について① バイタル、一般身体検査①	X線とは何か説明ができる。 バイタルチェック・一般身体検査を実施し、正常か異常か判断できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第13・14回	○月○日	X線検査について②	被爆の影響、X線防護三原則、X線透過性の説明ができる。 撮影条件設定ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第15・16回	○月○日	X線検査について③	X線検査時のポジショニングの説明ができる。 X線時の保定ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第17・18回	○月○日	X線検査について④	現像、読影、データ保管の説明ができる。 造影撮影について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第19・20回	○月○日	超音波検査について① 真菌・細菌検査について	超音波検査の目的と意義について説明できる。 真菌培養法について説明ができる。培地の観察ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第21・22回	○月○日	超音波検査について② CT、MRI、PET検査について	超音波検査の準備・片付けができる。 CT・MRI・PET検査について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第23・24回	○月○日	内視鏡検査について バイタル、一般身体検査②	内視鏡検査の目的と意義について説明できる。 犬のバイタルチェック・一般身体検査を実施し、異常か正常か判断できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第25・26回	○月○日	心電図検査について	心電図検査の目的と意義について説明できる。 心電図・血圧を測定できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」
第27・28回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第29・30回	○月○日	電法、サクション、ネブライザーについて	成績判定試験の内容をグループにて解説 温電法・冷電法の効果・方法の説明ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科学看護学」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 60問(五肢択一問題)
確認テスト:全2回実施 第3回授業内で実施(10点) 第11回授業内で実施(10点)
課題レポート:10%分
授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:10%分(1回欠席5点 2回欠席3点 3回欠席1点とする)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点	
③課題レポート	3位	2位			1位	10	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥出席				1位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高橋 佳代子
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物外科看護学		学科名 ² (コース名)	2. 動物看護科			学年	3. 2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業。外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 1. 外傷、創傷管理 1) 創傷の種類と治療過程と管理方法について理解する 2) ドレーンの装着と管理法について理解する 3) 止血法について理解する							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。							
教科書名	14 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」2022年2月21日 改訂第2版 第1刷 発行 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護			教材名	15 PowerPoint「動物外科看護学」(授業担当教員)、成績判定試験「動物外科看護学」五肢択一式問題100問(授業担当教員)、小テスト「動物外科看護学」全4回五肢択一式(第7,14,21,28回授			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン、麻酔モニター、各種外科器具			関連サイト	17 https://e-lephant.tv/vets-ch/?lang=ja 一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.ivna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目	18 -			関連後科目	19 動物外科看護実習Ⅰ、動物外科看護実習Ⅱ、動物外科看護実習Ⅲ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	動物に対して外科処置を行う状況と目的	外科処置を行う状況・目的や、無菌操作の重要性、滅菌状態について理解し、説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第2回	○月○日	手術前に動物に必要な情報・飼い主に必要な指示	全身麻酔の必要性や術前説明や術前評価の重要性を理解し、説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第3回	○月○日	手術器具の準備 メス・剪刀	メス・各種剪刀の名称や用途、特徴を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第4回	○月○日	手術器具の準備 鑷子・鉗子	各種鑷子・各種鉗子の名称や用途、特徴を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第5回	○月○日	手術器具の準備 縫合器具・その他の器具・電気メス	各種縫合器具・電気メスの名称や用途、特徴を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第6回	○月○日	術前準備 縫合糸・針 滅菌機器	縫合糸や針の種類や用途、特徴を理解し説明できる 滅菌方法やその特徴を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第7回	○月○日	術前準備 手術室の環境管理、設備の準備と管理	手術室の準備に必要な機器の名称や特徴を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第8回	○月○日	麻酔前投与とは	麻酔前投与薬や鎮痛剤の種類や名称、作用機序を理解し確認問題の正答率が60%を超えることができる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第9回	○月○日	術中補助 麻酔モニター・毛刈り・消毒	麻酔モニターの装着方法を理解し説明できる 避妊手術や去勢手術の毛刈り範囲を理解し説明できる 消毒薬の名称や特徴を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第10回	○月○日	麻酔導入	麻酔導入薬の種類や特徴を理解し確認問題の正答率が60%を超えることができる 挿管の準備や順序を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第11回	○月○日	麻酔モニター ECG	心電図における正常と異常を理解し確認問題の正答率が60%を超えることができる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第12回	○月○日	麻酔モニター 血圧	血圧における正常と異常を理解し確認問題の正答率が60%を超えることができる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第13回	○月○日	麻酔モニター EtCO2	EtCO2やカブプログラムにおける正常と異常を理解し確認問題の正答率が60%を超えることができる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第14回	○月○日	麻酔モニター SpO2	SpO2やプレシモグラフにおける正常と異常を理解し確認問題の正答率が60%を超えることができる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第15回	○月○日	麻酔モニター 体温	体温における正常と異常を理解し確認問題の正答率が60%を超えることができる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第16回	○月○日	麻酔モニタートラブルシューティング	麻酔モニターにおける異常を理解し対処の仕方を説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第17回	○月○日	麻酔記録について	手術における麻酔記録の重要性や書き方を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第18回	○月○日	覚醒補助について	麻酔覚醒や抜管の順序や注意点を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第19回	○月○日	術後栄養管理について	術後動物への1日に必要なカロリー量を計算できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第20回	○月○日	疼痛管理について	手術で使用する器具の滅菌方法・針・糸・歯科器具について学び、手術開始前に準備ができるようにする。手術室にある機器の取扱について説明できるようにする	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第21回	○月○日	ペインスケールについて	ペインスケールを用いて患者動物の痛み評価ができる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第22回	○月○日	衛生管理について	創傷の種類や治療過程、ドレッシング材について理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第23回	○月○日	ペインスケールに短頭種や腎機能低下の麻酔管理	短頭種や腎機能低下での麻酔管理の危険性や注意点を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第24回	○月○日	リハビリテーションについて	リハビリテーションのメリットやデメリットを理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第25回	○月○日	理学療法について	理学療法の種類や方法を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第26回	○月○日	心肺蘇生 一次救命処置	心肺停止動物の一次救命処置を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第27回	○月○日	心肺蘇生 二次救命処置	心肺停止動物の二次救命処置を理解し説明できる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第28回	○月○日	動物外科看護学総復習	1回目から27回目までの重要点を繰り返し学習し単位認定試験の正答率が60%を超えることができる	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」
第29回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-

2025年度シラバス

第30回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・ EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」			
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.							
成績判定試験：第29回の授業内で実施(60分間) 100問(五肢択一問題) 確認テスト：全4回確認テスト実施 第7回授業内で実施(5点分)、第14回授業内で実施(5点分)、第21回授業内(5点分)、第28回授業内(5点分) 授業態度：減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点) 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S)：100点～90点 優(A)：89点～80点 良(B)：79点～70点 可(D)：69点～60点 不可(E)：59点以下
②確認テスト	1位	2位				20	
③課題レポート						なし	
④授業態度			2位	1位		20	
⑤作品						なし	
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	大坪 優太
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物臨床看護学総論		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年	3. 2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム 「臨床動物看護学」に位置する授業。 動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 1. 動物看護過程の展開 1) 動物看護過程の目的や意義、方法について理解する 2) 動物看護過程の各ステップについて理解する 3) アセスメントについて理解する							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。							
教科書名	14 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 2022年3月4日 改訂第2版 第1刷 発行			教材名	15 成績判定試験五肢択一問題 (授業担当教員作)			
設備名・機器名	16 白板			関連サイト	17 一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目	18 動物看護学概論			関連後科目	19 動物臨床看護学各論Ⅰ、動物臨床看護学各論Ⅱ、動物臨床看護学実習			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	子猫の看護、クリティカルパス	チーム獣医療における動物看護師の役割を学び、ケアの標準化(クリティカルパス)とは何か子猫のミルクボランティアを通じて説明できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P3~20
第2回	○月○日	クリティカルパス作成のための情報整理	子猫預かりの目的・メリット・食事・環境・社会化・感染症対策を説明できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P3~20
第3回	○月○日	クリティカルパスの完成	グループワークでクリティカルパスを作成する。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P3~50
第4回	○月○日	幼齢期の看護	幼齢動物看護の特徴について説明できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P73~77
第5回	○月○日	クリティカルパスの課題の解説	看護過程の目的や意義、方法の説明ができ、看護計画立案の手順と原則に基づいて自ら疑問点を見出し、追及することができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P10~15
第6回	○月○日	動物看護計画立案①	子猫(預かりボランティア)を例にアセスメントを書き出し、問題点の抽出・目標設定ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P33~50
第7回	○月○日	動物看護計画立案②	子猫(預かりボランティア)の看護計画立案し、臨床現場を想定した各種場面において最良とされる判断ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P33~50
第8回	○月○日	動物看護計画立案③	子猫の看護計画(預かりボランティア)を完成させる。診療記録の構成要素、看護記録の意義や目的、看護記録の種類について学び、説明ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P33~50
第9回	○月○日	SOAP・フォーカスチャータイングとは	経過記録の代表的な形式の特徴と作成方法を学び、作成できる。愛玩動物看護師法、看護師の職務、看護管理について学び、実践できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P33~68
第10回	○月○日	看護管理	看護ケア提供するシステム、安全管理について学び、医療自己対策に関して最良とされる判断ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P33~68
第11回	○月○日	安全管理・高齢期の看護	感染症・災害時の対策を自ら考え、安全管理を行える。老化とは何かを学び、関係する要因や具体的な老化の兆候を説明できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P73~93
第12回	○月○日	高齢動物の生活環境	高齢動物の健康管理、各種予防、看護援助、在宅介護、褥瘡とは何かを学び適切な看護を行うことができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P94~141
第13回	○月○日	ターミナルケア、グリーフ・ケア、急性・慢性疾患について	終末期医療の特徴と観察のポイントを説明でき、適切な動物看護を行う事ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P142~149
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験 解説	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容を確認し、復習する	-

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一問題)
 授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
 出席: 減点方式(1回欠席5点 2回欠席3点 3回欠席1点 とする)
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	1位	2位				20	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	阿部 令子
				実務経験紹介	

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物臨床看護学各論Ⅰ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年	3. 2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業。様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか。評価と介入の方法について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 徴候や疾患の理解と対処 1) 代表的な徴候や病態、疾患について理解する 2) 徴候の評価と記録法について理解する 3) 痛みの評価について理解する							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。動物臨床看護学総論の単位取得。							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 2022年3月4日 改訂第2版 第1刷 発行			教材名 ¹⁵	成績判定試験「動物臨床看護学各論Ⅰ」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	動物臨床看護学総論			関連後科目 ¹⁹	動物看護学各論Ⅱ			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	徴候とは	徴候の定義と種類を理解し、臨床現場での重要性を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第2回	○月○日	代表的な徴候と対処法①	疼痛・削瘦・咳などの代表的な徴候と基本的な対処法を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第3回	○月○日	代表的な徴候と対処法②	嘔吐、吐出・下痢、血便、便秘などの徴候の観察方法と初期対応を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第4回	○月○日	特異的徴候(尿毒症)について	尿毒症に関連する特異的徴候のメカニズムと対処法を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第5回	○月○日	特異的病態と呼吸器疾患の導入	呼吸器疾患の症状出現に至る病態の変化と関連徴候を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第6回	○月○日	呼吸器疾患の基礎①	上部気道疾患の特徴と臨床徴候を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第7回	○月○日	呼吸器疾患の基礎②	下部気道疾患の特徴と診断アプローチを理解できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第8回	○月○日	呼吸器疾患の基礎③	肺疾患の分類と徴候、画像検査の読み取りの基本を理解できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第9回	○月○日	呼吸器疾患の診察・検査・治療	呼吸器疾患に対する検査方法や治療の基本を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第10回	○月○日	呼吸器疾患の動物看護	呼吸器疾患の動物看護のポイントを挙げ、ケアに必要な観察項目を理解できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第11回	○月○日	循環器の基礎①	循環器の基本構造と心機能について理解し、説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第12回	○月○日	循環器の基礎②	血圧・心拍・心音など循環の基礎評価方法を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第13回	○月○日	代表的な循環器疾患①	心不全や心膜炎など代表的な循環器疾患を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第14回	○月○日	代表的な循環器疾患②(犬糸状虫)	犬糸状虫や肥大型心筋症の病態・症状・治療法を理解できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第15回	○月○日	呼吸器疾患の復習とまとめ小テスト	呼吸器疾患の重要点を復習し、小テストの正答率が60%を超える事が出来る。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第16回	○月○日	代表的な循環器疾患③(心室性不整脈)	心室性不整脈などの不整脈に関する臨床的特徴を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第17回	○月○日	循環器疾患の診察・検査	循環器疾患の身体検査・心電図・血液検査の目的と方法を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第18回	○月○日	循環器疾患の診察・検査・治療②	循環器疾患の治療法(薬物・酸素・外科)を症例に合わせて説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第19回	○月○日	循環器疾患の動物看護	循環器疾患の動物看護における観察点と緊急時対応を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第20回	○月○日	循環器のまとめと小テスト	循環器の知識を総復習し、小テストの正答率が60%を超える事が出来る。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第21回	○月○日	消化器の基礎	消化器の構造と機能を復習し、異常時の徴候を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第22回	○月○日	代表的な消化器疾患①	急性胃炎や胃捻転など代表的な消化器疾患を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第23回	○月○日	代表的な消化器疾患②(慢性腸症)	慢性腸症の分類と診断・治療法について説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第24回	○月○日	代表的な消化器疾患③(腸リンパ管拡張症)	腸リンパ管拡張症など稀な疾患の特徴と治療法を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第25回	○月○日	代表的な消化器疾患③(続き)	炎症性腸疾患など慢性疾患に対するアプローチを説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第26回	○月○日	代表的な消化器疾患④	膵炎や肝疾患などの消化器疾患について説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第27回	○月○日	消化器疾患の診察・検査・治療	消化器疾患の検査(超音波・内視鏡・血液検査)と治療法を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第28回	○月○日	消化器疾患のまとめと小テスト	消化器疾患の知識を総復習し、小テストの正答率が60%を超える事が出来る。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」	
第29回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験 解説	これまで学習した徴候・呼吸器・循環器・消化器疾患を統合的に理解できる。				-	

2025年度シラバス

第30回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容を確認し、復習する	-	21.			
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。					21.			
成績判定試験：第29回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一問題) 確認テスト：全3回実施(15, 20, 28回授業内で実施) 評価基準は授業内で説明。 授業態度：減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点) 出席：減点方式(1回欠席8点 2回欠席5点 3回欠席4点 4回欠席3点 5回欠席2点 6回欠席1点 とする) 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀(S)：100点~90点 優(A)：89点~80点 良(B)：79点~70点 可(D)：69点~60点 不可(E)：59点以下
②確認テスト		1位	2位				20	
③課題レポート							なし	
④授業態度				2位	1位		20	
⑤作品							なし	
⑥出席					1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	西 景子
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物臨床看護学各論Ⅱ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	3. 3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業。「動物臨床看護学各論Ⅰ」と「動物臨床看護学各論Ⅱ」の履修を以って、愛玩動物看護師カリキュラム「動物臨床看護学各論」の履修となる。様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 1. 徴候や疾患の理解と対処 2. 代表的な徴候や病態、疾患について理解する 3. 痛みの評価と記録法について理解する							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。動物臨床看護学各論Ⅰの単位取得。							
教科書名	14 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 2022年3月4日 改訂第2版 第1刷 発行			教材名	15 成績判定試験「動物臨床看護学各論Ⅱ」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト	17 一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目	18 動物臨床看護学総論、動物臨床看護学各論Ⅰ			関連後科目	19 なし			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	免疫とは	生態防御機構とバリア機能についてを学び、身体の免疫の働きと愛玩動物たちが免疫取得のためにはどのようにするか説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P73	
第2回	○月○日	免疫機能とワクチン接種	免疫機能・生態挙動機能障害の症状・血液疾患を学び、愛玩動物たちがワクチン接種によって病気から守られることを飼い主に説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P74～80	
第3回	○月○日	貧血について	貧血の分類や主な疾患を学び、症状から適切な看護ができるようにする				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P323～350	
第4回	○月○日	血液疾患の診察と検査方法	どの疾患から起こりうる血液疾患なのかを学び、適切な検査方法を正しい手順方法で検査を行うことができる				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P334～354	
第5回	○月○日	血液疾患・免疫介在性疾患の検査について	血液疾患と免疫介在性疾患について適切な検査方法を学び、正しい手順方法で検査を行うことができる				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P323～353	
第6回	○月○日	代表的な血液・免疫介在疾患について①	症例が多くみられる愛玩動物たちの血液疾患と免疫介在性疾患を学び、症状を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P323～353	
第7回	○月○日	代表的な血液・免疫介在疾患について②	免疫低下疾患と免疫介在性疾患の症状を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P323～353	
第8回	○月○日	皮膚疾患の検査と治療	皮膚疾患における検査方法、どのような治療方法があるかを説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P357～P378	
第9回	○月○日	皮膚疾患の治療と代表的皮膚疾患①	皮膚疾患の治療方法手順が正しく行える。症例が多くみられる皮膚疾患の症状を説明できる				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P357～383	
第10回	○月○日	皮膚疾患の治療と代表的皮膚疾患②	症例が多くみられる皮膚疾患の症状の概要説明でき、適した動物看護を飼い主に提供できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P357～383	
第11回	○月○日	皮膚疾患の治療と代表的皮膚疾患③	免疫機能障害と皮膚疾患の関連性を説明でき、適した動物看護を飼い主に指導ができる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P357～383	
第12回	○月○日	内分泌について	身体の内分泌臓器から分泌されるホルモン、役割を説明ができる				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P293～294	
第13回	○月○日	糖尿病のメカニズム	糖尿病のメカニズムを説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P293～302	
第14回	○月○日	甲状腺機能の疾患	甲状腺機能異常の概要説明ができ、それぞれに適した動物看護が行える。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P303～306	
第15回	○月○日	内分泌疾患	内分泌疾患の概要説明ができる。それぞれに適した動物看護が行える。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P307～319	
第16回	○月○日	排泄機能障害①	排尿機能障害で起こる身体のトラブルについて説明ができる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P178～182	
第17回	○月○日	排泄機能障害②	排尿機能障害の概要を説明できる。それぞれに適した動物看護が行える。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P441～478	
第18回	○月○日	繁殖機能障害	生殖器疾患の症状、病態生理が説明できる				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P483～497	
第19回	○月○日	繁殖機能障害の看護	症例数が多い生殖器疾患の概要説明ができ、適切な動物看護が行える。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P483～497	
第20回	○月○日	がん動物の看護	腫瘍の機序・TNM分類と病期分類を説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P531～532	
第21回	○月○日	がん治療の考え方	がん診断の検査と治療の手順の説明ができる。抗がん動物の治療と化学療法法の副作用を理解し、がん動物の看護が行える。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P533～566	
第22回	○月○日	QOLを守るための方法	がん動物の治療には獣医師、動物看護師、飼い主で構成されるチームで構成する重要性があることを学び、QOLを守るための方法、がん性疼痛、がん性悪液質の説明ができる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P539～545	
第23回	○月○日	がん動物の看護①	がん動物の適した食事を飼い主に説明できる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P546～566	
第24回	○月○日	がん動物の看護②	がん動物の全身治療の種類と特徴の説明、がん化学療法法の基本規則と仮設についての説明ができる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P542～557	
第25回	○月○日	がん化学療法について	がん化学療法の種類・耐性・副作用を学び、正しく安全な取扱いができる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P542～557	
第26回	○月○日	神経機能障害の疾患	神経機能障害、整形外科疾患の症状・病態生理・概要について説明でき、適切な動物看護が行える				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P407～435	
第27回	○月○日	運動機能障害の疾患	感覚器の特殊・内臓・体性を復習し、運動器疾患における動物看護介入を行うことができる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P407～435	
第28回	○月○日	感覚機能障害の疾患と救急疾患	感覚器疾患の症状、病態生理・検査・治療・概要を学び、適切な看護を行うことができる。				EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」 P389～404	
第29回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験 解説	成績判定試験実施				-	

2025年度シラバス

第30回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容を確認し、復習する	-	21.			
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。					21.			
成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一問題) 授業態度：減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点) 出席：減点方式(1回欠席8点 2回欠席5点 3回欠席4点 4回欠席3点 5回欠席2点 6回欠席1点 とする) 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀(S)：100点～90点 優(A)：89点～80点 良(B)：79点～70点 可(D)：69点～60点 不可(E)：59点以下
②確認テスト		1位	2位				20	
③課題レポート							なし	
④授業態度				2位	1位		20	
⑤作品							なし	
⑥出席					1位		10	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	阿部 令子
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物臨床検査学		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年	3. 2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	さまざまな臨床検査の原理や方法を学び、 図 体や測定機器の正しい扱い方について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	血液検査、糞便検査、尿検査の手技を理解できる。 細胞診、病理組織検査、遺伝子検査の目的を理解できる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍をしている。							
教科書名 ¹⁴	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 EDUWARD Press出版 2022年3月1日第1版発行 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物臨床検査学」(授業担当教員作 全11回分)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	富士フイルム https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/veterinary/examination			
関連前科目 ¹⁸	動物内科看護学Ⅰ、Ⅱ、動物内科看護学実習Ⅰ、Ⅱ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明・医療廃棄について・顕微鏡の操作方法	授業の全体構成や目的を説明した後、顕微鏡の基本操作と廃棄物の分類を学ぶ。確認小テストで70パーセント以上得点する。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第2回	○月○日	糞便検査の基礎理解	糞便検査でわかること・観察すべきことを学び、検査に必要な知識を身に付けることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第3回	○月○日	糞便検査結果の読解とカルテ記入	SOAPでカルテが記入できる。糞便検査の結果からアセスメントを考慮することができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第4回	○月○日	尿検査の基礎理解と結果の読解	尿検査でわかること・観察すべきことを学び、検査に必要な知識を身に付けることができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第5回	○月○日	糞便検査・尿検査の総復習	糞便検査・尿検査を合わせ、アセスメントを考慮することができる。確認小テストで70%以上得点する。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第6回	○月○日	採血準備・血液検査の概要	犬・猫で採血に使われる血管の走行を理解する。採血に必要な道具を理解し、動物個体に合わせた道具の提案ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第7回	○月○日	CBC・生化学・塗抹検査について	CBC・生化学検査・塗抹検査の概要を説明できる。各検査で得られる情報を理解し、臨床への活かし方を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第8回	○月○日	一般身体検査の復習	一般身体検査(視診・触診・聴診など)の手順を再確認し、記録方法を理解できる。検査結果から異常の可能性を推察できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第9回	○月○日	ヘマトクリット管検査について	ヘマトクリット検査の手順を説明し、適切に測定できる。測定値の臨床的な意味を理解し、異常値を考察できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第10回	○月○日	血液検査の総まとめ①	CBC・生化学検査の結果を総合的に読み解くことができる。データから動物の健康状態をアセスメントできる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第11回	○月○日	血液検査の総まとめ②	血液塗抹標本を観察・評価し、細胞の分類ができる。検査結果をもとに、臨床像を想定できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論」
第12回	○月○日	FNA、細胞診、染色について	FNAの採取手技と染色法を理解し、使用する器具や手順を説明できる。	※各学生が作成したPowerPoint
第13回	○月○日	マイアミナルデー	学生の飼育動物を対象に血液検査・尿検査・糞便検査を実施し、観察記録や検査結果をもとに、適切な発表ができる。日常ケアをふまえてアセスメントし、改善提案ができる。	・評価シート(配布) ※各学生が作成したPowerPointスライドを使用
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	前期の授業を振り返り、成績判定試験を実施。(マークシート 五肢択一形式:全70問)	-
第15回	○月○日	試験返却/解説	成績判定試験を振り返り、間違った問題の正誤理由を個人で考え、グループ内で説明できる。	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

成績判定試験:70問 50分間 36点以上
小テスト(第1, 5, 7, 10回目で実施予定):記述式 7割以上で合格
課題レポート:第7回で提出 血液生化学検査の各項目についてまとめ
授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	2位	1位				20	優(A):89点~80点	
③課題レポート	1位	2位				10	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	西田 沙季	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	西田 沙季
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物医療コミュニケーション		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業。 事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. クライアントエデュケーション 1) 適正飼養について理解し、健康管理のため必要な情報を飼い主に提供できる。 2) 動物と飼い主が良好な関係を構築する方法について理解する。 3) 病気の適切な予防法(予防接種、フィラリア予防、ノミ・ダニ予防、去勢、避妊手術など)について理解する。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第1版発行 (第1章 P.393~第3章 P.433)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物医療コミュニケーション」(授業担当教員作)、成績判定試験「動物医療コミュニケーション」五肢択一式問題70問(授業担当教員作)、小テスト(確認テスト)「動物医			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	厚生労働省HP https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/			
関連前科目 ¹⁸	特になし			関連後科目 ^{18,19}	特になし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 獣医療面接とは	動物医療コミュニケーションの重要性について説明する事が出来る。 獣医療面接が何か説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第2回	○月○日	獣医療面接の手法について	どのような獣医療面接の手法があるか答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第3回	○月○日	問診・電話対応について	実際の動物病院で行われる問診・電話対応ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第4回	○月○日	獣医療面接の終え方について	次の来院に繋がる獣医療面接の終え方を実践することができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第5回	○月○日	クライアントエデュケーションとは	クライアントエデュケーションが何か、必要性について答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第6回	○月○日	狂犬病予防とは	狂犬病予防の重要性が説明できる。 狂犬病予防法に基づいた登録手続きを飼い主に説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第7回	○月○日	フィラリア予防とは	フィラリア予防の重要性について説明できる。 フィラリア予防薬の説明、予防期間について飼い主に説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第8回	○月○日	ノミ・ダニ予防とは	ノミ・ダニ予防の重要性について説明できる。 ノミ・ダニが人体に及ぼす悪影響について説明できる。 ノミ・ダニが犬猫についているときの対処法や予防方法について説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第9回	○月○日	混合ワクチン(犬・猫)について(オンデマンド授業・反転授業準備)	犬・猫の混合ワクチンに含まれる感染症を答えられる。 対動物看護科学生を想定した、混合ワクチンの授業PowerPointを作成できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・オンデマンド授業「犬・猫の
第10回	○月○日	混合ワクチン(犬・猫)について(反転授業実施)	9回目授業で作成したPowerPointを元に20分間で学生同士で授業を実施する。 授業実施後の、理解度確認問題の正答率が80%を超える事が出来る。	・理解度確認問題
第11回	○月○日	避妊・去勢手術について	避妊・去勢のメリットとデメリットについて説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第12回	○月○日	対飼い主を想定した予防医学説明について	対飼い主を想定して3分間で予防医学の説明ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ
第13回	○月○日	演習試験(予防医学説明)	対飼い主を想定して3分間で予防医学の説明し、飼い主からの質問に答えられる。	-
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ・PowerPoint「動物医療コミュ

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:全4回確認テスト実施 第4回授業内で実施(5点分)、第6回授業内で実施(5点分)、第9回授業内(5点分)、第12回授業内(5点分)
授業態度:10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
演習試験:第12回授業で予防医学に関する説明を3分間で実施(評価基準は授業内にて説明)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位		2位			20	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(C):69点~60点
⑤演習試験	2位	3位			1位	10	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	愛玩動物学Ⅰ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1) 歴史と品種 1) 犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ(品種に適したグルーミングなど)について理解する。 2) 猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ(品種に適したグルーミングなど)について理解する。 3) 代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について理解する。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 2022年3月4日改訂第2版発行 (第1章 P.171～第11章 P.340)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」(授業担当教員作)、Googleスプレッドシート			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン、学校飼育動物			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ^{18,19}	愛玩動物学Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月9日 4月14日	授業概要説明 ウサギの品種と特徴①	授業内容: 授業概要の説明/ウサギの生態について 到達目標: ウサギの外見的特徴・便、尿について説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第2回	4月16日 4月21日	ウサギの品種と特徴②	授業内容: ウサギの飼養管理・飼養施設 到達目標: ウサギの食性・行動・繁殖について説明できる。保定ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第3回	〇月〇日	ウサギの品種と特徴③	授業内容: ウサギの主な疾病 到達目標: ウサギの主な疾病について説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第4回	〇月〇日	ハムスターの品種と特徴①	授業内容: 確認テスト(ウサギ)/ハムスターの品種・生態について 到達目標: 確認テストの正答率が60%以上 ハムスターの品種・外見的特徴の説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第5回	〇月〇日	ハムスターの品種と特徴②	授業内容: ハムスターの飼養管理・飼養施設/主な疾病 到達目標: ハムスターの食性・飼養環境・主なしべの説明ができる。保定ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第6回	〇月〇日	モルモットの特徴①	授業内容: 確認テスト(ハムスター)/モルモットの生態について/飼養管理・飼養施設 到達目標: 確認テストの正答率が60%以上。 モルモットの生態・外見的特徴・繁殖・行動の説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第7回	〇月〇日	モルモットの特徴② チンチラの特徴	授業内容: モルモットの主な疾病/チンチラの生態について 到達目標: モルモットの主な疾病の説明ができる。 チンチラの生態・外見的特徴・飼養環境の説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第8回	〇月〇日	フクロモモンガの特徴	授業内容: 確認テスト(モルモット、チンチラ)/フクロモモンガの生態/ 飼養管理・飼養環境/主な疾病 到達目標: 確認テストの正答率60%以上/フクロモモンガの外見的特徴・食性について説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第9回	〇月〇日	ハリネズミの特徴	授業内容: ハリネズミの生態/飼養管理・飼養環境/主な疾病 到達目標: ハリネズミの生態・外見的特徴・食性・主な疾病の説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第10回	〇月〇日	フェレットの特徴	授業内容: 確認テスト(フクロモモンガ、ハリネズミ)/フェレットの生態/飼養管理・飼養環境/ 主な疾病 到達目標: 確認テストの正答率60%以上/フェレットの生態・外見的特徴・繁殖・主な疾病の 説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第11回	〇月〇日	愛玩鳥の特徴①	授業内容: 確認テスト(フェレット)/愛玩鳥の生態について/繁殖・発情行動について 到達目標: 小テストの正答率60%以上。 愛玩鳥の消化器の説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第12回	〇月〇日	愛玩鳥の特徴②	授業内容: 愛玩鳥の飼養管理・飼養環境 到達目標: 愛玩鳥の生態・食性・適正飼養環境の説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第13回	〇月〇日	愛玩鳥の特徴③	授業内容: 確認テスト(愛玩鳥)/愛玩鳥の主な疾病について 到達目標: 確認テストの正答率60%以上 愛玩鳥の主な疾病の説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 ・PowerPoint「愛玩動物学Ⅰ」
第14回	〇月〇日	成績判定試験	授業内容: 成績判定試験実施	-
第15回	〇月〇日	試験解説	授業内容: 成績判定試験の内容をグループにて解説 到達目標: 成績判定試験問題の正誤理由を説明できる。	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

成績判定試験: 第14回で実施(50分間) 70問(五肢択一問題)
確認テスト: 第4回、第6回、第8回、第10回、第13回にて実施(詳細は各回の前の回で説明)
授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席: 欠席0回で10点 1回で5点 2回で3点 3回で1点とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	1位	2位				10	優(A): 89点~80点
③課題レポート			1位		2位	10	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	佐藤 萌美
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	愛玩動物学Ⅱ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養学」に位置する授業。 「愛玩動物学Ⅰ」と「愛玩動物学Ⅱ」の履修を以って、愛玩動物看護師カリキュラム「愛玩動物学」の履修となる。 犬猫の歴史や代表的な品種、生態や習性を理解したうえで適切な飼養管理方法について学ぶ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 主な犬種、猫種の特徴や歴史を理解しそれぞれの種類や特徴を説明できる。犬猫の飼養管理についても説明できるようにする。							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。愛玩動物学Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻			教材名 ¹⁵	POWERPOINT『愛玩動物学Ⅱ』第1回～第10回			
設備名・機器名 ¹⁶	スクリーン プロジェクター			関連サイト ¹⁷	一般社団法人ジャパンケネルクラブ (JKC) https://www.jkc.or.jp			
関連前科目 ¹⁸	愛玩動物学Ⅰ			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要/犬猫の歴史	授業概要を説明。犬猫の共通の歴史とそれぞれの繁殖目的の違いを説明できる	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第2回	○月○日	犬種 (JKC第1G~JKC第2G)	犬種 (JKC第1G~JKC第2G) について説明。JKC第1G~JKC第2Gの主な犬種の特徴や作業性を学び、それぞれどんな犬種なのかを説明できる	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第3回	○月○日	犬種 (JKC第3G~JKC第5G)	犬種 (JKC第3G~JKC第5G) について説明。JKC第3G~JKC第5Gの主な犬種の特徴や作業性を学び、それぞれどんな犬種なのかを説明できる	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第4回	○月○日	犬種 (JKC第6G~JKC第8G)	犬種 (JKC第6G~JKC第8G) について説明。JKC第3G~JKC第5Gの主な犬種の特徴や作業性を学び、それぞれどんな犬種なのかを説明できる	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第5回	○月○日	犬種 (JKC第9G~JKC第10G)	犬種 (JKC第9G~JKC第10G) について説明。JKC第3G~JKC第5Gの主な犬種の特徴や作業性を学び、それぞれどんな犬種なのかを説明できる	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第6回	○月○日	犬の飼養管理	犬の適正な飼育方法や予防管理方法について説明。犬の適正な飼育方法や必要な予防管理について理解、説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第7回	○月○日	猫の歴史	現在の猫の飼育実態、猫の歴史について説明。猫がどのように人と関わってきたのかの歴史的背景を学び説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第8回	○月○日	猫種	主な猫種の特徴、猫種ごとの歴史について説明。猫の種類や猫種ごとの特徴を学びそれぞれどんな猫種なのかを説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第9回	○月○日	猫の目色・毛色	猫の特徴的な目色や毛色について説明。猫の目色や毛色の特徴を学び、猫種を見極められるようになる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第10回	○月○日	猫の飼養管理	猫の適切な飼育方法や健康管理について説明。猫の適正飼育や健康管理について学び理解する。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 EDUWARD Press出版 P171~P175、P193~P200
第11回	○月○日	成績判定試験	成績判定試験の実施。授業内容の振り返り理解度を確認する。 60%以上得点する。	-
第12回	○月○日	成績判定試験の振り返り	成績判定試験の問題用紙を見ながら復習、間違ったところを訂正する。	-
第13回	○月○日	ドッグショー 事前学習	ドッグショーの目的やドッグショーでの注意事項について説明。ドッグショーでのマナーを理解し、犬種のJKC分類の基本的な知識を説明できる。	JAPAN KENNEL CLUB最新犬種図鑑写真で見える犬種とスタンダード EDUWARD Press出版
第14回	○月○日	ドッグショー 見学	ドッグショーに参加。ドッグショーでのマナーを守り、いろんな犬種を実際に見て学ぶ。犬種標準の犬を見てその犬種が答えられるようになる。	JAPAN KENNEL CLUB最新犬種図鑑写真で見える犬種とスタンダード EDUWARD Press出版
第15回	○月○日	ドッグショー 事後学習	ドッグショー後の課題提出。ドッグショーで得られたことをまとめられていること、犬種をJKC分類で分けることができる。	JAPAN KENNEL CLUB最新犬種図鑑写真で見える犬種とスタンダード EDUWARD Press出版

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第11回の授業内で実施 (50分間) 70問 (五肢択一問題)
確認テスト: 全3回実施 第6回目 (7点) 第7回目 (7点) 第10回目 (6点)
課題レポート: ドッグショーの課題提出 ドッグショーの感想、犬種をJKC分類で分けられているか評価 (10点)
授業態度: 減点方式 (遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト	1位	2位				20	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート	1位		2位			10	良 (B) : 79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	小林 永実	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	小林 永実
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	人と動物の関係学		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理的及び社会的側面から、その実態、課題などを含めて理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	①動物の飼育や利用の歴史を学び、特に日本と欧米での動物観の違いや現状を理解する。 ②動物虐待と対人暴力の関連、多頭飼育崩壊、高齢者や子供への動物への影響など動物と人の福祉を学ぶ。 ③動物との触れ合いが人に与える影響を理解し、動物介在活動・療法・教育の目的や内容を学ぶ。 ④現代人がペットを飼う理由を学び、そこからくる問題点(動物虐待・ペットロス)の現状を理解する。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日第2版発行			教材名 ¹⁵	PowerPoint「人と動物の関係学」(授業担当教員作 全12回分)、 授業まとめプリント(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター・スクリーン			関連サイト ¹⁷	公益社団法人 日本動物病院協会 https://www.jaha.or.jp/hab/capp/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	動物の家畜化の歴史	授業概要説明。 犬の家畜化の流れ、人と共存の歴史を答えられる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第2回	○月○日	日本における動物の歴史	日本の動物の歴史を知り、日本人の動物観を知る。 動物を擬人化することで起こる飼育上のメリット・デメリットをそれぞれ1つ以上考える事が出来る。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第3回	○月○日	西洋における動物の歴史	西洋の動物の歴史を知り、宗教や文化が個人の動物観に与える影響を説明する事が出来る。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第4回	○月○日	日本と西洋の動物観の比較	日本と西洋それぞれの動物観を比較し、より良い人と動物とのかかわり方とは何か具体例を用いて説明する事が出来る。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第5回	○月○日	AAIの定義	動物介在活動の歴史と、動物を使うことで得られる効果を答えられる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第6回	○月○日	AAIの実施手順	AAI、AAE、AATの違いを理解し、実際に動物介在活動を行うための手順と条件の違いを説明する事が出来る。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第7回	○月○日	AAIの体験	動物介在活動を受益者の立場で実際に体験し、心理的・情緒的な変化や動物との関わりによる影響を考察し、自分なりの考えをまとめる事が出来る。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第8回	○月○日	AAI実施後の振り返り	体験を通じて得た実感をもとに、動物看護師として動物介在活動に関与する際に必要となる視点を具体的に挙げ、自らの考えを論理的に説明できるようになる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第9回	○月○日	身体障害者補助犬について	身体障害者補助犬法で定められている盲導犬・聴導犬・介助犬の役割を知り、現在の社会での身体障害者補助犬を利用するユーザーが抱える問題を考察し改善案を立案できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第10回	○月○日	様々な使役犬	使役犬が果たす社会的役割や活動内容を理解し、それぞれの任務に応じた犬の訓練・管理方法、福祉への配慮について説明できるようになる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第11回	○月○日	ペットロス	ペットロスの定義と悲嘆反応について学び、飼い主が求めている対応を愛玩動物看護師としての視点で考え行動できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第12回	○月○日	動物虐待	動物虐待についての現状を知り、積極的虐待とネグレクトのどちらに当てはまるか判断できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻
第13回	○月○日	成績判定試験前の振り返り	全12回分のまとめプリントを配布し、空欄に適切なワードを入れることができる。	授業まとめプリント
第14回	○月○日	成績判定試験	成績判定試験(五肢択一問題)の実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験振り返り	成績判定試験を振り返り、間違った問題の正誤理由を個人で考え、グループ内で説明できる。	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

成績判定試験、課題レポート、授業態度、出席をもとに到達度を測定。
 成績判定試験:50問 五肢択一式問題 合格点数60点(30問) 試験時間50分
 課題レポート:10%分(授業内に評価基準説明)
 授業態度:減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点)
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀(S):100点~90点
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点
③課題レポート		1位	2位			10	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席						10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	追試

シラバス作成者	西田 沙季	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	西田 沙季
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	適正飼養指導論 I		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 動物の愛護及び管理に関する法律(以下、動物愛護管理法)に基づく適正飼養の概念と適正飼養の指導を学び、愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動の仕組みについて理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 愛玩動物看護師として、飼い主が飼育動物の終生飼養を実現できるよう、指導に必要な知識と根拠を身につけ、状況に応じた最良の判断ができる。							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。愛玩動物学Ⅱの単位取得。							
教科書名	14 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 EDUWARD PRESS出版 2021年10月29日第1版発行 (第1章 P.3~21 第3章 P.47~102)			教材名	15 PowerPoint「適正飼養指導論 I」(授業担当教員 全11回分)			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト	17 「もっと飼いたい?」 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2305a/full.pdf			
関連前科目	18 愛玩動物学Ⅱ			関連後科目	18, 19 適正飼養指導論Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	適正飼養の概論	授業概要説明。適正飼養に関する法規を根拠に混合ワクチン・狂犬病予防法の必要性を知り、その内容を動物看護師の立場で飼い主への説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第1回
第2回	○月○日	動物の愛護及び管理に関する法律	動物愛護管理法を根拠に、「動物病院での逸走対策の提案」と「避妊・去勢手術のメリット・デメリットの説明」ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第2回
第3回	○月○日	終生飼養について	5つの自由について学び、基準をもとに動物の食事選びができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第3回
第4回	○月○日	終生飼養における動物福祉	5つの自由を理解し、動物ごと(犬・猫・愛玩鳥)に必要な飼育環境を考え、グループで説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第4回
第5回	○月○日	予防医学	ノミ・マダニ・フィラリアの生態とそれぞれ媒介する病気、予防について説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第5回
第6回	○月○日	各動物に合わせた社会性の重要性	生態をもとに小動物(犬・猫・愛玩鳥・モルモット・ウサギ・フェレット・ハムスター・フクロモモンガ)の社会性(対人間・対同種)に合わせた対応ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第6回
第7回	○月○日	動物虐待の定義	適正飼養に関連する法規内での動物虐待の定義を学び、提示された事例が動物虐待かどうか判断できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第7回
第8回	○月○日	動物飼養の現状と推進	自分の地域の動物に関する条例や動物愛護推進員についてまとめる。動物看護師の地域社会との関わり方をまとめる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第8回
第9回	○月○日	動物愛護に伴う取り扱い業について	多頭飼育崩壊によって動物・飼育者・近隣に起こる悪影響をまとめる事ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第9回
第10回	○月○日	社会化期の重要性	多頭飼育崩壊により動物・飼育者・近隣に起こる悪影響を理解・説明できる。動物の特性を理解し、どのような生活環境での飼育を行うべきか説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第10回
第11回	○月○日	子犬・子猫教室計画立案	パピー教室のメリットを学び、グループごとにパピー教室実施のための計画立案ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・PowerPoint「適正飼養指導論 I」第11回
第12回	○月○日	グループワーク発表準備	クラスメイトと協力し、目的や対象を意識したパピー教室開催の準備ができる。	※各学生が作成したPowerPointスライド
第13回	○月○日	グループワーク発表	クラスメイトと協力し、グループで計画したパピー教室の冒頭10分の発表ができる。他グループの発表に対し「パピー教室にメリットを感じられるか」を評価できる。	評価シート(配布) ※各学生が作成したPowerPointスライドを使用
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	前期の授業を振り返り、成績判定試験を実施。(マークシート 五肢択一形式: 全50問)	-
第15回	○月○日	試験返却/解説	成績判定試験を振り返り、間違った問題の正誤理由を個人で考え、グループ内で説明できる。	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 50問 50分間 30点以上
 確認テスト: 第5回で配布する評価シート参照
 プレゼンテーション: 第13回で配布する評価シート参照
 授業態度: 減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点)
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	2位	1位				10	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション					1位	10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	西田 沙季	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	西田 沙季
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	適正飼養指導論Ⅱ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	3. 3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	動物の愛護及び管理に関する法律(以下、動物愛護管理法)に基づく適正飼養の概念と適正飼養の指導を学び、愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動の仕組みについて理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	愛玩動物看護師として、飼い主が飼育動物の終生飼養を実現できるよう、指導に必要な知識と根拠を身につけ、状況に応じた最良の判断ができる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。適正飼養指導論Ⅰの単位取得							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 EDUWARD Press出版 2021年10月29日第1版発行			教材名 ¹⁵	PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ」(授業担当教員 全10回分)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター・スクリーン			関連サイト ¹⁷	京都動物愛護センター(https://kyoto-anf.tove.com/) 環境省「人とペットの災害対策ガイドライン」(https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h3002.html)			
関連前科目 ¹⁸	適正飼養指導論Ⅰ			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	災害対策と支援の基本	授業概要説明。 現在の災害時のペットの扱いについての問題点を知り、同伴避難の重要性が説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第1回」
第2回	○月○日	平常時及び災害時の飼い主の備え	動物の飼育環境周辺での災害対策を学び、家具レイアウトのアドバイスができる。 ペットのための災害備蓄品を具体的に挙げられる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第2回」
第3回	○月○日	平常時及び災害時の飼い主の備え	同行避難時に必要なペットへのしつけ・健康管理を理解し、説明ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第3回」
第4回	○月○日	災害時の愛玩動物看護師の役割	災害時動物医療の必要性、現状を知る。 愛玩動物看護師としてどのようにかかわられるかを現実的に考える事が出来る、	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第4回」
第5回	○月○日	同伴避難のための適正飼養	同行避難について飼い主に向けて必要な情報をまとめ、リーフレットを作成する。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第5回」
第6回	○月○日	動物愛護管理行政の役割	動物愛護管理行政の役割・機能を説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第6回」
第7回	○月○日	シェルターメディスンについて	シェルターメディスンの考え方、日本と西洋の動物観の違いを簡潔に説明できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第7回」
第8回	○月○日	動物愛護管理行政への見学	実際に施設を見学し、講演を聞くことで動物愛護管理行政の役割と機能、地域の動物飼育の現状について理解を深め自分なりの考察をまとめる事ができる。	-
第9回	○月○日	動物愛護管理行政と愛玩動物看護師とのかかわり	レポート作成。 動物愛護管理行政の見学を通じ、愛玩動物看護師を目指すものとしてどのように動物保護や適正飼養の普及に携われるかを考える。	-
第10回	○月○日	動物飼育の現状	現代の日本人のペットへの動物観を考え、飼い主の動物飼養のニーズや目的を分析できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第10回」
第11回	○月○日	終末期ケアの総論と動物医療従事者とのかかわり	終末期の動物のケアの必要性を学び、個体ごとに適したケアの計画を立てる事ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第11回」
第12回	○月○日	グリーフケア・ペットロスについて	飼い主のグリーフがどのような場面で現れるかを知り、必要なケアと適切な対処を答えることができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 PowerPoint「適正飼養指導論Ⅱ 第12回」
第13回	○月○日	ノーズワークへの理解深める	グリーフの軽減のため、来院患者への効果的なノーズワークについて学び、実践する。	-
第14回	○月○日	成績判定試験	成績判定試験(五肢択一問題)の実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験振り返り	成績判定試験を振り返り、本授業で重要なポイントを復習する。	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験、課題レポート、授業態度、作品をもとに到達度を測定。
成績判定試験:50問 五者択一問題 合格点数60点(30問) 試験時間50分
授業態度:減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				65	秀(S):100点~90点
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点
③課題レポート	2位	1位				10	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品	1位				2位	10	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	西田 沙季	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	西田 沙季
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物生活環境学		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養学」に位置する授業。動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼育環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 飼育環境整備 1) 動物行動学を踏まえた人とペットのための飼育環境整備の必要性や方法(問題行動予防を含む。)について理解する 2) ペット共生住宅の現状、環境整備・管理の方法について理解する 2. ペットツーリズム関連施設、ドッグラン							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。適正飼養指導論Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」/2021年10月29日/第1版第1刷発行 (P127~262)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物生活環境学」(授業担当教員作)、Googleスプレッドシート、課題・評価シート(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	環境省 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/pickup/week.html 一般財団法人動物看護師認定機構 https://www.ccrvn.jp/aigan.shiken.d3-top.html			
関連前科目 ¹⁸	ペット産業概論、適正飼養指導論Ⅰ、Ⅱ			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	イベント企画運営方法	イベントの目的設定、企画立案、運営計画の立て方について説明できる。動物看護師として必要な啓発的視点を取り入れたイベント内容を提案できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185
第2回	○月○日	イベント参加と報告	動物愛護活動のイベントに実際に参加し、活動内容・対象者・目的を整理したレポートを作成できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185
第3回	○月○日	第2回目の事後学習	イベントでの学びを班(4人組)で共有し、評価基準をもとに他グループの活動を振り返り、改善点や工夫点を具体的に挙げられる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185
第4回	○月○日	イベント企画	「動物生活環境学」をテーマに、内容・対象・運営方法を含むイベント案をグループで立案できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185
第5回	○月○日	イベント計画と準備	イベント企画案をもとに必要な物品・人員配置・告知方法を検討し、役割分担を決定できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185
第6回	○月○日	イベント企画 中間報告	企画・準備の進捗を報告し、クラス内で情報共有と当日の当番調整ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185
第7回	○月○日	イベント前準備・最終確認	イベント当日に必要な備品や掲示物、説明内容を最終確認し、各自の役割を理解した上で準備ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185
第8回	○月○日	イベント実施	来場者への対応・展示・説明・体験提供などを自らの役割に応じて的確に実行できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185
第9回	○月○日	イベントの事後学習・ペットツーリズムの現状と課題	事後学習を行い、総評を行う。ペットツーリズムの現状を理解し、確認問題①を5問中4問以上正解できる。各自のペットツーリズムを作成する(課題②)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P177~185、P165~175、
第10回	○月○日	ペットツーリズムの適正指導学習	課題②を各個人にランダムで配布。配布された担当の課題②の適正指導を行う学習をする。他者が作成したツーリズム企画を読み取り、内容の良否や改善点について根拠をもって指摘・助言できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P165~175、Googleスプレッドシート
第11回	○月○日	適正指導の報告と事後学習	課題②の内容を作成した本人に適正指導を行い、教員に報告し、事後学習をする。他者への指導内容を報告し、指導を受けた側からの反応を踏まえて振り返りを行い、自身の指導スキルを言語化できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P165~175、Googleスプレッドシート
第12回	○月○日	飼育環境整備	健全な動物とシニアペット・疾患をもった動物の飼育環境整備がどのようなものか学ぶ。病気に対する理解を深める。確認問題②を10問中8問以上正解できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P127~P159、PowerPoint
第13回	○月○日	飼い主マナーと飼い主指導	現在の自然環境による問題と社会の飼い主の飼育マナーの現状を学び、確認問題②を10問中8問以上正解できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P239~P258、PowerPoint
第14回	○月○日	授業の振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」
第15回	○月○日	テスト返し/解説	成績判定試験の内容を確認し、復習する	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 50問(五肢択一問題)
 確認問題:課題レポート:第2回(50点)、第13回(50点) 評価基準は各回にて提示・説明
 授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②課題レポート		2位	1位			20	優(A):89点~80点
③確認問題	1位					10	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(C):69点~60点
⑤プレゼンテーション			2位		1位	10	不可(E):59点以下
						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	高砂 珠乃	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高砂 珠乃
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	ペット関連産業概論		学科名 ² (コース名)	2. 動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養」に位置する授業。 ペット関連産業に従事する者として職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼育のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 1. ペット関連産業における職業倫理(行動倫理を含む。) 1) 責任と社会的役割を理解する(職業倫理) 2) 商取引における関連法規の概要について理解する 3) 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法について理解する							
受講条件	13 動物看護科に在籍をしている。							
教科書名	14 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」/2021年10月29日/第1版第1刷発行			教材名 ¹⁵	PowerPoint「ペット関連産業概論」授業担当教員作、成績判定試験(五肢択一式)授業担当教員作			
設備名・機器名	16 プロジェクター・スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人ペットフード協会 https://petfood.or.jp/?utm_source=chatgpt.com			
関連前科目	18 なし			関連後科目 ^{18,19}	適正飼養指導論Ⅰ・動物生活環境学			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	ペット関連産業概論	ペット関連産業と愛玩動物看護師の関連性を学び、愛玩動物看護師の職域を説明する事が出来る。	PowerPoint「ペット関連産業概論第1回目」
第2回	○月○日	ペット業界の歴史	ペット業界の歴史について学び、現代と過去のペット関連産業の違いを比較することができる。	PowerPoint「ペット関連産業概論第2回目」
第3回	○月○日	ペット関連産業における職業倫理	ペット関連産業における責任と社会的役割について学び、職業倫理を説明できる。	PowerPoint「ペット関連産業概論第3回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P265～267
第4回	○月○日	ペット関連産業に関連する法律	商取引における関連法規の概要、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法の説明ができる。	PowerPoint「ペット関連産業概論第4回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P268～274
第5回	○月○日	ペットの飼育実態と市場規模	現代のペットの飼育実態とペット産業全体の市場規模の説明ができる。	PowerPoint「ペット関連産業概論第5回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P279～287
第6回	○月○日	各ペット関連産業の現状と課題	ペット関連産業の分類ごとにテーマを決めて現状と課題をまとめる事が出来る。	PowerPoint「ペット関連産業概論第6回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P291～292
第7回	○月○日	調べ学習の発表	ペット関連産業の現状とそれぞれが抱える課題を具体的な事例を用いて説明する事が出来る。	PowerPoint「ペット関連産業概論第7回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P292～295
第8回	○月○日	動物病院の現状とその他サービス	動物病院のサービス業の現状、その他ペット産業の現状を説明できる。	PowerPoint「ペット関連産業概論第8回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P295～301
第9回	○月○日	ペット関連産業のサービス業の現状	ペット関連産業のサービス業の現状と課題を説明できる。	PowerPoint「ペット関連産業概論第9回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P295～301
第10回	○月○日	動物取扱業制度の概要	動物取扱業制度の概要を説明できる。	PowerPoint「ペット関連産業概論第10回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P305～P312
第11回	○月○日	動物取扱責任者について	動物取扱責任者として、業務を実施するために必要な実践的知識と動物の取扱方法および衛生管理方法を説明する事が出来る。	PowerPoint「ペット関連産業概論第11回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P313～P319
第12回	○月○日	起業準備	「動物取扱業として企業準備」を進めていくにあたり役割分担をし準備を進める事が出来る	PowerPoint「ペット関連産業概論第12回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P295～P319
第13回	○月○日	内容発表	「動物取扱業として企業準備」の課題発表し、動物取扱業には何が必要かを説明できる。	Googleスプレッドシート
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	授業を振り返り、成績判定試験実施。	-
第15回	○月○日	テスト返し/解説	前回は行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	PowerPoint「ペット関連産業概論第15回目」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」P295～P319

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 50問(五肢択一式問題)
 授業態度:10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
 プレゼンテーション:第13回授業で実施「動物取扱業として起業準備」(評価基準は授業内に説明)
 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②プレゼンテーション	2位	2位				20	優(A):89点~80点
③授業態度			2位	1位		20	良(B):79点~70点
④出席			2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤確認テスト						なし	不可(E):59点以下
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	高砂 珠乃	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高砂 珠乃
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物形態機能学実習 ²			動物看護科 ²			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業。 動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、3DCGを用いて主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 運動器 1) 骨格標本を用いて代表的な骨を観察し、名称と特徴について理解する 2) 代表的な関節の名称と構造、機能について理解する 3) 代表的な骨格筋の名称と構造、機能について理解する							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。動物形態機能学Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護			教材名 ¹⁵	ヒューマン・アニマル・ボンド「デジタルアトミーWEB」 PowerPoint「動物形態機能学 実習」(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	株式会社ヒューマン・アニマル・ボンド http://www.hab-net.com/digitalanatomyweb.html			
関連前科目 ¹⁸	動物形態機能学Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	動物形態機能学実習概論	授業内容:顕微鏡の扱い方、血液塗抹 到達目標:血液塗抹の読解ができる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第2回	○月○日	動物形態機能学実習各論1	授業内容:味蕾の観察、スケッチ 到達目標:味蕾の組織学的名称を答えることができ、その組織の簡単な図を書くことができる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第3回	○月○日	動物形態機能学実習各論2	授業内容:胃の観察、スケッチ 到達目標:胃の組織学的名称とその特徴を答えることができ、組織構造を書くことができる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第4回	○月○日	動物形態機能学実習各論3	授業内容:小腸の観察、スケッチ 到達目標:小腸の組織学的名称、組織学的構造とそれによるメリットを答えることができる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第5回	○月○日	動物形態機能学実習各論4	授業内容:骨格筋・平滑筋の観察、スケッチ 到達目標:骨格筋・平滑筋の組織学的名称を知り、違いを説明できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第6回	○月○日	動物形態機能学実習各論5	授業内容:心筋の観察、スケッチ 到達目標:心筋の組織学的名称や心筋に特徴的な構造とその理由を説明できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第7回	○月○日	解剖実習(心臓)	授業内容:ブタの心臓の解剖 到達目標:心臓の解剖学的特徴を理解し、説明できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第8回	○月○日	動物形態機能学実習各論6	授業内容:肝臓の観察、スケッチ 到達目標:肝臓の組織学的名称を把握し、その特徴を説明できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第9回	○月○日	動物形態機能学実習各論7	授業内容:脾臓の観察、スケッチ 到達目標:脾臓の組織学的名称を理解し、組織学的特徴とそれぞれの違いを説明できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第10回	○月○日	動物形態機能学実習各論8	授業内容:甲状腺の観察、スケッチ 到達目標:甲状腺の組織学的名称と組織学的構造を理解し、簡単な図を書いて、説明できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第11回	○月○日	動物形態機能学実習各論9	授業内容:リンパ節の観察、スケッチ 到達目標:リンパ節の組織学的名称や特徴的な構造を理解し、その他の臓器との違いを説明し、図で示せる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第12回	○月○日	動物形態機能学実習各論10	授業内容:腎臓の観察、スケッチ 到達目標:腎臓の組織学的名称、組織学的構造を理解し、解剖学的な構造と組織学的構造を結び付けて、説明できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第13回	○月○日	動物形態機能学実習各論11	授業内容:硬骨の観察、スケッチ 到達目標:硬骨の組織学的名称を把握し、支持組織としての役割を把握して、その他の臓器との明らかな違いを説明できる	・EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書Ⅰ巻」
第14回	○月○日	成績判定試験	授業内にて成績判定試験を実施	-
第15回	○月○日	テスト返し/解説	解答・解説	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
課題提出:各種臓器のスケッチ20点分(評価基準は授業内にて説明)
実習レポート:10点満点(レポート内容・評価基準は授業内にて説明)
授業態度:10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①出席			1位			10	秀(S):100点~90点
②課題提出	1位	2位				20	優(A):89点~80点
③実習レポート	1位		2位			10	良(B):79点~70点
④授業態度				1位		10	可(D):69点~60点
⑤成績判定試験	1位	2位				50	不可(E):59点以下
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	大井 剛	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	大井 剛
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物内科看護学実習Ⅰ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業「動物内科看護学Ⅰ」と「動物内科看護学Ⅱ」の履修を以て、愛玩動物看護師カリキュラム「動物内科看護学」の履修となる。犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 身体検査 1) 全身状態(意識レベル、ボディコンディションスコア、粘膜色、浅在リンパ節、体重測定を含む。)を評価できる 2) バイタルサインを評価できる(体温、脈拍数、呼吸数、毛細血管再充満時間(CRT)、股動脈圧)							
受講条件	動物看護科に在籍している。							
教科書名	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint(以下PPT)、校内カルテ・用紙 成績判定試験(実技試験) 授業担当教員作			
設備名・機器名	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般財団法人動物看護師認定機構 https://www.ccrvn.jp/aigan.shiken.d3-top.html			
関連前科目	なし			関連後科目 ¹⁹	動物内科看護学Ⅱ、動物内科看護学実習Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1.2回	○月○日	実習の準備、心構え	実習の準備、心構え、環境整備(医療廃棄物等含む)、手指・診察台の消毒等、備品の準備(消毒スプレー・アルコール綿花)、スポルディング分類について説明できる。	オリジナルPPT
第3.4回	○月○日	病院業務(受付)/モデル犬実習	病院業務の受付、カルテ記入について、犬のボディランゲージについて、モデル犬実習時の注意点を理解し実習に取り組める。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P3~32
第5.6回	○月○日	モデル犬実習①	P、HRの測定方法(聴診器の使い方含む)、基本の立位保定、カルテ・飼い主さん向けのお便りの書き方。モデル犬のP、HRの結果を出せる、立位の保定方法ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P3~32
第7.8回	○月○日	エリザベスカラー、口輪等について/針とシリンジの扱い方	エリザベスカラー、口輪のつけ方、リードでの保留の仕方。エリザベスカラー、口輪、リードの装着方法を知っている。針とシリンジの扱い方について。汚染に気を付けて適切に針とシリンジを接続できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P37~64
第9.10回	○月○日	バイタルサイン(体温測定)/薬剤吸引(バイアル・輸液バック)	体温測定(手順をぬいぐるみを使用して確認)について。手順通りに体温測定ができる。薬剤吸引(バイアル・輸液バックからの吸引)指示した量を適切なシリンジを選んで吸引できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 EDUWARD Press出版P65~68
第11.12回	○月○日	一般身体検査①/薬剤吸引(アンブル)	一般身体検査(BCS、CRT、リンパ節、視診(頭部)アンブルの扱い方について、パラフィルム)の使い方。一般身体検査の検査方法を説明できる。手順に沿ってアンブルから薬剤を吸引できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P44~64、EDUWARD Press出
第13.14回	○月○日	モデル犬実習②	体温測定、下顎リンパ節、ツルゴール試験、座位保定、横臥位保定について。モデル犬の身体検査の結果を出すことができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P44~64、EDUWARD Press出
第15.16回	○月○日	一般身体検査②/輸液管理①	一般身体検査(口腔、体幹(皮膚被毛・生殖器))皮下輸液の準備について。一般身体検査の検査方法を説明できる。皮下輸液に必要な準備ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P44~64、EDUWARD Press出
第17.18回	○月○日	栄養管理/輸液管理②	カロリー計算・フード量計算、輸液の目的・輸液の投与経路・皮下輸液の準備(輸液バッグから)フード量の計算の仕方を説明できる。皮下輸液の準備をすることができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P44~64、EDUWARD Press出
第19.20回	○月○日	輸液管理③	体液の組成、皮下輸液(輸液バッグから)準備の復習、皮下輸液(シリンジ法)の準備、薬剤混合法について。輸液バックからシリンジからの皮下輸液準備ができる。薬剤の混合方法が説明できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P69~74、EDUWARD Press出
第21.22回	○月○日	輸液管理④	静脈点滴の準備物(事前準備)・手順説明、静脈確保(模擬足)実習。静脈留置、点滴に必要なものを説明できる。静脈確保の手順を知っている。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P113~118、EDUWARD Press出
第23.24回	○月○日	モデル犬実習③	保定(伏臥位・横臥位・仰臥位) 駆血(撓側皮静脈)。各保定法の違い、抑えるべきポイントを説明できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 P169~179、EDUWARD Press出
第25.26回	○月○日	輸液管理⑤	静脈確保(翼状針と無し)・輸液ラインの準備復習、一時的中断の手技方法、輸液ライン(延長チューブ接続)の準備。成績判定試験に向けて復習することができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 EDUWARD Press出版「愛玩動物
第27.28回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	実技内容の復習、授業内にて前期末試験を受ける	-
第29.30回	○月○日	テスト返し・解説/モデル犬実習④	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習をする。駆血(サフェナ、大腿静脈、頸静脈)ができる	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」 EDUWARD Press出版「愛玩動物

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第27.28回の授業内で実施(10分間) 内容は実技試験(問題数2問、身だしなみ各100点満点評価 ※減点方式)
確認テスト:10%分(試験内容・評価基準は授業内にて説明)
課題レポート:10%分(レポート内容・評価基準は授業内にて説明)
授業態度:20%分減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:10%分(1回欠席8点 2回欠席5点 3回欠席4点 4回欠席3点 5回欠席2点 6回欠席1点 とする)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	3位	2位			1位	50	秀(S):100点~90点	
②課題レポート	2位		1位			10	優(A):89点~80点	
③確認テスト			2位		1位	10	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点	
⑤プレゼンテーション						なし		
⑥出席			1位			10	不可(E):59点以下	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高橋 佳代子
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物内科看護学実習Ⅱ		学科名 ² (コース名)	2. 動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業「動物内科看護学Ⅰ」と「動物内科看護学Ⅱ」の履修を以て、愛玩動物看護師カリキュラム「動物内科看護学」の履修となる。犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 ・内科的検査に必要な保定、器具準備、手技補助が適切に行える。 ・投薬（錠剤、粉剤、シロップ剤）を指示に従って正しく調剤・準備できる。 ・輸血療法について、手順・ドナー・レシピエントの観点から説明できる。 ・心電図・血圧測定・X線・超音波・内視鏡などの画像診断における動物看護実践ができる。							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。動物内科看護学Ⅰ、動物内科看護学実習Ⅰの単位取得。							
教科書名	14 EDWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻」 EDWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護学」			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint（以下PPT）、校内カルテ・用紙			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン、モデル犬、診察台			関連サイト ¹⁷	一般財団法人動物看護師認定機構 https://www.ccrvn.jp/aigan.shiken.d3-top.html			
関連前科目	18 動物内科看護学Ⅰ、動物内科看護学実習Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1~2回	○月○日	授業概要説明 動物内科看護学Ⅰ振り返り	動物内科看護学Ⅰ内容で不明点が無い状態になっている。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第3~4回	○月○日	投薬に関わる技術	指示通りの薬剤（錠剤、粉剤、シロップ剤）を指示量用意することができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第5~6回	○月○日	輸血に関わる技術	輸血療法の看護、輸血の手順、ドナー・レシピエントについて説明ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第7~8回	○月○日	生体検査における保定方法①	各種生体検査保定・一般身体検査ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第9~10回	○月○日	生体検査における保定方法②	投薬方法・神経学的検査ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第11~12回	○月○日	心電図と血圧測定に関わる技術	心電図の正しい取り付け方、保定方法、心電計の操作ができる。 血圧計の正しい取り付け方、操作を学び、結果が正常か判断できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第13~14回	○月○日	X線検査に関わる技術	X線検査時のポジショニングと撮影部位ごとの保定方法を学び、実践できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第15~16回	○月○日	超音波検査に関わる技術	腹部超音波検査、心臓超音波検査時と検査代を使用した際の正しい保定方法を実践できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第17~18回	○月○日	内視鏡検査・その他の画像検査	内視鏡検査・コンピュータ断層撮影法（CT）、MRI検査について説明ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第19~20回	○月○日	神経学的検査に関わる技術	各神経学的検査の手順や要領を考慮し、正確かつスムーズに手技ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第21~22回	○月○日	眼科検査に関わる技術	シルマー試験・フルオレセイン試験に必要な準備物が用意できる。 上記検査と眼圧・眼底検査に適した保定方法を学ぶ。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第23~24回	○月○日	皮膚検査と耳の検査に関わる技術	皮膚掻痒把検査・スタンプ検査・被毛検査・耳道検査の準備と方法を知りそれに適した保定方法を学ぶ。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第25~26回	○月○日	細菌・真菌培養検査について	細菌培養検査（培地について・薬剤感受性試験について・染色方法）の実践・説明ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」
第27~28回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第29~30回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物内科看護学」

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験：第27,28回の授業内で実施(10分間) 内容は実技試験（問題数2問、身だしなみ含め100点満点評価 ※減点方式）
課題レポート：20%分（レポート内容・評価基準は授業内にて説明）
授業態度：20%分減点方式（遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点）
出席：10%分（1回欠席8点 2回欠席5点 3回欠席4点 4回欠席3点 5回欠席2点 6回欠席1点 とする）
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	2位				1位	50	秀（S）：100点~90点	
②課題レポート		2位	1位			20	優（A）：89点~80点	
③授業態度			2位	1位		20	良（B）：79点~70点	
④出席			1位			10	可（D）：69点~60点	
						なし	不可（E）：59点以下	
						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高橋 佳代子
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物臨床検査学実習		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	さまざまな臨床検査の原理や方法を学び、図体や測定機器の正しい扱い方について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	血液検査、糞便検査、尿検査の手技を理解し、実施できる。 細胞診、病理組織検査、遺伝子検査の目的を理解できる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍をしている。							
教科書名 ¹⁴	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 EDUWARD Press出版 2022年3月1日第1版発行 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物臨床検査学」(授業担当教員作 全11回分)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	富士フィルム https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/veterinary/examination			
関連前科目 ¹⁸	動物内科看護学Ⅰ、Ⅱ、動物内科看護学実習Ⅰ、Ⅱ			関連後科目 ¹⁹	ない			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1.2回	○月○日	授業概要説明・顕微鏡の操作方法	光学顕微鏡の使用法を理解し、コンデンサ・絞りを適切に使用できる。 小テストで15点中13点以上を取得できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第2.3回	○月○日	糞便検査の基礎理解	糞便検査の直接塗抹法、浮遊法、物理的性状検査の手技を理解し、実施できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第4.5回	○月○日	糞便検査結果の結果の読解	糞便検査の直接塗抹法、浮遊法、物理的性状検査を実施し、検査結果を出すことができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第7.8回	○月○日	尿検査の基礎理解と結果の読解	尿検査の物理的性状検査、科学的性状検査、尿沈渣検査を実施し、検査結果を出すことができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第9.10回	○月○日	糞便検査・尿検査の総復習	第2.3.4回で習った手技をもとに糞便検査、尿検査を実施し、2時間半以内に結果の読解・アセスメントの提案ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第11.12回	○月○日	採血準備・血液検査の概要	個体に合わせ、採血のための道具の準備ができる。 採血時の注意事項やコツを理解し、模擬肢から採血ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第13.14回	○月○日	保定・駆血練習 CBC・生化学について	犬の橈側皮静脈・外側伏在静脈からの採血時に適した保定方法を学び、実践できる。 CBC、生化学検査の機械の使用法を理解できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第15.16回	○月○日	一般身体検査の復習・血液検査の採血	一般身体検査(視診・触診・聴診など)の手順を再確認し、実施できる。 採血保定と準備の実施、CBCと生化学検査の結果が出せる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第17.18回	○月○日	ヘマトクリット管検査 血液塗抹の作成	ヘマトクリット検査の手順を理解し、適切に測定できる。 血液塗抹を作成し、白血球分類ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第19.20回	○月○日	血液検査の総まとめ①	第6.7.8回で習った血液検査の実施ができ、結果が出せる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第21.22回	○月○日	血液検査の総まとめ②	本授業で習った血液検査を実施し、結果を出したのち、結果からアセスメントとプランを提案できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第23.24回	○月○日	FNA、細胞診、染色について	生検パンチの正しい使用方法が理解できる。 針生検の手技を理解し、ライト・ギムザ染色で標本を製作できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第25.26回	○月○日	マイアニマルデー	学生の飼育動物を対象に血液検査・尿検査・糞便検査を実施し、観察記録や検査結果をもとに、適切な発表ができる。 日常ケアをふまえてアセスメントし、改善提案ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻
第27.28回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	前期の授業を振り返り、成績判定試験を実施。(マークシート 五肢択一形式:全70問)	-
第29.30回	○月○日	試験返却/解説	成績判定試験を振り返り、間違った問題の正誤理由を個人で考え、グループ内で説明できる。	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:70問 50分間 36点以上
小テスト(第1、5、7、10回目で実施予定):記述式 7割以上で合格
授業態度:30%分減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
課題レポート:第7回で提出 血液生化学検査の各項目についてまとめ
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				40	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位	1位				30	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		30	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	西田 沙季	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	西田 沙季
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物外科看護学実習 I		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科		学年	3. 2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム 「実習」に位置する授業。 愛玩動物看護師が動物病院で行う、手術前準備や救急救命処置について学び実践をする。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1. 動物看護師として行う術前準備 1) リネン類の正しい畳み方を理解し実践できる。 2) 術前の手指消毒(スクラブ法・ラビング法)を無菌操作で実践できる。 3) 手袋装着(オープンカフメソッド・クローズカフメソッド)を無菌的に実践できる。						
受講条件 ¹³	動物外科看護学実習 I の単位認定						
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第2版発行 (第1章 P.3~第4章 P.67) DUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物外科看護学実習 I」(授業担当教員作)、成績 判定試験実技試験問題(授業担当教員作)		
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン、各種外科器具、麻酔モニター			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/		
関連前科目 ¹⁸	動物外科看護学			関連後科目 ¹⁹	動物外科看護学実習 II		

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 衛生管理(無菌操作)について	授業概要、授業の流れ、成績評価の説明。 手術の際に無菌操作が求められる理由を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学」 ・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学」
第2回	○月○日	リネン類の畳み方について	正しい手順で無窓布・有窓布・ガウン(手術着)を畳むことができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学」
第3回	○月○日	リネン類の畳み方小テスト	30秒以内に無窓布・有窓布を畳むことができる。 1分以内にガウン(手術着)を畳むことができる。	-
第4回	○月○日	手指消毒について	スクラブ法とラビング法を無菌的に実施できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学」
第5回	○月○日	手指消毒小テスト	2分以内にスクラブ法を無菌的に実施できる。	-
第6回	○月○日	手袋装着について	オープンカフメソッドとクローズカフメソッドを無菌的に実施できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学」
第7回	○月○日	手袋装着小テスト	3分以内にクローズカフメソッドを無菌的に実施できる。	-
第8回	○月○日	外科器具について(剪刃・鉗子・把針器・開創器・鑷子)	外科器具の写真を見ただけでその器具の名称を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学」
第9回	○月○日	外科器具小テスト	指示どおりに3種類の外科器具を30秒以内に準備する事が出来る。	-
第10回	○月○日	麻酔モニター項目について	麻酔モニターの表示項目を全て答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学」
第11回	○月○日	救急救命処置について	一時救命処置の手順を飼主主に説明できる。	-
第12回	○月○日	救急救命処置の実践について	正しい手順でCPRを実践できる。	-
第13回	○月○日	動物外科看護学実習 I 内容総復習	動物外科看護学実習 I の内容総復習し、単位認定試験の点数が80点満点中60点を超える。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学」
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループごとに復習	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(40分間)試験内容: リネン類を畳む、手指消毒、手袋装着、外科器具出し、モニター装着を実施。(計80点満点)
確認テスト(小テスト): 20%分(リネン類を畳む: 5点、手指消毒: 5点、手袋装着5点、外科器具出し: 5点)
授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、実習服を忘れた場合2点減点、実習に臨み身だしなみとしてふさわしくない場合2点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席: 減点方式(0回欠席10点、1回欠席5点 2回欠席3点 3回欠席1点とする)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	3位			1位	50	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	2位				1位	20	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物外科看護学実習Ⅱ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	3. 3学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム 「実習」に位置する授業。 術前準備から術中補助、術後管理までの周術期看護を理解し、安全な手術実施を行うための補助ができる							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	動物看護師として行う術前準備を理解し実践できる。 安全な手術を行うために必要な麻酔看視ができる。 術後の衛生管理を適切に行う事が出来る。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍をしている。動物外科看護学実習Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第2版発行 (第1章 P.3～第4章 P.67)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物外科看護学実習Ⅱ」(授業担当教員作)、成績 判定試験五肢択一問題(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン、各種外科器具、麻酔モニター			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	動物外科看護学実習Ⅰ、動物外科看護学			関連後科目 ¹⁹	動物外科看護学実習Ⅲ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 手術準備について①	授業概要、授業の流れ、成績評価の説明。 術前準備(器具の滅菌、気管挿管準備)ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第2回	○月○日	手術準備について②	術前準備(術野の毛刈り・消毒、術衣準備、手術器具)ができる	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第3回	○月○日	手術準備について③	タオル・ドレープの準備、手術台への動物の正しい固定ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第4回	○月○日	術前準備の確認テスト	指示通りのドレープ準備、手術衣が準備できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第5回	○月○日	麻酔導入について	麻酔導入から手術開始までの一連の流れを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第6回	○月○日	術前準備④	手指消毒を無菌操作で行う事が出来る	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第7回	○月○日	術前準備⑤	手指消毒後の手袋装着を無菌操作かつ正しい手順で行うことができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第8回	○月○日	レントゲン検査について	脊椎や四肢をメインとしたレントゲンの撮影方法と見方が説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第9回	○月○日	生体検査について	超音波検査、CT検査、MRI検査の違いを説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第10回	○月○日	麻酔看視について	術中の麻酔モニターの看視の重要性を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第11回	○月○日	麻酔モニター項目について	SP02、ETCO2、心電図が何か説明できる。心電図の徐脈性不整脈と頻脈性不整脈が何か説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第12回	○月○日	術後管理について	包帯管理の重要性、腹帯ストッキングの使い方を説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第13回	○月○日	歯科器具と歯科処置について	歯科処置で用いる器具の説明ができる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一問題)
出席:減点方式(1回欠席5点、2回欠席3点、3回欠席1点 とする)
確認テスト:20%分(第3回授業内で基準説明)
授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位	2位				20	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	奥井 裕子
				実務経験紹介	-

更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物外科看護学実習Ⅲ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科		学年	3. 3学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム 「実習」に位置する授業。 術前準備から術中補助、術後管理までの周術期看護を理解し、安全な手術実施を行うための補助ができる						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔前投与や鎮痛薬の目的・種類・使用時の注意点を説明できる。 ・術後の疼痛・栄養管理の基本を理解し、適切な動物看護対応を説明できる。 ・動物のリハビリテーションの目的と基本的手技(理学療法・運動療法)を理解し、その観察・経過を説明できる。 ・神経系の基本構造(脊髄文節・IMN/LMN)を説明し、神経学的検査の意義と活用方法を理解できる。 						
受講条件	動物看護科に在籍している。動物外科看護学実習Ⅱの単位取得。						
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 EDUWARD Press出版 2022年2月21日改訂第2版発行 (第1章 P.3~第4章 P.67)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物外科看護学実習Ⅲ」(授業担当教員作)、成績 判定試験五肢択一問題(授業担当教員作)		
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン、各種外科器具、麻酔モニター			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/		
関連前科目 ¹⁸	動物外科看護学実習Ⅰ、動物外科看護学実習Ⅱ、動物外科看護学			関連後科目 ¹⁹	なし		

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 リハビリテーションについて	授業概要、授業の流れ、成績評価の説明。 動物のリハビリテーションについてA4サイズレポート用紙1枚にまとめる事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第2回	○月○日	麻酔前投与と鎮痛薬について	獣医療で主に使用される、麻酔全島予約と鎮痛薬について説明する事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第3回	○月○日	術後栄養管理・疼痛管理	術後の栄養管理の重要性を説明する事が出来る。 急性痛ペインスケールが何か説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第4回	○月○日	リハビリテーションのイメージ、 実際のリハビリテーションの様子や経過について	実際にリハビリテーションを行う際に起こりえる問題と対応を答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第5回	○月○日	理学療法・運動療法について (用語等)	理学療法と運動療法の違いについて説明する事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第6回	○月○日	動物の解剖学(神経系、脊髄文節、 UMN/LMN)	神経系におけるUMNとLMNの違いと特徴について答えられる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第7回	○月○日	運動機能障害と神経機能障害について	運動機能障害で出てくる症状が何か説明できる。 神経機能障害で出てくる症状が何か説明できる。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第8回	○月○日	神経機能障害(椎間板ヘルニア について)	椎間板ヘルニアの種類と特徴、症状について説明する事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第9回	○月○日	神経学的検査表について 神経機能障害:水頭症・脳腫瘍・ 脊髄腫瘍	水頭症の好発犬種を答える事が出来る。 脳腫瘍、脊髄腫瘍の症状と特徴を説明する事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第10回	○月○日	神経機能障害について(脳炎・ 馬尾症候群)	脳炎の症状を答えられる。 馬尾症候群がどのような病気が説明する事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第11回	○月○日	整形外科用語について:骨格の 連結と動き・四肢と椎骨の生理学的 運動	動物の骨格の動き、可動域を説明する事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第12回	○月○日	運動機能障害(整形外科疾患) 膝蓋骨脱臼、股異形成、股関節 亜脱臼、レッグパルテス、前十字 運動機能障害について(整形外科)	動物の代表的な整形外科疾患(膝蓋骨脱臼、股異形成、股関節亜脱臼、レッグパルテス、前十字靭帯断裂)に関する確認問題の正答率が70%を超える事が出来る。	・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第13回	○月○日	動物の代表的な整形外科疾患(変形性関節症、 関節リウマチ、骨軟骨症、離断性骨軟骨炎) に関する確認問題の正答率が70%を超える事が出来る。		・愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書7巻 ・PowerPoint「動物外科看護学 準拠教科書7巻」
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一問題)
出席:減点方式(1回欠席5点、2回欠席3点、3回欠席1点 とする)
確認テスト:20%分(第3回授業内で基準説明)
授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位	2位				20	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	奥井 裕子
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物臨床看護学実習			学科名 (コース名) ²	動物看護科		学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業。 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	1) 事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 2) 看護動物の生活環境(家族含む)が健康に及ぼす影響を理解する 3) 症状や入院・治療が看護動物と家族に及ぼす影響を理解する 4) 看護動物の看護上問題を理解し、優先順位をつけることができる							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」2022年3月4日 改訂第2版 第1刷 発行 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護			教材名 ¹⁵	動物看護計画シート(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	白板			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護職協会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	動物臨床看護学総論、動物臨床看護学各論Ⅰ、Ⅱ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1・2回	○月○日	痛みについて	ペインスケールを用いて痛みの評価ができる。 痛みの種類、分類、生理学的変化、行動学的変化を理解できる。 疼痛管理における看護、介護、理学療法について身につける	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P166・167、562・563
第3・4回	○月○日	褥瘡管理について 入院管理	感染源を理解し、不潔と清潔の区別を徹底できる 安全な入院環境を保つことができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P90~93
第5・6回	○月○日	隔離病棟の感染症対応 動物看護過程について	隔離病棟の感染予防が徹底できる 動物看護過程とは何か・目的が答えられる	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P.33~51 53~71
第7・8回	○月○日	看護計画の立案のルール・注意事項 強制給餌のフード作成と検証	看護計画立案のルールが理解できる。 フードのRER/DERの計算ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P53~71 73~77
第9・10回	○月○日	看護計画立案 問題点の抽出	情報の知識を収集し、問題点を抽出できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P33~52
第11・12回	○月○日	看護計画立案(肛門周囲線腫)	肛門周囲線腫の看護に関する問題点の抽出・優先順位の決定ができる。 肛門周囲線腫に関する看護の目標の立案ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P33~52 470
第13・14回	○月○日	看護計画立案(犬の肛門周囲腫瘍)	肛門周囲腫瘍の看護に関する具体的タスクを作成できる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P33~52 470
第15・16回	○月○日	看護の具体策立案(肛門周囲線腫)	肛門周囲線腫の看護の具体策立案ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P33~52 470
第17・18回	○月○日	骨折した猫の看護計画立案	骨折した猫の看護計画に関する知識のすり合わせがグループ内で行える。 問題点の抽出・優先順位の決定ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P33~68
第19・20回	○月○日	看護計画立案(骨折)①	骨折した猫の看護計画の目標立案ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P33~68
第21・22回	○月○日	看護計画立案(骨折)② 看護計画立案(褥瘡)①	骨折した猫の看護計画の具体策立案ができる。 褥瘡の看護計画にかんする情報収集・知識抽出・問題点の抽出ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P73~93 194
第23・24回	○月○日	看護計画立案(褥瘡)②	褥瘡の看護に関する目標立案・具体策立案ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P73~93 194
第25・26回	○月○日	看護計画立案(褥瘡)③ 看護計画立案(感染症)①	褥瘡の看護計画の具体策立案ができる。 感染症の看護に関するアセスメント・問題点の抽出ができる。 感染症の看護計画の問題点の優先順位の決定・目標設定ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P73~93 194
第27・28回	○月○日	看護計画立案(猫の感染症) 看護計画立案(がん)①	感染症の看護計画のアセスメント・問題点の抽出ができる。 具体策立案ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P33~52 539~570
第29・30回	○月○日	看護計画立案(がん)②	がんの看護に関するアセスメント・問題点の抽出・問題点の優先順位が決められる。 がんの看護に関するもくひょうの立案・具体策立案ができる。	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻」P33~52 539~570

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:5つの看護計画の課題提出物にて判定。(評価基準・配点は授業内にて説明。)
授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:減点方式(1回欠席5点 2回欠席3点 3回欠席1点 とする)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀(S):100点~90点
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点
③課題レポート	1位	2位				60	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		30	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	佐藤 萌美	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	阿部 令子
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					

2025年度シラバス

科目名 ¹¹	動物愛護・適正飼養実習Ⅰ		学科名 ²² (コース名)	2. 動物看護科		学年 ³³	3学年
授業形態 ⁴⁴	実習	学期	前期	開講年 ⁵⁵	4月	該当資格区分 ⁶⁶	国家資格
教育課程区分 ⁷⁷	必修	単位数 ⁸⁸	1	時間数 ⁹⁹	30	該当資格名称 ¹⁰⁰	愛玩動物看護師
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業 動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。 学んできた内容を活用し、学校飼育動物の飼育方法や保定技術を「動物愛護・適正飼養実習Ⅱ」にて動物看護科1年生に指導する。「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ」ではその指導を行うための準備をする。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	・「5つの自由」の考え方に則った学校飼育動物の飼育環境改善ができる。 ・1年生に指導をするための指導マニュアル・飼育マニュアルが作成できる。						
受講条件	愛玩動物学、動物飼育実習Ⅲの単位を修得している						
教科書名	なし			教材名 ¹⁵⁵	PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ」(授業担当教員作)、Googleスプレッドシート		
設備名・機器名	プロジェクター、モニター、学校飼育動物			関連サイト ¹⁷⁷	環境省「法令・基準等(動物愛護管理法)」 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/rule.html		
関連前科目	愛玩動物学、動物飼育実習Ⅲ			関連後科目 ¹⁹⁹	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ		

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.0

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	〇月〇日	授業概要説明 適正飼養・適正飼養指導とは	授業内容: 授業概要の説明/ 愛玩動物における適正飼養、またその指導について考える 到達目標: 愛玩動物看護師における飼育環境改善が遠隔操作的に行われることを説明できる	・PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第1回」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第2回」
第2回	〇月〇日	動物飼育環境の改善① 担当動物を決める	授業内容: 現在の動物飼育環境やハンドリングにおける問題点の抽出、その改善を行う 到達目標: 飼育指導を行うことを前提に担当動物を決めることができる	・PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第2回」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第3回	〇月〇日	動物飼育環境の改善②	授業内容: 抽出された問題点の改善を行う。クラス全体で問題点と改善方法を共有 到達目標: 改善された問題点と改善方法を共有できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第4回	〇月〇日	動物飼育環境の改善③	授業内容: 各飼育動物毎の改善された環境をクラス内で共有する 到達目標: 各飼育動物の改善された環境をクラスで共有できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第5回	〇月〇日	後輩指導に必要な観点	授業内容: 後輩指導において「相手の立場に立つこと」の重要性について考える 到達目標: 指導の悩みは主に「自分と相手の違い」が原因であることを説明できる	・PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第5回」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第6回」
第6回	〇月〇日	後輩指導のポイント クラス共通のビジョンを考える	授業内容: 後輩指導時の5つのポイントを学び、クラス共通のビジョンを考える 到達目標: クラスで共通のビジョンを3つ考えることができる	・PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第6回」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第7回」
第7回	〇月〇日	「指導の質」の向上・統一	授業内容: 指導の質を統一するための指導用のコンテンツとマニュアルの必要性を考える 到達目標: 指導の質を統一するために指導用のコンテンツとマニュアルが必要であることを説明できる	・PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第7回」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第8回	〇月〇日	指導用コンテンツの作成①	授業内容: 指導用コンテンツ(各飼育動物の飼育手引書と飼育動画)を作成する 到達目標: コンテンツ作成に必要な素材を集めることができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第9回	〇月〇日	指導用コンテンツの作成②	授業内容: 作成した指導用コンテンツを提出する 到達目標: 指導用コンテンツを完成させることができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第10回	〇月〇日	指導用マニュアルの作成	授業内容: 担当動物の飼育方法やハンドリングを1年生に指導するためのマニュアルを作成する 到達目標: 担当動物の飼育方法やハンドリング指導用のマニュアルを作成できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第11回	〇月〇日	後輩の評価ルーブリック作成	授業内容: 指導した後輩の評価をするためにルーブリックを作成 到達目標: 担当者が変わっても評価ができるルーブリックを作成できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第12回	〇月〇日	指導用マニュアルの運用後改善①	授業内容: 作成した指導用マニュアルを使ったロールプレイングのフィードバック・改善を行う 到達目標: 作成した指導用マニュアルの改善を行うことができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第13回	〇月〇日	指導用マニュアルの運用後改善②	授業内容: 前回とは担当者を変えて指導マニュアルを使ったロールプレイングのフィードバック・改善を行う 到達目標: 改善した指導用マニュアルの更なる改善を行うことができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第14回	〇月〇日	改善後の指導用マニュアルの最終調整	授業内容: 第11-12回目で見つかった改善点を修正し、指導用マニュアルを完成させる 到達目標: 修正点を改善した指導用マニュアルを完成させることができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」
第15回	〇月〇日	振り返り/動物愛護・適正飼養実習Ⅱに向けて	授業内容: 半期の授業を振り返る/次「動物愛護・適正飼養実習Ⅱ」の流れ・1回目・評価方法について説明 到達目標: 半期を振り返り、この授業で学んだことをまとめることができる	・PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 第15回」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ 飼育環境改善シート」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) 21.1

授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)、その他実習に合わせた身なりでなかった場合、その部分ごとに2点減点(部分例: 実習服を着ていない、アクセサリを外していない、爪が長い、長髪が束ねられていない等)
発表・作品: 第4回で作成する「5つの自由を考慮した飼育環境」第9回で提出する「指導用コンテンツ」第13-14回で作成する「指導用マニュアル」と「評価ルーブリック」を評価(各作品20点 詳細は各回にて説明)
出席: 欠席回で10点 1回で5点 2回で3点 3回で1点とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験						なし	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		30	可(D): 69点~60点	
⑤発表・作品	2位	1位			3位	60	不可(E): 59点以下	
⑥出席			1位			10		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	北村 昌樹	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年	3. 3学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業 動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。 学んできた内容を活用し、学校飼育動物の飼育方法や保定技術を「動物愛護・適正飼養実習Ⅱ」にて動物看護科1年生に指導する。 ※学校飼育動物の状況によっては、その動物が授業にて使用できない場合がある。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ」にて作成した指導用マニュアルと評価ルーブリックを使って、1年生に学校飼育動物の動物飼育実習における飼育方法とハンドリング方法を教えることができる							
受講条件	動物愛護・適正飼養実習Ⅰの単位を修得している							
教科書名	なし			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅱ」(授業担当教員作)、 Googleスプレッドシート、Googleフォーム			
設備名・機器名	プロジェクター、モニター、学校飼育動物			関連サイト ¹⁷	環境省「法令・基準等(動物愛護管理法)」 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/rule.html			
関連前科目	動物愛護・適正飼養実習Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.0

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 飼育を行う時の注意点	授業内容: 授業概要の説明/ 動物飼育実習の注意点を再確認する 到達目標: 飼育実習での注意点を3つ説明できる	・PowerPoint「動物飼育実習Ⅰ」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第2回	○月○日	飼育・ハンドリング指導 (1人目)	授業内容: 担当動物の飼育方法とハンドリング方法を指導用マニュアルを使用して1年生に指導する 到達目標: 1人目の1年生を指導用マニュアル通りに指導ができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第3回	○月○日	飼育・ハンドリング指導 (2人目)	授業内容: 担当動物の飼育方法とハンドリング方法を指導用マニュアルを使用して1年生に指導する 到達目標: 2人目の1年生を指導用マニュアル通りに指導ができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第4回	○月○日	飼育・ハンドリング指導 (3人目)	授業内容: 担当動物の飼育方法とハンドリング方法を指導用マニュアルを使用して1年生に指導する 到達目標: 3人目の1年生を指導用マニュアル通りに指導ができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第5回	○月○日	飼育・ハンドリング指導 (4人目)	授業内容: 担当動物の飼育方法とハンドリング方法を指導用マニュアルを使用して1年生に指導する 到達目標: 4人目の1年生を指導用マニュアル通りに指導ができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第6回	○月○日	飼育・ハンドリング指導 (5人目)	授業内容: 担当動物の飼育方法とハンドリング方法を指導用マニュアルを使用して1年生に指導する 到達目標: 5人目の1年生を指導用マニュアル通りに指導ができる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第7回	○月○日	中間確認	授業内容: 3年生のみで後輩指導前半を振り返り、作成した指導用マニュアルに改善点がないかを話し合う 到達目標: 前半を振り返って、指導用マニュアルを修正できる	・PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅱ 中間確認」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第8回	○月○日	マニュアル修正後 飼育・ハンドリング指導 (1人目)	授業内容: 7回で修正したマニュアルを使用し、1年生に飼育方法の指導を行う 到達目標: 改善した指導用マニュアルを使って1人目の1年生を指導できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第9回	○月○日	マニュアル修正後 飼育・ハンドリング指導 (2人目)	授業内容: 7回で修正したマニュアルを使用し、1年生に飼育方法の指導を行う 到達目標: 改善した指導用マニュアルを使って2人目の1年生を指導できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第10回	○月○日	マニュアル修正後 飼育・ハンドリング指導 (3人目)	授業内容: 7回で修正したマニュアルを使用し、1年生に飼育方法の指導を行う 到達目標: 改善した指導用マニュアルを使って3人目の1年生を指導できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第11回	○月○日	マニュアル修正後 飼育・ハンドリング指導 (4人目)	授業内容: 7回で修正したマニュアルを使用し、1年生に飼育方法の指導を行う 到達目標: 改善した指導用マニュアルを使って4人目の1年生を指導できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第12回	○月○日	マニュアル修正後 飼育・ハンドリング指導 (5人目)	授業内容: 7回で修正したマニュアルを使用し、1年生に飼育方法の指導を行う 到達目標: 改善した指導用マニュアルを使って5人目の1年生を指導できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第13回	○月○日	マニュアル修正後 飼育・ハンドリング指導 (6人目)	授業内容: 7回で修正したマニュアルを使用し、1年生に飼育方法の指導を行う 到達目標: 改善した指導用マニュアルを使って6人目の1年生を指導できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第14回	○月○日	1年生成績判定試験評価	授業内容: 1年生の成績判定試験(実習)を評価者として参加し、担当動物の飼育を1年生が指導通りできたかを評価する 到達目標: 事前に作成した指導用マニュアルと評価ルーブリックを用いて1年生を評価できる	・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第15回	○月○日	振り返り/動物愛護・適正飼養実習Ⅱに向けて	授業内容: 半期の授業を振り返る/次「動物愛護・適正飼養実習Ⅱ」の流れ・1回目・評価方法について説明 到達目標: 半期を振り返り、この授業で学んだことをまとめることができる	・PowerPoint「動物愛護・適正飼養実習Ⅱ 振り返り」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) 21.1

授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)、その他実習に合わせた身なりでなかった場合、その部分ごとに2点減点(部分例: 実習服を着ていない、アクセサリを外していない、爪が長い、長髪が束ねられていない等)
発表・作品:
発表: 欠席0回で10点 1回で5点 2回で3点 3回で1点とする。
出席: 欠席0回以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験						なし	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		30	可(D): 69点~60点	
⑤発表・作品	2位	1位			3位	60	不可(E): 59点以下	
⑥出席			1位			10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	北村 昌樹	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物看護総合実習Ⅰ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年	3. 1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. ・オリエンテーションを受け、動物病院の概要、動物看護師の職務内容を理解する。 ・獣医師・愛玩動物看護師の業務内容を把握する。 ・動物病院の施設見学をし、施設の概況や機能を理解する。 ・動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 1. 動物看護業務の理解 1) チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解する 2) 動物診療施設を見学し、設備や機能を理解する 3) 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する							
受講条件	13. 動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	なし			教材名 ¹⁵	PowePoint「動物総合実習Ⅰ」(理解型実習) 2025、ポートフォリオ			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	-			関連後科目 ¹⁹	動物看護総合実習Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概論/事前学習①(動物病院選びについて)	授業の目的・病院見学時の注意事項を説明。自身が病院見学時に見たいポイント、勉強したいポイントを明確にあげることができる。病院見学時に気を付けたいことをあげることができる。	PowePoint「動物総合実習Ⅰ」(理解型実習) 事前学習 2025
第2回	○月○日	事前学習②(電話のかけ方、身だしなみ、履歴書作成)	見学で見たいポイントにあった病院を探す。自身が見学したい病院の日程を決めることができる。正しい言葉づかいもしくはビジネスメールで対応ができる。	PowePoint「動物総合実習Ⅰ」(理解型実習) 事前学習 2025
第3回	○月○日	事前学習③(ポートフォリオ作成)	ポートフォリオに実習期間の学習計画を数値目標を入れて立てる事が出来る。	PowePoint「動物総合実習Ⅰ」(理解型実習) 事前学習 2025
第4回	○月○日	動物病院見学①(目標に向かって行動する)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。事前学習で計画した目標内容に留意しながら見学に参加できる。	ポートフォリオ
第5回	○月○日	動物病院見学②(積極的な見学参加)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。学生としての節度ある行動、積極性をもって見学することができる。	ポートフォリオ
第6回	○月○日	動物病院見学③(診察)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。獣医師の診察を見学し、ポートフォリオにまとめることができる。	ポートフォリオ
第7回	○月○日	動物病院見学④(検査)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。愛玩動物看護師が行っている検査手技を見学して、検査手順や注意点をポートフォリオにまとめることができる。	ポートフォリオ
第8回	○月○日	動物病院見学⑤(診療補助)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。愛玩動物看護師が行っている診療補助を見学し、保定のポイントをポートフォリオにまとめることができる。	ポートフォリオ
第9回	○月○日	動物病院見学⑥(衛生管理)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。動物病院の設備を見学し、その動物病院が衛生管理で気を付けている点をポートフォリオにまとめることができる。	ポートフォリオ
第10回	○月○日	動物病院見学⑦(接客マナー)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。動物病院の受付業務を見学し、飼い主への接し方や話し方をポートフォリオにまとめることができる。	ポートフォリオ
第11回	○月○日	動物病院見学⑧(預かり動物の対応)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。動物病院内の預かり動物の対応を見学し、動物病院内で動物の管理方法をポートフォリオにまとめることができる。	ポートフォリオ
第12回	○月○日	動物病院見学⑨(手術・処置)	病院見学時の礼儀、マナーを守って見学実施。手術もしくは治療処置を見学し、愛玩動物看護師の役割をポートフォリオにまとめることができる。	ポートフォリオ
第13回	○月○日	事後学習①(ポートフォリオに振り返る)	ポートフォリオ内の動物病院からの評価・アドバイスを元に、自分自身が足りていない能力を把握する事が出来る。また、足りていない能力を伸ばしていくための計画を立てる事が出来る。	PowePoint「動物総合実習Ⅰ」(理解型実習) 事前学習 2025
第14回	○月○日	事後学習②(自身の就職先条件を明確にする)	今回の見学先病院が、自身の就職先を探そうとする条件に一致をしていたか振り返る事が出来る。グループワークを通して、見学先動物病院の情報を共有して、就職先候補動物病院を絞る。	PowePoint「動物総合実習Ⅰ」(理解型実習) 事後学習 2025
第15回	○月○日	事後学習③(就活スケジュール作成)	今後の就職活動スケジュールを時系列順に立てる事が出来る。	PowePoint「動物総合実習Ⅰ」(理解型実習) 事後学習 2025

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: なし。
 授業態度: 減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点)
 課題レポート: 見学ポイントシート(20点) 動物看護総合実習Ⅰ報告書(30点) 実習後まとめ(20点)。評価基準は授業内にて説明。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験						なし	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点	
③課題レポート	3位	1位	2位			70	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下	
⑥出席				1位		10		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再履修

シラバス作成者	小林 永実	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太・小林 永実
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物看護総合実習Ⅱ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年	3. 2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 動物看護師として必要な実践的知識および技能を、学内外の実習を通じて身につけることを目的とする。 ・臨床動物病院における実習では、診療補助や飼い主対応の見学・体験を行い、現場における実践力の向上を図る。 ・動物園研修では、展示動物の飼育管理や環境エンリッチメント、獣医療に関する講義・実習を通じて、動物福祉に配慮した包括的な看護視点を養う。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 ・学校で修得した知識・技術が、動物看護業務を实践する上で必須であることを理解する。 ・臨床現場において、処置室や診察室での対応・症例の見学を通じ、現場での観察力および対応力を養う。 ・飼い主やスタッフとの適切なコミュニケーションを通じて、良好な人間関係を構築するための能力を修得する。 ・展示動物のQOL向上に資する飼育および環境整備、ならびに展示動物に対する専門的獣医療の実際を理解する。							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。動物看護総合実習Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	なし			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物総合実習Ⅱ」(理解型実習)2025 PowerPoint「動物園研修について」			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	-			関連後科目 ¹⁹	動物看護総合実習Ⅲ			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業概要説明/事前学習	授業の目的・病院見学期の注意事項を説明。指導項目シートの内容をもとに、実習のポイントを説明し、それを元にポートフォリオに目標が記入できる。				PowerPoint「動物総合実習Ⅱ」(理解型実習)2025	
第2回	○月○日	動物病院実習1日目①「術前検査」	検査項目について説明でき、検査中に注意すべき点を挙げることができる。				①	
第3回	○月○日	動物病院実習1日目②「術前準備」	手術器具の滅菌方法や手術準備に注意すべき点を挙げることができる。				①	
第4回	○月○日	動物病院実習1日目③「術中モニター」	麻酔モニターの項目を読み上げ、麻酔記録を正確に記入できる。				①	
第5回	○月○日	動物病院実習2日目①「執刀医による解説」	執刀医の説明をもとに、手術主義や術式の目的と手順を説明できる。				①	
第6回	○月○日	動物病院実習2日目②「術後管理」	術後管理における観察項目と注意点を挙げて説明できる。				①	
第7回	○月○日	動物病院実習2日目③「手術の片付け・掃除」	手術器具の片付けと洗浄手順を説明し、実際に実施できる。				①	
第8回	○月○日	動物病院実習3日目①「オーナー様への説明」	術後の注意点に関する説明内容を要約し、伝えるべき情報を列挙できる。				①	
第9回	○月○日	動物病院実習3日目②「CBC」	採血から測定までの一連の操作を手順通りに行うことができる。				①	
第10回	○月○日	動物病院実習3日目③「生化学検査(CRP・NaCl含む)」	試薬や測定機器の取り扱い手順を説明し、操作できる。				①	
第11回	○月○日	動物病院実習4日目①「レントゲン」	レントゲン撮影時の動物の保定方法を実施できる。				①	
第12回	○月○日	動物病院実習4日目②「超音波検査」	超音波検査時の保定姿勢を選択し、必要な準備を整えることができる。				①	
第13回	○月○日	動物病院実習4日目③「眼科検査」	超音波検査時の保定姿勢を選択し、必要な準備を整えることができる。				①	
第14回	○月○日	動物病院実習5日目①「皮膚検査(ウッド灯など)」	検査目的と方法を説明し、観察所見を記録できる。				①	
第15回	○月○日	動物病院実習5日目②「眼科検査」	眼科器具の名称と役割を説明し、必要な準備を整えることができる。				①	
第16回	○月○日	動物病院実習5日目③「顕微鏡検査(糞便・尿・細胞診)」	検体の種類に応じた観察項目を説明し、記録できる。				① 21.	
第17回	○月○日	動物病院実習6日目①「内視鏡」	内視鏡機器の各部名称と使用後の洗浄・保管方法を説明できる。				①	
第18回	○月○日	動物病院実習6日目②「保定」	各検査目的に応じて適切な保定方法を選択し、実施できる。				①	
第19回	○月○日	動物病院実習6日目③「入院ケージ・院内の清掃」	院内・入院ケージの清掃方法とその目的を学び、実践できる。				①	
第20回	○月○日	動物病院実習6日目④「受付業務」	受付業務の役割を理解し、説明できる。				①	
第21回	○月○日	動物病院実習6日目⑤「輸液ライン・調剤」	薬の用量計算・分包・薬袋記入の方法を説明できる。輸液ルートの名称と役割を説明し、セッティングの確認点を挙げられる。				①	
第22回	○月○日	院内実習 事後学習	院内実習で学んだこと・反省点を具体的にポートフォリオにまとめることができる。				PowerPoint「動物総合実習Ⅱ」(理解型実習)2025	
第23回	○月○日	宿泊研修 事前学習	動物園の役割や目的を学び、宿泊研修で学ぶ内容や意義を整理できる。				PowerPoint「動物園研修について」	
第24回	○月○日	宿泊研修1日目①「環境エンリッチメント」	動物園で飼育されている動物の飼育環境がどのように環境エンリッチメントに配慮されているか学び、まとめることができる。				①	
第25回	○月○日	宿泊研修1日目②「動物福祉」	動物園の取り組みを学び、動物福祉に配慮された点を挙げることができる。				①	
第26回	○月○日	宿泊研修2日目①「展示動物獣医療の理解」	展示動物獣医療の目的、注意点を学び、まとめることができる。				①	
第27回	○月○日	宿泊研修2日目②「展示動物獣医療施設の見学」	展示動物獣医療施設を見学し、家庭動物獣医療との相違点を挙げることができる。				①	
第28回	○月○日	宿泊研修3日目①「展示動物の生態管理」	展示動物の生態管理に携わり、動物の生態に合った個体管理の方法を学び、まとめることができる。				①	
第29回	○月○日	宿泊研修3日目②「展示動物の飼育実施」	展示動物の生態を理解し、QOLの向上を目的とした生態管理ができる。				①	
第30回	○月○日	宿泊研修 事後学習	動物園ごとの飼育環境の相違点を挙げ、よりよい飼育環境を提案することができる。				PowerPoint「動物園研修について」	

2025年度シラバス

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							21.
授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点） 課題レポート：見学ポイントシート（15点）動物看護総合実習Ⅱ報告書（30点）実習後まとめ（15点） 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート	3位	1位	2位			60	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（C）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位		20	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再履修

シラバス作成者	西田 沙季	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高砂 珠乃、西田 沙季
更新履歴				実務経験紹介	
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物看護総合実習Ⅲ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年	3. 3学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	3	時間数 ⁹	90	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業。 ・獣医師・愛玩動物看護師の業務内容を把握する。 ・高度動物医療センターの施設見学をし、施設の概況や機能を理解する。 ・動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 動物病院の概要を理解し、チーム医療を体験する。 ・総合的な動物看護の実務に関わる指導を受け、愛玩動物看護師の実務能力を修得する。 ・愛玩動物看護師としての役割や責任について、認識を深める。 ・学内では学習できない、動物高度医療分野における愛玩動物看護師の役割や一般的な動物病院との違いについて知る。							
受講条件	13 動物看護科に在籍している、動物看護総合実習Ⅰ、動物看護総合実習Ⅱの単位取得。							
教科書名	14 特になし			教材名 ¹⁵	PowePoint「動物総合実習Ⅲ」(授業担当教員作)、ポートフォリオ、レポート用紙			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目	18 動物看護総合実習Ⅰ、動物看護総合実習Ⅱ			関連後科目 ¹⁹	なし			
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業概論/高度動物医療センター事前学習①(1次診療と2次診療施設の違い)	見学時に見たいポイント、勉強したいポイントを明確にあげることができる。一次診療と二次診療の違いを理解し、動物医療体制における役割を説明できる。				PowePoint「動物総合実習Ⅲ」(理解型実習) 事前学習	
第2回	○月○日	高度動物医療センター事前学習②(二次診療施設の診療形態)	高度動物医療センターでの診療体制(専門科診療・紹介制など)について説明できる。				PowePoint「動物総合実習Ⅲ」(理解型実習) 事前学習	
第3回	○月○日	高度動物医療センター事前学習③(学習計画・ポートフォリオ作成)	実習に向けた学習計画を立案し、自分の学びを記録・振り返るためのポートフォリオを作成できる。				PowePoint「動物総合実習Ⅲ」(理解型実習) 事前学習 ポートフォリオ	
第4回	○月○日	高度動物医療センター実習①	高度医療現場特有の診療形態・特殊検査・動物看護の流れを観察し、高度医療現場での愛玩動物看護師の役割を説明できる。				ポートフォリオ	
第5回	○月○日	高度動物医療センター実習②	実習中に見学した症例や対応から、愛玩動物看護師の専門的業務を把握し、メモに記録できる。				ポートフォリオ	
第6回	○月○日	高度動物医療センター実習③	診療補助や検査準備など看護業務の実際を学び、積極的に質問・観察ができる。				ポートフォリオ	
第7回	○月○日	高度動物医療センター実習④	高度医療に関する倫理的配慮や、飼い主への対応姿勢を理解し、専門職の心構えを考察できる。				ポートフォリオ	
第8回	○月○日	高度動物医療センター事後学習①(実際に見学をしてのレポート作成)	実習での学びや発見を具体的に記述し、自らの課題や今後の目標をA4サイズレポート用紙2枚にまとめることができる。				ポートフォリオ レポート用紙	
第9回	○月○日	高度動物医療センター事後学習②(1次診療と2次診療の違いについてレポート作成)	一次・二次診療の違いや連携体制について自分の言葉でまとめ、実例を交えてA4サイズレポート用紙1枚に記述できる。				ポートフォリオ レポート用紙	
第10回	○月○日	高度動物医療センター事後学習③(高度動物医療センター1日の流れのレポート作成)	高度動物医療センターの1日の業務スケジュールや役割分担を理解し、A4サイズレポート用紙1枚にまとめることができる。				ポートフォリオ レポート用紙	
第11回	○月○日	インターンシップ事前学習①(今回の実習について)	実習先(内定先動物病院)の施設情報や業務内容を理解し、愛玩動物看護師として求められる役割と心構えを明確にすることができる。				PowePoint「動物総合実習Ⅲ」(理解型実習) 事前学習	
第12回	○月○日	インターンシップ事前学習②(ビジネス電話・ビジネスメールを活用し実習をお願いする)	ビジネスマナーを踏まえた電話やメールでの連絡方法を習得し、実習依頼の意思を丁寧かつ正確に伝えることができる。				PowePoint「動物総合実習Ⅲ」(理解型実習) 事前学習	
第13回	○月○日	インターンシップ事前学習③(全7日間の学習計画を立案する)	実習期間中に習得したい動物看護のスキルや動物病院で必要とされるビジネススキルを明確にし、目的をもって学習計画を立てることができる。				PowePoint「動物総合実習Ⅲ」(理解型実習) 事前学習 ポートフォリオ	
第14回	○月○日	インターンシップ事前学習④(ポートフォリオを作成する)	インターンシップの振り返りをする際に、自らの成長や課題を可視化できるポートフォリオを構築できる。				PowePoint「動物総合実習Ⅲ」(理解型実習) 事前学習 ポートフォリオ	
第15回	○月○日	インターンシップ1日目①	実習施設(内定先動物病院)の基本ルールや業務内容を理解し、その動物病院での動物看護職としての行動基準を把握することができる。				ポートフォリオ	
第16回	○月○日	インターンシップ1日目②	施設内の動線や機器・物品の配置を把握し、業務補助時の安全意識をもって行動できる。				ポートフォリオ	
第17回	○月○日	インターンシップ1日目③	実習先でのスタッフの業務観察を通して、スタッフ間の連携やチーム医療の現場の状況を把握する事が出来る。				ポートフォリオ	
第18回	○月○日	インターンシップ1日目④	動物看護業務の基本(清掃・器具準備・保定補助など)を見学・体験し、業務内容を整理できる。				ポートフォリオ	
第19回	○月○日	インターンシップ2日目①	1日目に学んだことポートフォリオの動物病院からのアドバイスを踏まえて、2日目にやるべきことやスタッフに質問する事を計画できる。				ポートフォリオ	
第20回	○月○日	インターンシップ2日目②	実習先の指示に従い、簡単な補助作業(清掃・準備等)を安全かつ丁寧に行うことができる。				ポートフォリオ	
第21回	○月○日	インターンシップ2日目③	指導担当スタッフからの助言を理解し、改善点を次の行動に活かすことができる。				ポートフォリオ	
第22回	○月○日	インターンシップ2日目④	2日目に学んだ内容と1日目に学んだ内容と改善項目を振り返り、3日目の実習計画を作成できる。				ポートフォリオ	
第23回	○月○日	インターンシップ3日目①	実習施設(内定先動物病院)での術前検査の手順や説明内容を見学し説明できる。。				ポートフォリオ	
第24回	○月○日	インターンシップ3日目②	実習施設(内定先動物病院)での手術準備(滅菌・器具配置)を見学し、愛玩動物看護師の役割を説明できる。				ポートフォリオ	
第25回	○月○日	インターンシップ3日目③	実習施設(内定先動物病院)での手術中のモニター機器の読み取りや麻酔記録の取り方を学び、要点を記録できる。				ポートフォリオ	
第26回	○月○日	インターンシップ3日目④	3日目に学んだ内容と2日目に学んだ内容と改善項目を振り返り、4日目の実習計画を作成できる。				ポートフォリオ	
第27回	○月○日	インターンシップ4日目①	実習施設(内定先動物病院)での術後管理や動物の観察項目や注意点を理解し、記録にまとめることができる。				ポートフォリオ	
第28回	○月○日	インターンシップ4日目②	実習施設(内定先動物病院)でのオーナーへの術後説明の様子を観察し、伝えるべき内容をポートフォリオにまとめる事が出来る。				ポートフォリオ	
第29回	○月○日	インターンシップ4日目③	実習施設(内定先動物病院)でのCBCや生化学検査について、手技の流れと機器の扱いを観察し記録できる。				ポートフォリオ	

2025年度シラバス

第30回	〇月〇日	インターンシップ4日目④	4日に学んだ内容と3日に学んだ内容と改善項目を振り返り、5日目の実習計画を作成できる。	ポートフォリオ
第31回	〇月〇日	インターンシップ5日目①	実習施設（内定先動物病院）でのX線・超音波検査における動物の保定方法を理解し、観察から要点を把握できる。	ポートフォリオ 21.
第32回	〇月〇日	インターンシップ5日目②	実習施設（内定先動物病院）での眼科・皮膚・顕微鏡検査の目的と手順を理解し、使用機器の名称と意義を説明できる。	ポートフォリオ
第33回	〇月〇日	インターンシップ5日目③	診察時の保定を見学させてもらい、保定技術の基本を理解し、動物の状態に応じた保定の選択肢を説明できる。	ポートフォリオ
第34回	〇月〇日	インターンシップ5日目④	5日に学んだ内容と4日に学んだ内容と改善項目を振り返り、6日目の実習計画を作成できる。	ポートフォリオ
第35回	〇月〇日	インターンシップ6日目①	実習施設（内定先動物病院）での入院ケージや院内の清掃作業を通じて、衛生維持の基本を実践できる。	ポートフォリオ
第36回	〇月〇日	インターンシップ6日目②	実習施設（内定先動物病院）での受付業務の流れを理解し、受付でのコミュニケーションの工夫を説明できる。	ポートフォリオ
第37回	〇月〇日	インターンシップ6日目③	実習施設（内定先動物病院）での輸液ラインの設置や接続、留置処置の流れを観察し、準備・記録ができる。	ポートフォリオ
第38回	〇月〇日	インターンシップ6日目④	6日に学んだ内容と5日に学んだ内容と改善項目を振り返り、7日目の実習計画を作成できる。	ポートフォリオ
第39回	〇月〇日	インターンシップ7日目①	実習中に学んだスキルをスタッフの助言をもとに改善し最終日の実習に取り組める。	ポートフォリオ
第40回	〇月〇日	インターンシップ7日目②	実習施設（内定先動物病院）での報告・連絡・相談の必要頻度を理解し、適切なタイミングで実施できる。	ポートフォリオ
第41回	〇月〇日	インターンシップ7日目③	実習の最終段階として、愛玩動物看護師の仕事全体を理解し責任を持って行動できる。	ポートフォリオ
第42回	〇月〇日	インターンシップ7日目④	毎日のポートフォリオ記録を振り返り、自らの課題を言語化し今後の学校生活へ活かせる。	ポートフォリオ
第43回	〇月〇日	インターンシップ事後学習① (評価シート振り返り)	動物病院からの評価シートを見て、自身に不足している能力を客観的に分析できる。	ポートフォリオ
第44回	〇月〇日	インターンシップ事後学習② (ポートフォリオの振り返り)	実習期間中に動物病院スタッフから記入してもらった、ポートフォリオ評価の振り返りを行い、今後の学習計画を数値目標を入れて具体的に立案できる。	ポートフォリオ
第45回	〇月〇日	インターンシップ事後学習③ (全実習を通してのレポート作成)	3年間を通して、動物病院で見学・実習させてもらったことを元に、自分自身が成長できたことを客観的に分析し、エビデンスを元居てA4レポート用紙1枚にまとめる事が出来る。	ポートフォリオ レポート用紙

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点）
課題レポート：高度動物医療センターレポート（20点分。内容・評価基準は授業内にて説明）インターンシップレポート（40点分。内容・評価基準は授業内にて説明）
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験						なし	秀 (S) : 100点~90点	
②確認テスト						なし	優 (A) : 89点~80点	
③課題レポート	3位	1位	2位			60	良 (B) : 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可 (D) : 69点~60点	
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥出席				1位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再履修

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員 実務経験紹介	佐藤 萌美、大井 剛
---------	-------	---------	-------	------------------	------------

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物飼育実習Ⅰ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 適正飼養方法及び動物看護に必要な観察力と動物福祉の精神を身につけ、正常と異常を鑑別しながら、小動物の飼育が行えるようになる。 動物看護科3年生と一緒に授業を行い、3年生から各動物の適正飼養方法の指導を受け、第14-15回目の授業では、1年生だけで授業ができるようになることを目標としている。 ※学校飼育動物の状況によっては、その動物が授業にて使用できない場合がある。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 愛玩動物学Ⅰ学んだ知識を用いて、①1年生だけで「正しいとされる小動物飼育」ができる ②生態習性を含んだ「適正飼養指導」ができる							
受講条件	13 動物看護科に在籍している。愛玩動物学Ⅰの単位取得。							
教科書名	なし			教材名 ¹⁵	PowerPoint「動物飼育実習Ⅰ」(授業担当教員作)、動物飼育記録、「愛玩動物学Ⅰ」全配布資料、Googleスプレッドシート			
設備名・機器名	プロジェクター、スクリーン、学校飼育動物			関連サイト ¹⁷	環境省「家庭動物等飼養管理技術マニュアル」 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/house.pdf			
関連前科目	愛玩動物学Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	動物飼育実習Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明	授業内容: この授業の流れ・目標を説明	・PowerPoint「動物飼育実習Ⅰ」 ・「動物飼育記録」
第2回	○月○日	動物飼育実習 ウサギ① ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 到達目標: ①事前に指定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第3回	○月○日	動物飼育実習 ウサギ② ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第4回	○月○日	動物飼育実習 モルモット① ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第5回	○月○日	動物飼育実習 モルモット② ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第6回	○月○日	動物飼育実習 フェレット ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第7回	○月○日	動物飼育実習 ジャンガリアンハムスター ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第8回	○月○日	動物飼育実習 コールテンハムスター ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第9回	○月○日	動物飼育実習 チンチラ ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第10回	○月○日	動物飼育実習 フクロモモンガ ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第11回	○月○日	動物飼育実習 ハリネズミ ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第12回	○月○日	動物飼育実習 セキセイインコ ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第13回	○月○日	動物飼育実習 オカメインコ ※各回、動物をローテーションして実施する。	授業内容: 事前に指定された学校飼育動物の飼育を3年生の指導を受けながら実施。 飼育後、教員を飼い主と想定し、適正飼養指導を行う。 ※各回、動物をローテーションして実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「飼育動物担当表」・11教室座席表
第14回	○月○日	成績判定試験	授業内容: 成績判定試験実施	・「動物飼育記録」
第15回	○月○日	試験後 改善実習	授業内容: 成績判定試験のフィードバックを受け、試験の流れと同じように実習を行う。 到達目標: フィードバックを受けた内容を改善できる。	・「動物飼育記録」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第14回で実施。 ※評価基準等詳細は第1回目に説明。Google classroomにて掲示。
 授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点。その他実習に合わせた身なりでなかった場合、その部分ごとに2点減点(部分例: 実習服を着ていない、アクセサリを外していない、爪が長い、長髪が束ねられていない等))
 出席: 欠席0回で10点 1回で5点 2回で3点 3回で1点とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	3位	1位			2位	60	秀(S): 100点~90点
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		30	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物飼育実習Ⅱ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	適正飼養法及び動物看護に必要な観察力と動物福祉の精神を身につけ、正常と異常を鑑別しながら、小動物の飼育が行えるようになる。 2学年では現場を想定し、飼育を担当する動物をランダムに決定。担当飼育動物の起こりやすい疾病を含めた適正飼養指導を行う。 ※学校飼育動物の状況によっては、その動物が授業にて使用できない場合がある。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	①「正しいとされる小動物飼育」ができる ②各小動物に起こりやすい疾病を含んだ「適正飼養指導」ができる							
受講条件	動物看護科に在籍している。動物飼育実習Ⅰの単位取得。							
教科書名	なし			教材名 ¹⁵	動物飼育記録、「愛玩動物学Ⅰ」全配布資料、Googleスプレッドシート			
設備名・機器名	学校飼育動物			関連サイト ¹⁷	環境省「家庭動物等飼養保管技術マニュアル」 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/house.pdf			
関連前科目	動物飼育実習Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	動物飼育実習Ⅲ			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明/各動物の飼育範囲決め	授業内容: この授業の流れ・目標を説明/1年次のクラスにて実施していた飼育方法・流れを2年次クラスで共有。 各動物の飼育範囲をクラスで話し合い決定する。	・スプレッドシート「2年「動物飼育実習Ⅱ」流れ説明資料(学生配信用)」
第2回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第3回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第4回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第5回	○月○日	動物飼育実習 ※飼育動物の偏りを調整	授業内容: 担当する飼育動物の偏りを調整するため、自身の苦手な小動物を選び、2人1組のペアで飼育を実施。 到達目標: ①自分が選んだ各学校飼育動物 到達目標を達成できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第6回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第7回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第8回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第9回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第10回	○月○日	動物飼育実習 ※飼育動物の偏りを調整	授業内容: 担当する飼育動物の偏りを調整するため、自身の苦手な小動物を選び、2人1組のペアで飼育を実施。 到達目標: ①自分が選んだ各学校飼育動物 到達目標を達成できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第11回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第12回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第13回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容: ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標: ①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第14回	○月○日	成績判定試験	成績判定試験実施	・「動物飼育記録」
第15回	○月○日	試験後 改善実習	授業内容: 成績判定試験のフィードバックを受け、試験の流れと同じように実習を行う。 到達目標: フィードバックを受けた内容を改善できる。	・「動物飼育記録」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第14回で実施。 ※評価基準等詳細は第1回目に説明。Google classroomにて掲示。
 授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点 その他実習に合わせた身なりでなかった場合、その部分ごとに2点減点(部分例: 実習服を着ていない、アクセサリーを外していない、爪が長い、長髪が束ねられていない等))
 出席: 欠席0回で10点 1回で5点 2回で3点 3回で1点とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	3位	1位			2位	60	秀(S): 100点~90点
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		30	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物飼育実習Ⅲ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	適正飼養法及び動物看護に必要な観察力と動物福祉の精神を身につけ、正常と異常を鑑別しながら、小動物の飼育が行えるようになる。 2学年では現場を想定し、飼育を担当する動物をランダムに決定。1人で飼育を行い、担当飼育動物の起こりやすい疾病を含めた適正飼養指導を行う。 ※学校飼育動物の状況によっては、その動物が授業にて使用できない場合がある。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	①各小動物に起こりやすい疾病を含んだ「適正飼養指導」ができる ②1人で「正しいとされる小動物飼育」ができる。							
受講条件	動物看護科に在籍している。動物飼育実習Ⅱの単位取得。							
教科書名	なし			教材名 ¹⁵	動物飼育記録、「愛玩動物学Ⅰ」全配布資料、Googleスプレッドシート			
設備名・機器名	学校飼育動物			関連サイト ¹⁷	環境省「家庭動物等飼養保管技術マニュアル」 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/house.pdf			
関連前科目	動物飼育実習Ⅱ			関連後科目 ¹⁹	動物飼育実習Ⅳ			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明/動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・スプレッドシート「2年「動物飼育実習Ⅱ」流れ説明資料(学生配信用)」
第2回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第3回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第4回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第5回	○月○日	動物飼育実習 ※動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 1名を評価担当者とし、飼育内容の確認・評価を実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第6回	○月○日	動物飼育実習(評価) ※動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 1名を評価担当者とし、飼育内容の確認・評価を実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第7回	○月○日	動物飼育実習 ※飼育動物の偏りを調整	授業内容:担当する飼育動物の偏りを調整するため、自身の苦手な小動物を選び、2人1組のペアで飼育を実施。 到達目標:①自分が選んだ各学校飼育動物 到達目標を達成できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第8回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第9回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 ②疾病を含んだ適正飼養方法について、わかりやすく説明できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第10回	○月○日	動物飼育実習 ※各回、動物をランダムに設定	授業内容:担当する飼育動物の偏りを調整するため、自身の苦手な小動物を選び、2人1組のペアで飼育を実施。 到達目標:①自分が選んだ各学校飼育動物 到達目標を達成できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第11回	○月○日	動物飼育実習 ※飼育動物の偏りを調整	授業内容:担当する飼育動物の偏りを調整するため、自身の苦手な小動物を選び、2人1組のペアで飼育を実施。 到達目標:①自分が選んだ各学校飼育動物 到達目標を達成できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第12回	○月○日	動物飼育実習(評価) ※動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 1名を評価担当者とし、飼育内容の確認・評価を実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第13回	○月○日	動物飼育実習(評価) ※動物をランダムに設定	授業内容:ランダムに設定された学校飼育動物の飼育を2人1組のペアで実施。 到達目標:①ランダムに設定された各学校飼育動物 到達目標を達成できる。 1名を評価担当者とし、飼育内容の確認・評価を実施する。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物飼育実習Ⅱ」各種動物飼育の流れ」
第14回	○月○日	成績判定試験①	前半チーム/後半チームに分かれ、成績判定試験実施(前半チーム実習試験/後半チーム作文試験)	・「動物飼育記録」
第15回	○月○日	成績判定試験②	前半チーム/後半チームに分かれ、成績判定試験実施(後半チーム実習試験/前半チーム作文試験)	・「動物飼育記録」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14・15回で実施。 ※評価基準等詳細は第1回目に説明。Google classroomにて掲示。
 授業態度:減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点 その他実習に合わせた身なりでなかった場合、その部分ごとに2点減点(部分例:実習服を着ていない、アクセサリを外していない、爪が長い、長髪が束ねられていない等))
 出席:欠席0回で10点 1回で5点 2回で3点 3回で1点とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	3位	1位			2位	60	秀(S):100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		30	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥出席				1位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹¹	動物飼育実習Ⅳ		学科名 ²¹ (コース名)	2. 動物看護科			学年 ³¹	3学年
授業形態 ⁴⁴	実習	学期	前期	開講年 ⁵⁵	4月	該当資格区分 ⁶⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷ 分	選択必修	単位数 ⁸⁸	1	時間数 ⁹⁹	30	該当資格名称 ¹⁰¹	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	この授業では学校飼育動物の飼育環境改善を図り、行動検証などを行いながら「5つの自由」に則った飼育環境を構築することを目指す。 飼育環境の改善や動物のハンドリングなどの内容のため、「動物愛護・適正飼養実習Ⅰ」と連携して授業を進めていく。 ※学校飼育動物の状況によっては、その動物が授業にて使用できない場合がある。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	・「5つの自由」の考え方に則った学校飼育動物の飼育環境改善ができる。							
受講条件	動物看護科に在籍している。愛玩動物学Ⅰ、動物飼育実習Ⅲの単位取得。							
教科書名	なし			教材名 ¹¹⁵ 5	「動物飼育記録」、Googleスプレッドシート			
設備名・機器名	プロジェクター、モニター、学校飼育動物			関連サイト ¹¹⁷	環境省「法令・基準等(動物愛護管理法)」 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/rule.html			
関連前科目	愛玩動物学、動物飼育実習			関連後科目 ¹¹⁹	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.0

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	〇月〇日	授業概要説明 動物飼育実習(復習)	授業内容: 授業概要の説明/ 今までの復習として動物飼育実習Ⅲの流れで飼育を行う 到達目標: 愛玩動物看護師における飼育環境改善が隔遠操作に行われることを説明できる	・「動物飼育記録」
第2回	〇月〇日	担当動物の飼育① 飼育環境改善のための問題点抽出・検証① 「飢え・渇きからの自由」の観点	授業内容: 担当動物の飼育をしながら「飢え・渇きからの自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを検証する 到達目標: 「飢え・渇きからの自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを論理的に考えられる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第3回	〇月〇日	担当動物の飼育② 飼育環境改善のための問題点抽出・検証② 「不快からの自由」の観点	授業内容: 担当動物の飼育をしながら「不快からの自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを検証する 到達目標: 「不快からの自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを論理的に考えられる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第4回	〇月〇日	担当動物の飼育③ 飼育環境改善のための問題点抽出・検証③ 「痛み・負傷・病気からの自由」の観点	授業内容: 担当動物の飼育をしながら「痛み・負傷・病気からの自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを検証する 到達目標: 「痛み・負傷・病気からの自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを論理的に考えられる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第5回	〇月〇日	担当動物の飼育④ 飼育環境改善のための問題点抽出・検証④ 「本来の行動をとれる自由」の観点	授業内容: 担当動物の飼育をしながら「本来の行動をとれる自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを検証する 到達目標: 「本来の行動をとれる自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを論理的に考えられる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第6回	〇月〇日	担当動物の飼育⑤ 飼育環境改善のための問題点抽出・検証⑤ 「恐怖・抑圧からの自由」の観点	授業内容: 担当動物の飼育をしながら「恐怖・抑圧からの自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを検証する 到達目標: 「恐怖・抑圧からの自由」の観点で飼育環境改善の必要性がないかを論理的に考えられる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第7回	〇月〇日	担当動物の飼育⑥ 指導用コンテンツ作成用素材集め①	授業内容: 担当動物の飼育をしながら、指導用コンテンツ作成用の画像素材を集める 到達目標: 指導用コンテンツ作成用の画像素材を集めることができる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第8回	〇月〇日	担当動物の飼育⑦ 指導用コンテンツ作成用素材集め②	授業内容: 担当動物の飼育をしながら、指導用コンテンツ作成用の動画素材を集める 到達目標: 指導用コンテンツ作成用の動画素材を集めることができる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第9回	〇月〇日	担当動物の飼育⑧ 指導用コンテンツ作成用素材集め③	授業内容: 担当動物の飼育をしながら、指導用コンテンツ作成用の画像・動画素材を集める 到達目標: 指導用コンテンツを作成させることができる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第10回	〇月〇日	担当動物の飼育⑨ 指導用マニュアル作成	授業内容: 担当動物を飼育しながら指導用マニュアルを作成するために、各動物の飼育の流れを振り返る 到達目標: 指導用マニュアルを作成できる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第11回	〇月〇日	担当動物の飼育⑩ 作成した評価ルーブリックの運用検証	授業内容: 担当動物の飼育をしながら、作成した評価ルーブリックの検証を行う。 到達目標: 評価ルーブリックが妥当かを検証できる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第12回	〇月〇日	担当動物の飼育⑪ 作成した指導用マニュアルの運用検証①	授業内容: 受講学生の半分を1年生として、作成した指導用マニュアルを用いて、残りの学生が動物飼育の指導演習を行う 到達目標: 作成した指導用マニュアルを用いて、1年生役の学生を指導できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第13回	〇月〇日	担当動物の飼育⑫ 改善した指導用マニュアルの運用検証②	授業内容: 第11回での役割を交替して、改善した指導用マニュアルを用いて動物飼育の指導演習を行う 到達目標: 改善した指導用マニュアルを用いて、1年生役の学生を指導できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第14回	〇月〇日	担当動物の飼育⑬ 作成した指導用マニュアルの最終調整検証	授業内容: 第10回、第11回で改善した指導用マニュアルを用いて動物飼育の指導演習を行う 到達目標: 完成した指導用マニュアルを用いて、1年生役の学生を指導できる。	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート
第15回	〇月〇日	担当動物の飼育⑭ 改善した飼育環境を振り返る	授業内容: 担当動物の飼育をしながら、検証した結果と改善した飼育環境を振り返る 到達目標: 改善した飼育環境の結果をまとめることができる	・「動物飼育記録」 ・スプレッドシート「動物愛護・適正飼養実習」飼育環境改善シート

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) 21.1

授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)、その他実習に合わせた身なりでなかった場合、その部分ごとに2点減点(部分別: 実習服を着ていない、アクセサリを外していない、爪が長い、長髪が束ねられていない等)
発表・作品: 第4回で作成する「5つの自由を考慮した飼育環境」第9回で提出する「指導用コンテンツ」第13-14回で作成する「指導用マニュアル」と「評価ルーブリック」を評価(各作品20点 詳細は各回にて説明)
出席: 欠席0回で10点 1回で5点 2回で3点 3回で1点とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験						なし	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		30	可(D): 69点~60点	
⑤発表・作品	2位	1位			3位	60	不可(E): 59点以下	
⑥出席			1位			10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	ドッグトレーニング実習 I		学科名 ² (コース名)	2. 動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 犬のコントロールの仕方や社会化の仕方に関する知識及び技術を学ぶ科目							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 飼い主様からしつけに関する質問があった際に返答できるよう問題改善の知識を身につける							
受講条件	13 動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	なし			教材名 ¹⁵	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	ジョイントマット・犬具・プロジェクター・スクリーン			関連サイト ¹⁷	日本動物行動学会 https://ethology.jp/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ¹⁹	ドッグトレーニング実習 II			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.0

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	【演習】授業概要説明 / しつけとトレーニングについて / 犬具の種類	【内容】授業の必要性と内容説明、進め方/授業に関わるスタッフ犬のアンケート/躰やトレーニングの違い/躰とトレーニングの重要性/犬具(リード、カラー、おもちゃ等)の種類 【目標】授業の目的と犬具の種類(リード・カラー・おもちゃ)を3種以上説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」①
第2回	○月○日	【演習】犬の行動を読み取る	【内容】ボディランゲージとカーミングシグナル 【目標】カーミングシグナルを5種類以上挙げて、それぞれの意味を説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」②
第3回	○月○日	【演習】犬への接し方	【内容】犬と人(会い方・抱っこ)、犬と犬同士(挨拶)の接し方について 【目標】犬と人・犬と犬の挨拶方法を3パターン以上示し、適切な対応ができる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」③
第4回	○月○日	【演習】問題行動への予防と対応	【内容】PDCAと聞き出し方(5WH) / お客様への質問 【目標】PDCA・5WHのうち3つ以上を使い、お客様への対応内容を1ケース以上提案できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」④
第5回	○月○日	【演習】犬の報酬 / 馴れについて	【内容】(ケーススタディ) / 犬の報酬について(5つのP) / 人慣れ・犬慣れ・音慣れ 【目標】5つのP(報酬)を全て言える / P4人慣れ・犬慣れ・音慣れの要点を各1つ以上説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑤
第6回	○月○日	【演習】犬の学習について	【内容】生得的行動(定性・反射・本能行動など) / 習得的行動(レスポナント条件付け①)(名前・褒め言葉のやり方) 【目標】習得的行動と生得的行動の違いを説明し、各2例以上挙げられる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑥
第7回	○月○日	基礎トレーニング	【内容】(ケーススタディ) / 習得的行動(もの慣れの仕方) / (スリッカー・足拭き・注射・保定・犬具の付け方となれさせ方) 【目標】犬具への慣れを3種以上説明し、慣れさせ方を説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑦
第8回	○月○日	もの慣れ	【内容】(ケーススタディ) / 習得的行動(もの慣れの仕方) / (スリッカー・足拭き・注射・保定・犬具の付け方となれさせ方) 【目標】犬具への慣れを3種以上説明し、慣れさせ方を説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑧
第9回	○月○日	応用トレーニング	【内容】習得的行動(行動形成・馴化・鋭敏化・消去など) / アプライドトレーニング(招呼・停座・伏臥など) 【目標】招呼・停座・伏臥などの動作を3種類以上実演できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑨
第10回	○月○日	場所慣れ	【内容】場所(病院や診察代)への慣れ/ハウス:ハウストレーニング、ハウスに入ろう 【目標】診察台・病院・ハウスに入る行動を各1回ずつ指示し実施できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑩
第11回	○月○日	犬の応用学習について	【内容】(ケーススタディ) / 習得的行動(行動形成・シェパード・ハズバンダリーなど) 【目標】シェパード・ハズバンダリーの違いを理解できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑪
第12回	○月○日	専門トレーニング	【内容】(ケーススタディ) / 習得的行動(クリッカートレーニング) 【目標】クリッカーを使い、担当犬にのいずれかを1つ以上の行動誘導できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑫
第13回	○月○日	実践練習	【内容】復習・練習 【目標】過去の訓練項目5項目以上について復習し、3項目以上をペア練習できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習 I」⑬
第14回	○月○日	成績判定試験	【内容】実技試験:適正飼養指導→社会化の仕方(人慣れ→布がり後ろに隠れて吠える)(物慣れ→ハウス入らない・スリッカーブラシ嫌がる) 【目標】成績判定試験70%以上の点数をとる。	-
第15回	○月○日	総復習	【内容】総復習/犬の問題行動とその種類について 【目標】問題行動の種類を3種以上挙げられる。	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) 21.1

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70点満点
 授業態度:20点満点減点方式(遅刻・早退居眠りや私語等はその度に2点減点とする)
 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70%	秀(S):100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20%	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥出席			1位			10%		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	小笠原 季輝
				実務経験紹介	

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹¹	ドッグトレーニング実習Ⅱ		学科名 (コース名) ²¹	2. 動物看護科			学年 ³¹	3. 3学年
授業形態 ⁴⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵⁵	10月	該当資格区分 ⁶⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷⁷ 分	選択必修	単位数 ⁸⁸	1	時間数 ⁹⁹	30	該当資格名称 ¹⁰⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	1 犬のコントロールの仕方や社会化の仕方に関する知識及び技術を身につける							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	2 飼い主様からしつけに関する質問があった際に返答できるよう問題改善の知識を身につける							
受講条件 ¹³	3 動物看護科に在籍している。ドッグトレーニング実習Ⅰの単位取得							
教科書名 ¹⁴	4 なし			教材名 ¹⁵	5 PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ」(授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	6 ジョイントマット・犬具・プロジェクター・スクリーン			関連サイト ¹⁷	7 日本動物行動学会 https://ethology.jp/			
関連前科目 ¹⁸	8 ドッグトレーニング実習Ⅰ			関連後科目 ¹⁸	9 なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.0

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	・授業概要説明 ・実習Ⅰの復習 ・レッスン準備	【内容】授業の重要性や内容説明、進め方について/担当犬依頼準備 【目標】授業概要・目的・目標・必要性について説明できる	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ①」
第2回	○月○日	・問題行動への対策案	【内容】対策案/担当犬プレゼン作成、担当者への質問や願い内容決定 【目標】問題行動に対する対策方法を12個を5分で答えることができる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ②」
第3回	○月○日	・レッスン前準備	【内容】レッスン犬問題点洗い出し/レッスン予定表制作 【目標】レッスンの予定表を制作できる	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ③」
第4回	○月○日	・家内の問題行動への対応	【内容】食事、イタズラの対応について 【目標】食事といたずら問題の一番リスクの少ない対処法を各5分以内で説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ④」
第5回	○月○日	・レッスン1回目	【内容】担当犬のレッスン1回目/実施内容を発表報告 【目標】計画に沿っている担当犬の成長ポイントを1つ見つける事ができる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑤」
第6回	○月○日	・排泄の問題行動への対応	【内容】トイレ問題について 【目標】トイレ問題の一番リスクの少ない対処法を各5分以内で説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑥」
第7回	○月○日	・レッスン2回目	【内容】担当犬のレッスン2回目/実施内容を発表報告 【目標】計画に沿っている担当犬の成長ポイントを1つ見つける	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑦」
第8回	○月○日	・野外での問題行動への対応	【内容】(ケーススタディ)散歩時に起こる問題について 【目標】散歩時に起こりうる問題の一番リスクの少ない対処法を各5分以内で説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑧」
第9回	○月○日	・吠えの対応	【内容】吠えの問題について 【目標】吠えの問題の一番リスクの少ない対処法を各5分以内で説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑨」
第10回	○月○日	・レッスン3回目	【内容】担当犬のレッスン3回目/実施内容を発表報告 【目標】計画に沿っている担当犬の成長ポイントを1つ見つける事が出来る。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑩」
第11回	○月○日	・咬みの対応	【内容】かみの問題について 【目標】かみ問題の一番リスクの少ない対処法を各5分以内で説明できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑪」
第12回	○月○日	・レッスンまとめ	【内容】今までのレッスン風景やアドバイス、今後の取り組みをまとめた専用本(データ)を制作/実践練習(散歩、要求吠え、甘噛み対応アドバイス) 【目標】担当犬のレッスン内容についてのまとめ資料を各グループ1データ制作できる	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑫」
第13回	○月○日	総復習	【内容】復習・練習 【目標】過去の訓練項目について復習し、3項目以上をペア練習できる。	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑬」
第14回	○月○日	成績判定試験	【内容】実技(散歩、要求・攻撃の吠え、甘噛み) 【目標】成績判定試験の正答率が70%を超えている。	-
第15回	○月○日	総復習	【内容】総復習 【目標】成績判定試験の不正解だった問題を全て訂正することができる	PowerPoint「ドッグトレーニング実習Ⅱ⑭」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) 21.1

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70点満点
 授業態度:20点満点減点法(遅刻・早退居眠りや私語等はその度に2点減点)
 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点	
⑤出席			1位			10	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	小笠原 季輝
				実務経験紹介	-

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	トータルケア実習 I		学科名 ² (コース名)	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	3	時間数 ⁹	90	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	犬の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	犬の日常ケアや診療補助に必要な手技を実践的に行うことができる。							
受講条件	動物看護科に在籍している。動物内科看護学実習Ⅱの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻」EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版」			教材名 ¹⁵	PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』（授業担当教員作）			
設備名・機器名 ¹⁶	実習犬 ドッグバス トリミング台 ドッグマンション			関連サイト ¹⁷	一般社団法人全日本動物専門教育協会 https://www.zennitido.com			
関連前科目 ¹⁸	動物内科看護学実習Ⅱ			関連後科目 ¹⁹	トータルケア実習Ⅱ			
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								20
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	実習の流れ・ベーシックケアのやり方	授業概要/ベーシックケアとは/ベーシックケアのやり方。ベーシックケアの目的を理解しうえて、内容の説明ができる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』第1回	
第2,3回	○月○日	実習の流れ・道具、設備の説明	ベーシックケアで使用する道具や設備についてベーシックケアで使用する道具の名称と使用目的、設備の使い方について説明できる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第4,5,6回	○月○日	実習の流れ(デモンストレーション実施)	ベーシックケアの手順/各ケア作業のやり方を説明。ベーシックケア(一般身体検査～バリカン作業)の手順を説明できる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第7,8,9回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ①(4人1組)「作業確認」	4人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。正しく道具を使用する事が出来る。メモを確認しながら順番通りの作業を行える。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第10,11,12回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ②(4人1組)「通し作業」	4人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。ベーシック作業を正しい順番で通して行える。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第13,14,15回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ③(4人1組)「一般身体検査」	4人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。一般身体検査の必要項目をすべて正しく検査できる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第16,17,18回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ④(4人1組)「ブラッシング」	4人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。ブラッシング作業の小テスト実施。犬を毛玉、毛づつまはきおかない状態にできる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第19,20,21回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑤(4人1組)「バリカン作業」	4人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。バリカン作業の小テスト実施。犬の足裏・肛門回り・腹部のバリカン作業ができる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第22,23,24回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑥(4人1組)「時間内での作業遂行」	4人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。5時間以内でベーシックケアの作業ができる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第25,26,27回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑦(3人1組)「3人1組での実践」	3人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。5時間以内でベーシックケアの作業ができる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第28,29,30回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑧(3人1組)「爪切り」	3人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。爪切り作業の小テスト実施。適切な長さの爪切り、やすりがけを行うことができる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第31,32,33回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑨(3人1組)「シャンプー・肛門腺」	3人1組で犬1頭のベーシック作業を行う。シャンプー作業・肛門腺処置の小テスト実施。犬を全身の汚れがなく、肛門腺の絞り残がない状態にできる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第34,35,36回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑩(2人1組)「少人数でのベーシックケア」	2人1組で犬1頭のベーシックケア作業を行う。5時間以内でベーシック作業を終えられる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第37,38,39回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑪(2人1組)「少人数でのベーシックケア 応」	2人1組で犬1頭のベーシックケア作業を行う。4時間半以内でベーシック作業を終えられる。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第40,41,42回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑫(成績判定試験)	ベーシックケア(一般身体検査～バリカン作業)が実施できる。15項目の採点項目うち、8項目以上を得点する事が出来る。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
第43,44,45回	○月○日	グルーミング実習Ⅰ⑬(成績判定試験)	ベーシックケア(一般身体検査～バリカン作業)が実施できる。15項目の採点項目うち、10項目以上を得点する事が出来る。				PowerPOINT『トータルケア実習Ⅰ』	
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								21
成績判定試験：第40回～45回の2週に渡って実施。40点満点の減点方式、2回分の平均点を単位認定試験の点数とする。 確認テスト：全4回実施 第16～18回目(7点)第19～21回目(8点)第28～30回目(8点)第31～33回目(7点) 授業態度：減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点) 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位	3位			1位	40	秀(S)：100点～90点
②確認テスト		2位	2位			1位	30	優(A)：89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可(D)：69点～60点
⑤作品							なし	不可(E)：59点以下
⑥出席					1位		10	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	小林 永実	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	小林 永実
				実務経験紹介	

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	トータルケア実習Ⅱ		学科名 ² (コース名)	動物看護科			学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	3	時間数 ⁹	90	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 ¹¹ (全コマ数を俯瞰して)	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。							
科目の到達目標 ¹² (教育課程の位置づけ)	内科診療に必要な補助や手技など学んできたことを実践的に実行する力を身につけることができる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。トータルケア実習Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第3版 EDUWEARPress出版			教材名 ¹⁵	PowerPoint【トータルケア実習Ⅱ】(授業担当教員)			
設備名・機器名 ¹⁶	スクリーン、プロジェクター、実習犬、ドッグマンション、ドッグバス、トリミング台			関連サイト ¹⁷	一般社団法人全日本動物専門教育協会 https://www.zennitido.com			
関連前科目 ¹⁸	トータルケア実習Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	-			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.0

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1, 2, 3回	○月○日	授業概要/動物病院の顧客について/動物の健康診断実施①	授業概要、動物病院の顧客確保について説明し、校内での動物の健康診断を行う準備をする。動物病院での顧客確保の必要性を理解し、顧客を確保するにはどうしたらいいか考えることができる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅱ】第1回
第4, 5, 6回	○月○日	動物の健康診断実施②	動物の健康診断を行う準備をする。下級生に健康診断案内を実践し、5段階の満足度のうち3段階以上の評価を得ることができる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅱ】第1回
第7, 8, 9回	○月○日	動物の保定実践(猫)	猫の保定の方法について説明。猫の保定実践を行う。処置者、看護動物に怪我無く保定が実施できる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅱ】第7回目
第10, 11, 12回	○月○日	動物の保定実践(犬)	犬の保定方法について説明。犬の保定実践を行う。犬の可動域を考え処置がスムーズにできるように考え実践的な保定ができる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅱ】第7回目
第13, 14, 15回	○月○日	グルーミング実習Ⅱ①	犬のグルーミングを行う。3人1組で5時間以内にすべてのグルーミング作業を終わらせることができる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅰ】第1回
第16, 17, 18回	○月○日	グルーミング実習Ⅱ②	実践的に犬のグルーミングを行う。3人1組で4時間以内にすべてのグルーミング作業を終わらせることができる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅰ】第1回
第19, 20, 21回	○月○日	血液検査, 尿検査, 便検査の総復習	実践的な検査の復習を行う。3時間以内に検査結果を出すことができる。用意された検体量で指示されたすべての検査が実施できる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第3版 EDUWEARPress出版
第22, 23, 24回	○月○日	輸液管理, 薬剤吸引等の総復習	血管確保、ルート確保の準備実践。薬剤の吸引説明。処置に必要な準備が過不足なく行うことができる。獣医師が指示した正しい量の薬剤の吸引ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第3版 EDUWEARPress出版
第25, 26, 27回	○月○日	X線検査のポジショニング, 神経学的検査の実践	X線検査のポジショニングの取り方、神経学的検査の説明。X線撮影時に動物にストレスを考慮して正しい撮影ポジショニングの保定ができる。神経学的検査の種類、やり方を知り、必要な準備ができる。	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第3版 EDUWEARPress出版
第28, 29, 30回	○月○日	グルーミング実習Ⅱ③	実践的に犬のグルーミングを行う。2人1組で4時間以内にすべてのグルーミング作業を終わらせることができる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅰ】第1回
第31, 32, 33回	○月○日	エキゾチックアニマルの保定(実践)	エキゾチックアニマルの保定方法を種類別に説明。動物のストレスに配慮して正しい保定を行うことができる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅱ】第1回
第34, 35, 36回	○月○日	動物の健康診断を実施する③	健康診断の事前準備。健康診断前に必要な知識、検査手順などを復習する。具体的に健診を行う前の問題点と改善点を出すことができる。	PowerPoint【トータルケア実習Ⅱ】第1回
第37, 38, 39回	○月○日	成績判定試験(健康診断の実施)	在校生の動物に対し健康診断を行う。顧客満足度、動物の扱い、検体の取り扱いなどを評価。顧客満足度を上げるために4時間以内にすべての作業を終わらせることができる。	-
第40, 41, 42回	○月○日	成績判定試験(実技試験)	検査学、内科看護学実習の授業内で行った内容ができるか評価。10分以内に指定された検査、処置が行える。	-
第43, 44, 45回	○月○日	成績判定試験の振り返り	成績判定試験の振り返り。健康診断実施後問題点が改善できていたか、できなかった場合何が問題だったかを具体的に出すことができる。	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.1

成績判定試験:第37回~第42回目の授業内で実施。
課題レポート:第4, 5, 6回目 健康診断の案内(3点) 第10, 11, 12回目 犬の保定改善課題(3点) 第37, 38, 39回目 健診前改善課題(3点) 第43, 44, 45回 健診後課題(3点)
授業態度:減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点。課題の提出ができていない場合も3点減点)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位			3位	60	秀(S):100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点	
③課題レポート	2位	1位				15	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点	
⑤出席				1位		10	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	小林 永実	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	小林 永実
				実務経験紹介	-

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	愛玩動物看護師試験対策Ⅰ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	愛玩動物看護師国家試験合格を目的とした3年間のコアカリキュラム内容全ての総復習となる科目。 国家試験問題の解きなおしを通して自身の苦手分野の克服、他者へ国家試験問題の解説・説明を通して理解を深める。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	愛玩動物看護師国家試験の合格ライン(必須問題正答率70%以上、一般・実地問題正答率60%以上)を超える事が出来る。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	愛玩動物看護師国家試験完全対策問題集 EDUWARD Press出版			教材名 ¹⁵	EDUONECBT、PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅰ」(授業担当 教員作)、小テスト(授業担当教員作)、確認テスト(授業担当 教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	動物看護師統一認定機構 https://www.ccrvn.jp/index.html			
関連前科目 ¹⁸	愛玩動物看護師コアカリキュラム科目全て			関連後科目 ^{18,19}	愛玩動物看護師国家試験対策Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要/国試受験までの流れ・合格点について/国試過去問解きなおし①	国家試験の合格点数が何点が答えられる。 国試過去問を時間内に解く事が出来る。 1,2年生で勉強した分野の国試過去問の正答率が60%を超える事が出来る。	・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅰ 第1回」
第2回	○月○日	国試過去問解きなおし②	1,2年生で勉強した分野の国試過去問の正答率が60%を超える事が出来る。 間違えた問題の間違えた理由を自身で分析できる。	-
第3回	○月○日	今後の授業の流れについて/正答率が低い問題の解説	正答率の低い問題の解説を聞き、問題を解くときのポイントを知り、問題の直しを行う事が出来る。	・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅰ 第3回」
第4回	○月○日	EDUONECBTの活用について/細胞小器官について	国試問題に出題されやすい細胞小器官に関する問題の考察をして、ノートにまとめる事が出来る。	・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅰ 第4回」 ・EDUONECBT
第5回	○月○日	グループワーク(細胞小器官問題の直し・解説)	前回授業でノートにまとめた情報を元に、グループ内で問題の解説を行う事が出来る。	・EDUONECBT ・小テスト(肝臓・腎臓)
第6回	○月○日	グループワーク(肝臓・腎臓に関する問題の直し・解説)	国試問題に出題されやすい腎臓・肝臓に関する問題の考察をして、ノートにまとめる事が出来る。	・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅰ 第6回」 ・EDUONECBT
第7回	○月○日	細胞小器官・腎臓・肝臓の確認テスト/計算問題について	前回授業でノートにまとめた情報を元に、グループ内で問題の解説を行う事が出来る。 計算問題小テストの正答率が60%を超えることができる。	・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅰ 第7回」 ・EDUONECBT
第8回	○月○日	国試出題傾向の高い疾病解説	国試問題に出題されやすい疾病に関する問題の考察をして、ノートにまとめる事が出来る。	・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅰ 第8回」 ・EDUONECBT
第9回	○月○日	グループワーク(疾病(内科)に関する問題の直し・解説)	前回授業でノートにまとめた情報を元に、グループ内で内科疾病問題の解説を行う事が出来る。	・EDUONECBT 21.
第10回	○月○日	グループワーク(疾病(外科)に関する問題の直し・解説)	前回授業でノートにまとめた情報を元に、グループ内で外科疾病問題の解説を行う事が出来る。	・EDUONECBT
第11回	○月○日	確認テスト実施(細胞小器官・肝臓・腎臓・疾病)	国試類似問題(細胞小器官・肝臓・腎臓・疾病)の正答率が80%を超える事が出来る。	・確認テスト(細胞小器官・肝臓・腎臓・疾病)
第12回	○月○日	国試過去問解きなおし③(第1,2回授業で使用しなかった過去問)	必須問題70%以上の正答率、一般・実地問題60%以上の正答率で問題を解く事が出来る。	・EDUONECBT
第13回	○月○日	自身が間違えた問題の直し/苦手分野分析	分野分析問題を元に自身の苦手分野を把握し、今後の勉強計画を立てる事が出来る。	・EDUONECBT
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅰ 第15回」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 100問(五肢択一式問題)
課題レポート:第11,12,13回授業を除く各回で課題提出実施(授業にて課題内容・評価方法発信) 課題提出は期限を過ぎるごとに減点。
1日過ぎる-1点、2日過ぎる-2点、3日過ぎる-3点、4日以降は-5点減点とする。
授業態度:10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				40	秀(S):100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点	
③課題レポート	2位		1位			40	良(B):79点~70点	
④授業態度		2位		1位		10	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥出席			1位			10		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太
				実務経験紹介	-

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	愛玩動物看護師試験対策Ⅱ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年	3. 3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	愛玩動物看護師	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物看護師国家試験合格を目的とした3年間のコアカリキュラム内容全ての総復習となる科目。 国家試験問題の解きなおしを通して自身の苦手分野の克服、他者へ国家試験問題の解説・説明を通して理解を深める。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	愛玩動物看護師国家試験の合格ライン(必須問題正答率70%以上、一般・実地問題正答率60%以上)を超える事が出来る。							
受講条件	動物看護科に在籍している、愛玩動物看護師試験対策Ⅰの単位取得							
教科書名	愛玩動物看護師国家試験完全対策問題集 EDUWARD Press出版			教材名 ¹⁵	EDUONECBI、PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ」(授業担当 教員作)、小テスト(授業担当教員作)、確認テスト(授業担当 教員作)			
設備名・機器名	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	動物看護師統一認定機構 https://www.ccrvn.jp/index.html			
関連前科目 ¹⁸	愛玩動物看護師コアカリキュラム科目全て、愛玩動物看護師試験対策Ⅰ			関連後科目 ^{18,19}	なし			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	この授業について・予備試験問題解きなおし①(第2回必須、第3回必須)	予備試験過去問を時間内に解く事が出来る。 1,2年生、3年生前期で勉強した分野の予備試験過去問の正答率が60%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第1回」 ・第2,3回予備試験過去問	
第2回	○月○日	予備試験問題解きなおし②(第2回必須、第3回必須)	1,2年生、3年生前期で勉強した分野の予備試験過去問の正答率が60%を超える事が出来る。 間違えた問題の間違えた理由を自身で分析できる。				・第2,3回予備試験過去問	
第3回	○月○日	今後の授業の流れについて/正答率が低い問題の解説	正答率の低い問題の解説を聞き、問題を解くときのポイントを知り、問題の直しを行う事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第3回」 ・EDUONECBI	
第4回	○月○日	対策講座(肝臓・腎臓)	対策講座受講後、国試類似問題(腎臓・肝臓)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第4回」 ・EDUONECBI	
第5回	○月○日	予備試験問題解きなおし(第4回必須)	1,2年生、3年生前期で勉強した分野の予備試験過去問の正答率が60%を超える事が出来る。 間違えた問題の間違えた理由を自身で分析し直しをすることができる。				・第4回予備試験過去問	
第6回	○月○日	対策講座(予防医学(外部寄生虫・フィラリア)について)	対策講座受講後、国試類似問題(予防医学(外部寄生虫・フィラリア))の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第6回」 ・EDUONECBI	
第7回	○月○日	2020年度動物看護師統一認定試験の過去問解きなおし	1,2年生、3年生前期で勉強した分野の動物看護師統一認定試験過去問の正答率が60%を超える事が出来る。 間違えた問題の間違えた理由を自身で分析し直しをすることができる。				・2020年度動物看護師統一認定試験	
第8回	○月○日	2020年度動物看護師統一認定試験解説(正答率の低かった問題)	正答率の低い問題の解説を聞き、問題を解くときのポイントを知り、問題の直しを行う事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第8回」 ・EDUONECBI	
第9回	○月○日	対策講座(予防医学(狂犬病予防・混合ワクチン)について)	対策講座受講後、国試類似問題(予防医学(狂犬病予防・混合ワクチン))の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第9回」 ・EDUONECBI	
第10回	○月○日	国試対策模試①実施	国試対策模試の全体正答率が60%を超える事が出来る。				国試対策模試①(必須・一般・実地)「担当教員作成」	
第11回	○月○日	国試対策模試①問題の解説(正答率の低い問題)	正答率の低い問題の解説を聞き、問題を解くときのポイントを知り、問題の直しを行う事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第11回」 ・EDUONECBI	
第12回	○月○日	対策講座(内部寄生虫について)	対策講座受講後、国試類似問題(内部寄生虫)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第12回」 ・EDUONECBI	
第13回	○月○日	対策講座(組織画像について)	対策講座受講後、国試類似問題(組織画像)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第13回」 ・EDUONECBI	
第14回	○月○日	2018年度動物看護師統一認定試験の過去問解きなおし	1,2年生、3年生前期で勉強した分野の動物看護師統一認定試験過去問の正答率が60%を超える事が出来る。 間違えた問題の間違えた理由を自身で分析し直しをすることができる。				・2018年度動物看護師統一認定試験	
第15回	○月○日	2018年度動物看護師統一認定試験解説(正答率の低かった問題)	正答率の低い問題の解説を聞き、問題を解くときのポイントを知り、問題の直しを行う事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第15回」 ・EDUONECBI	
第16回	○月○日	対策講座(動物栄養学Ⅰ)	対策講座受講後、国試類似問題(動物栄養学Ⅰ)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第16回」 ・EDUONECBI	
第17回	○月○日	対策講座(動物栄養学Ⅱ)	対策講座受講後、国試類似問題(動物栄養学Ⅱ)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第17回」 ・EDUONECBI	
第18回	○月○日	対策講座(外科器具について)	対策講座受講後、国試類似問題(外科器具)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第18回」 ・EDUONECBI	
第19回	○月○日	対策講座(麻酔モニター項目)	対策講座受講後、国試類似問題(麻酔モニター項目)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第19回」 ・EDUONECBI	
第20回	○月○日	対策講座(基礎解剖まとめ)	対策講座受講後、国試類似問題(基礎解剖)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第20回」 ・EDUONECBI	
第21回	○月○日	国試対策模試②実施	国試対策模試の全体正答率が70%を超える事が出来る。				国試対策模試②(必須・一般・実地)「担当教員作成」	
第22回	○月○日	国試対策模試②問題の解説(正答率の低い問題)	正答率の低い問題の解説を聞き、問題を解くときのポイントを知り、問題の直しを行う事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第22回」 ・EDUONECBI	
第23回	○月○日	対策講座(微生物・細胞)	対策講座受講後、国試類似問題(微生物・細胞)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第23回」 ・EDUONECBI	
第24回	○月○日	対策講座(動物臨床検査学①(UT・FT・FNA))	対策講座受講後、国試類似問題(動物臨床検査学①(UT・FT・FNA))の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第24回」 ・EDUONECBI	
第25回	○月○日	対策講座(動物臨床検査学②(BT))	対策講座受講後、国試類似問題(動物臨床検査学②(BT))の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第25回」 ・EDUONECBI	
第26回	○月○日	対策講座(ホルモンまとめ)	対策講座受講後、国試類似問題(ホルモン)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第26回」 ・EDUONECBI	
第27回	○月○日	対策講座(動物薬理学)	対策講座受講後、国試類似問題(動物薬理学)の正答率が90%を超える事が出来る。				・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第27回」 ・EDUONECBI	
第28回	○月○日	試験前総復習(グループワーク)	グループワークを通して、学生同士で苦手分野の問題解説、まとめを行い、成績判定試験の正答率が80%を超える事が出来る。				・EDUONECBI	

2025年度シラバス

第29回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-				
第30回	○月○日	成績判定試験内容 解説	成績判定試験の内容をグループにて解説	・PowerPoint「愛玩動物看護師試験対策Ⅱ 第30回」				
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.								
成績判定試験：第29回の授業内で実施(50分間) 100問(五肢択一式問題) 課題レポート：第28,29,30回授業を除く各回で課題提出実施(授業にて課題内容・評価方法発信) 課題提出は期限を過ぎるごとに減点。 1日過ぎる-1点、2日過ぎる-2点、3日過ぎる-3点、4日以降は-5点減点とする。 授業態度：10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点) 出席：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀(S)：100点~90点
②確認テスト							なし	優(A)：89点~80点
③課題レポート		2位		1位			20	良(B)：79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D)：69点~60点
⑤作品							なし	不可(E)：59点以下
⑥出席				1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	キャリアデザインⅠ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 個人ワーク・グループワークを通して、自分と他人の価値観の違いを知り受け入れる。就職活動をしていくにあたって必要とされる、求人票の見方や履歴書の書き方、ビジネス電話の掛け方を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 一人ひとりが自分のキャリアの方向性を主体的に定めることができる。2年次から就職活動を進めていくにあたって、自分自身が就職先を選ぶにあたって重要視するところが明確に決まっている。							
受講条件	13 動物看護科に在籍している							
教科書名	14 就活NAVIノート			教材名 ¹⁵	PowerPoint「キャリアデザインⅠ」(授業担当教員作)、レポート提出用Googleスプレッドシート			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本経済団体連合会 https://www.keidanren.or.jp/			
関連前科目	18 特になし			関連後科目 ^{18,19}	キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要/専門学校と今までの学校との違い	学校が社会の縮図であることを知り、今後の学校生活を社会人として行動できる3年後どんな人物になりたいかの目標をたてることのできる	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第1回」
第2回	○月○日	主体性とは	自主性と主体性の違いについて、主体性の必要性を説明。自主性と主体性の違いを知り、主体的に考え目標を達成するにはどうしたらいいか考えることができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第2回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第3回	○月○日	ネットリテラシーについて	ネットリテラシーの重要性を理解し、SNSツールを使用する事が出来る。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第3回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第4回	○月○日	計画立案	1年後の目標設定をしてPDCAサイクルをもとに計画立案ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第4回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第5回	○月○日	報連相の仕方・重要性	社会人に必要な報告・連絡・相談について説明。報連相の重要性を知り、相手に合わせた報告の仕方を行うことができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第5回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第6回	○月○日	語彙力について	社会人に必要な語彙力の必要性を学び、グループワークを通して相手に伝わる説明ができるようになる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第6回」
第7回	○月○日	自己理解① (長所と短所)	自分の長所と短所を相手に説明できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第7回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第8回	○月○日	自己理解② (ストレスとの向き合い方)	自分に合ったストレスコーピングを実践する事が出来る。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第8回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第9回	○月○日	自己理解③/コミュニケーション能力とは	自分がどういう人間なのかを考え伝える事が出来る。ホスピタリティを考えたコミュニケーションを考えグループワークで意見を言い合える。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第9回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第10回	○月○日	他者理解	グループワークを通して、相手との価値観の違いを理解し、コミュニケーションを取ることができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第10回」
第11回	○月○日	ポジティブシンキング	社会人におけるポジティブであることのメリットを説明。ポジティブになるために能動的な考え方ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第11回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第12回	○月○日	メールの送信・返信について	ビジネスメールの送信・返信について説明。状況に合わせたビジネスメールを送信することができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第12回」
第13回	○月○日	就職先を考える/求人票の見方	就職先を考えるにあたり求人票の見方を学ぶ。求人票の見方を学び、自分が求める働き方を考えることができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第13回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第14回	○月○日	電話のかけ方/履歴書・お礼状の動物病院見学に向けて、企業への電話のかけ方や履歴書・お礼状の書き方を知る病院見学に当たり電話でアポを取ることができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第14回」 レポート提出用Googleスプレッドシート	
第15回	○月○日	お金について	お金の重要性や増やし方を学び、計画的な資金運用をする事ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅠ 第15回」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

レポート:全10回Googleスプレッドシートにて実施(第1,6,10,12,15以外)各回4点配点(配点基準は授業内で説明)
 授業態度:20点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
 課題提出:全5回実施、配点は各回6点(評価基準は授業内で説明)
 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀(S):100点~90点
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点
③レポート	2位	3位	1位			40	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点~60点
⑤課題提出	2位		1位		3位	30	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太、小林 永実
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	キャリアデザインⅡ ²			動物看護科 ²			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 ¹¹	個人ワーク、グループワークを通して自分への洞察を深め、仕事全般についての理解を高めて、仕事選択ができるようになる。							
科目の到達目標 ¹²	1. 自分を知る事で「やりたい事」「出来る事」「将来像」を明確にしていく。 2. 希望する企業に自分の強みが伝えられるよう、プレゼンテーション能力を身につける。 3. 社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける ☑☑							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。キャリアデザインⅠの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	就職NAVIノート、未来ノート			教材名 ¹⁵	PowerPoint「キャリアデザインⅡ」（授業担当教員作）			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン、PC			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本経済団体連合会 https://www.keidanren.or.jp/			
関連前科目 ¹⁸	キャリアデザインⅠ			関連後科目 ¹⁹	キャリアデザインⅢ			

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	就職ガイダンス	就活スケジュール、メールの書き方、就職希望調査 (form)	未来ノート PowerPoint
第2回	○月○日	自己理解Ⅰ (大切なもの、ネガポジ)	自分の価値観、また自分自身を「他者に伝える」ことを意識して、「自己イメージ」を言語化・明確化できる。	未来ノート PowerPoint
第3回	○月○日	自己理解Ⅱ (過去を振り返ろう)	過去のライフ・イベントを通して、自分のやる気の根源について理解を深め、今後の進路選択の自己決定の要因になることを理解できる。	未来ノート PowerPoint
第4回	○月○日	自己理解Ⅲ (ジョハリの窓)	「自分から見た自分」と「他人から見た自分」についての気づきを得て、自己理解とより良い人間関係を構築できる。	未来ノート PowerPoint
第5回	○月○日	仕事理解Ⅰ (グループワーク)	動物病院のチラシ作成を通して、自分のコミュニケーション特性を知り、実際の仕事現場に結び付けてる事が出来る	未来ノート PowerPoint
第6回	○月○日	仕事理解Ⅰ (発表)	動物病院のチラシ作成を通して、自分のコミュニケーション特性を知り、実際の仕事現場に結び付けて考え発表できる。	未来ノート PowerPoint
第7回	○月○日	院内実習事前セミナー	実習先でのマナー、注意事項/敬語を再確認する/個人情報シートを作成できる。	実習先でのマナープリント PowerPoint
第8回	○月○日	仕事理解Ⅱ (病院研究)	業界把握や具体的な病院検索の方法を学び、企業研究シートを作成できる。	企業研究シート PowerPoint
第9回	○月○日	仕事理解Ⅲ (ビジネスに必要な3つの意識と義務)	仕事を行う上で大切な仕事の進め方や、身につけておくべき基本的な意識と態度について理解する 【未来ノート提出】	未来ノート PowerPoint
第10回	○月○日	履歴書の書き方	履歴書、就職活動についての書類の書き方を学び自身で履歴書を作成できる	履歴書見本プリント PowerPoint
第11回	○月○日	志望動機の書き方	企業に求められる志望動機の書き方で記入できる。	就活NAVIノート PowerPoint
第12回	○月○日	SMBC金融セミナー (外部講師)	お金の使い方を学び、ライフプランを立てる事ができる。	就活NAVIノート
第13回	○月○日	求人票の見方、年金について	求人票の見方について知る、年金制度の仕組みについて説明できる。	就活NAVIノート PowerPoint
第14回	○月○日	病院研究	グループに分かれて、それぞれの病院の特徴や求人について調べる	就活NAVIノート PowerPoint
第15回	○月○日	病院研究、キャリアマップ登録	前回のグループワークの発表、キャリアマップへ情報を登録する	就活NAVIノート PowerPoint

成績評価方法 21.

総合成績60%点・出席率80%以上
①課題レポート (未来ノート、自己紹介シート、履歴書、志望動機) 60%②グループワーク、発表 (チラシ作成、病院研究) での評価20%③授業態度20% (動怠状況) を勘案して総合評価を行う

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト						なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート		2位	1位			60	良 (B) : 79点~70点
④授業態度			1位	2位		20	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション				2位	1位	20	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合

シラバス作成者	土井 宏美	シラバス承認者	澤 智春	授業担当教員	土井 宏美
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	キャリアデザインⅢ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年	3. 3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 個人ワーク・グループワークを通して、自分と他人の価値観の違いを知り受け入れる。就職活動をしていくにあたって必要とされる、求人票の見方や履歴書の書き方、ビジネス電話の掛け方を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 一人ひとりが自分のキャリアの方向性を主体的に定めることができる。2年次から就職活動を進めていくにあたって、自分自身が就職先を選ぶにあたって重要視するところが明確に決まっている。							
受講条件	13 動物看護科に在籍している、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡの単位取得							
教科書名	14 就活NAVIノート			教材名 ¹⁵	PowerPoint「キャリアデザインⅢ」(授業担当教員作)、レポート提出用Googleスプレッドシート			
設備名・機器名	16 プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本経済団体連合会 https://www.keidanren.or.jp/			
関連前科目	18 キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要/ネットリテラシーについて	学校が社会の縮図であることを知り、残りの学校生活を社会人として行動できるインターネット利用におけるリスクとマナーを理解し、安全かつ適切に情報発信・受信ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第1回」
第2回	○月○日	社会人とは	社会人として求められる心構えや責任感を理解し、行動に反映できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第2回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第3回	○月○日	コミュニケーション能力とは	コミュニケーションの基本要素を理解し、動物看護師として状況に応じて適切な表現や傾聴ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第3回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第4回	○月○日	計画立案	目的に応じた目標を設定し、現実的で実行可能なスケジュールや行動計画を立案できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第4回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第5回	○月○日	他者理解～価値観の違いを受け入れる～	自分と他者の価値観の違いを理解し、相互理解を深める対応ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第5回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第6回	○月○日	文章構成・正しい日本語の使い方について	正しい文法と語彙を用いて、分かりやすく論理的且つ簡潔な文章を構成できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第6回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第7回	○月○日	動物病院におけるビジネスメールの送信・返信	ビジネスに適した敬語と書式を用いて、目的に応じたメールの送信・返信ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第7回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第8回	○月○日	動物病院での報連相の重要性	報告・連絡・相談の役割と重要性を理解し、愛玩動物看護師として円滑な業務遂行のために適切に活用できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第8回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第9回	○月○日	報連相の仕方	状況や相手に応じて、アンチクライマックス法を用いて報告・連絡・相談ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第9回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第10回	○月○日	自己理解①～長所・短所～	自分自身の性格や特性(長所・短所)を把握し、今後の課題や目標に活かすことができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第10回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第11回	○月○日	ストレスとの向き合い方	自分のストレス傾向を理解し、適切な対処法を選択・実践できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第11回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第12回	○月○日	受付対応・クレーム処理について	来客対応やクレーム時の適切な言動を理解し、相手に配慮した応対ができる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第12回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第13回	○月○日	ビジネス電話について	電話応対の基本マナーや言葉遣いを理解し、実践できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第13回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第14回	○月○日	ビジネスマナーについて	社会人としての基本的なマナー(挨拶、身だしなみ、時間厳守等)を理解し、行動に反映できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第14回」 レポート提出用Googleスプレッドシート
第15回	○月○日	お金の増やし方	社会人として必要な金銭管理の基礎を理解し、収支のバランスを考えた資産形成の方法を説明できる。	PowerPoint「キャリアデザインⅢ 第15回」 レポート提出用Googleスプレッドシート

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

レポート: 全15回Googleスプレッドシートにて実施。各回4点配点(配点基準は授業内で説明)
 授業態度: 10点満点減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
 課題提出: 全5回実施(第4.6.7.11.13)、配点は各回6点(評価基準は授業内で説明)
 出席: 0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀(S): 100点~90点
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点
③レポート	2位	3位	1位			60	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D): 69点~60点
⑤課題提出	2位		1位		3位	20	不可(E): 59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	佐藤 萌美、大井 剛
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	ボランティア活動Ⅰ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	京都動物愛護センターが実施している子猫の「一時預りボランティア」に授業として参画し、今まで学んできた動物看護の知識を用いて、その子猫のために何が出来るかを考え、実践することで社会貢献に寄与する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	<ul style="list-style-type: none"> ・子猫の一時預りボランティアを通して、子猫の適正飼養について理解する。 ・子猫の一時預りボランティアを通して、情報共有の難しさを知り、より良い情報共有の仕方を確立する事が出来る。 							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	特になし			教材名 ¹⁵	資料配布(京都動物愛護センター制作)、Google「スプレッドシート」、「Googleフォーム」			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	-			関連後科目 ^{18,19}	ボランティア活動Ⅱ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概論	仔猫を預かるにあたり注意事項を説明。子猫を預かるうえでの注意事項、ボランティア活動の目的を説明できる。	PowerPoint「猫の一時預りボランティア 講習会」
第2回	○月○日	計画立案	チームで行うことのメリット、デメリットを考え、グループ決めるを行う。グループごとの役割を考えそれに沿った目標を立てることができる。目標に対しての計画を立てることができる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第3回	○月○日	計画立案中間報告発表	目標を達成するための計画立案を各班報告する。目標に向けた計画の問題点を抽出できる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第4回	○月○日	計画立案最終発表	進捗状況の報告実施。目標達成のための問題点に対して改善を行い準備を行うことができる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第5回	○月○日	ボランティア活動準備	上級生のボランティア活動の見学。上級生のボランティア活動を見て自分たちのクラスの改善点をあげることができる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第6回	○月○日	ボランティア活動開始①	動物看護技術を用いてボランティア活動を実施する。環境が変化することによって起こる子猫の状態変化に気付く事が出来る。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第7回	○月○日	ボランティア活動開始②	動物看護技術を用いてボランティア活動を実施する。子猫の状態変化に対する対応策を立案、実施する事が出来る。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第8回	○月○日	ボランティア活動開始③	ボランティア活動の中間報告をする。子猫の成長に伴い食事量変化するため、カロリー計算を用いて適切に食餌量を管理できる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第9回	○月○日	ボランティア活動開始④	動物看護技術を用いてボランティア活動を実施する。子猫の適切な社会化を行うための計画を立案し、実施する事が出来る。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第10回	○月○日	ボランティア活動中間報告会	ボランティア活動の中間報告をする。グループ・個人ごとで問題点を抽出し改善点を出すことができる。クラス全体へ問題点の共有と改善点の方向性を定めることができる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第11回	○月○日	ボランティア活動開始⑤	動物看護技術を用いてボランティア活動を実施する。中間振り返りで出てきた問題点の改善を実際の飼育を通して行う事が出来る。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第12回	○月○日	ボランティア活動開始⑥	動物看護技術を用いてボランティア活動を実施する。中間振り返りで立てた改善方法の方向性があっていたかどうか子猫の飼育を通して客観的に判断できる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第13回	○月○日	ボランティア活動開始⑦	動物看護技術を用いてボランティア活動を実施する。今回の子猫の一時預りボランティアを通してでてきた改善箇所と良かった事をまとめ、この授業の意義を下級生に伝えることができる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第14回	○月○日	ボランティア活動後片付け	使用した教室・設備・備品を整理整頓する。教室、備品の状態が使い始めより綺麗な状態にすることができる。	Googleスプレッドシート(子猫の一時預りボランティア)
第15回	○月○日	最終評価/この授業を終えて	ボランティア活動の目標達成ができていたかどうか評価する。グループ・個人ともに問題点とその改善点を出すことができる。	Googleフォーム(子猫の一時預りボランティアを通して)

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) 21.

課題レポート:事前報告、中間報告、事後報告で実施。指定した報告日時までに報告できてから評価(詳細な基準は授業内に説明)
 授業態度:減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点。)
 以上、出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀(S):100点~90点
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点
③課題レポート	3位	1位	2位			60	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		30	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			2位	1位		10	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再履修

シラバス作成者	小林 永実	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太、小林 永実
				実務経験紹介	-

更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	ボランティア活動Ⅱ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	京都動物愛護センターが実施している子猫の「一時預りボランティア」に授業として参加し、今まで学んできた動物看護の知識を用いて、その子猫のために何が出来るかを考え、実践することで社会貢献に寄与する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	<ul style="list-style-type: none"> 子猫の一時預りボランティアを通して、情報共有の難しさを知り、より良い情報共有の仕方を確立する事が出来る。 子猫の一時預りに関わる基本的な飼養管理(給餌・排泄・体調管理)を実践できる。 観察に基づいた健康チェック(体温測定・便尿の観察・異常の早期発見)を行い、適切に対応できる。 子猫の発育段階や健康状態に応じた環境整備(保温・衛生・安全)を行うことができる。 							
受講条件	動物看護科に在籍している。ボランティア活動Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	なし			教材名 ¹⁵	PowerPoint「猫の一時預りボランティア」(京都動物愛護センター制作)、Google「スプレッドシート」、「Googleフォーム」			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	ボランティア活動Ⅰ			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	事前学習①(授業概要)	仔猫を預かるにあたり、このボランティア活動の達成目標を説明できる。	PowerPoint「猫の一時預りボランティア 講習会」
第2回	○月○日	事前学習②(自分たちでできること)	クラス全体で動物看護の知識を元に社会貢献で何が出来るか考え、計画立案ができる。	Google「スプレッドシート」 使用
第3回	○月○日	事前学習③(計画中間報告発表)	各グループ役割を設定し、クラス全体に各グループが計画立案を中間発表する。	Google「スプレッドシート」 使用
第4回	○月○日	事前学習④(計画最終発表)	各グループ役割を設定し、クラス全体に各グループが計画立案を最終確認し万全の状態の子猫を迎え入れる事が出来る。	-
第5回	○月○日	活動実施①(子猫の健康状態チェック)	動物看護技術を用いてボランティア活動を実施する。預かり開始時の子猫の健康状態のチェックを行い、個体ごとに必要とされる対応を実施する事が出来る。	Google「スプレッドシート」 使用
第6回	○月○日	活動実施②(子猫の経過観察)	預かり開始時と現在の子猫の状態を比較して、今後の活動の方向性を決める事が出来る。	Google「スプレッドシート」 使用
第7回	○月○日	活動実施③(問題点の追及)	動物看護技術を用いてボランティア活動を実施し、クラス全体の疑問点を見出す事が出来る。	Google「スプレッドシート」 使用
第8回	○月○日	中間報告会実施	ボランティア活動の中間報告をする。問題点があれば改善点を立案する事が出来る。	Google「スプレッドシート」 使用
第9回	○月○日	活動実施④(中間報告会後のボランティア活動実施)	報告されたクラス全体の問題点、反省点に対する改善策を活動に反映させることができる。	Google「スプレッドシート」 使用 ²¹
第10回	○月○日	活動実施⑤(下級生に対する活動指導計画作成)	動物看護師として下級生に適正指導、生活環境を指導しながら活動を行う。下級生にボランティア活動の流れを指導ができる。	Google「スプレッドシート」 使用
第11回	○月○日	活動実施⑥(下級生に対する活動指導実施①)	下級生への引き継ぎ内容の優先順位を立て活動指導を行う事が出来る。	Google「スプレッドシート」 使用
第12回	○月○日	活動実施⑦(下級生に対する活動指導実施②)	下級生への引き継ぎ内容で下級生からの質問に全て対応する事が出来る。	Google「スプレッドシート」 使用
第13回	○月○日	活動実施⑧(下級生に授業意義を伝える)	縦割りの取り組みを通じて、この授業の意義や幼齢動物の管理の難しさを下級生に伝えることができる。	Google「スプレッドシート」 使用
第14回	○月○日	ボランティア活動後片付け	標準予防策に基づいた後片付けを行う事が出来る。	Google「スプレッドシート・Googleフォーム」 使用
第15回	○月○日	最終評価/この授業を終えて	ボランティア活動の目標が達成できていたか評価を行う。問題点があれば改善点を話し合い今後のボランティア活動授業に活かせる、申し送りを作成できる。	Google「スプレッドシート」 使用

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ²¹

課題レポート: 事前報告、中間報告、事後報告で実施。指定した報告日時までに報告できると評価(内容評価など詳細な基準は授業内にて説明)
 授業態度: 減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点。)
 以上、出席率80%であることを合格基準とする。

判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験						なし	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点	
③課題レポート		2位	1位			60	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		30	可(D): 69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下	
⑥出席			1位	2位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再履修

シラバス作成者	高砂 珠乃	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高砂 珠乃、西田 沙季
更新履歴				実務経験紹介	-

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	損害保険学		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	15	該当資格名称 ¹⁰	損害保険募集人資格 基礎単位	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	ペット保険及び損害保険募集人に関する内容を覚える。 アニコム損害保険の合格レベル、知識を覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	ペット保険及び損害保険募集人に関する内容を覚え、損害保険募集人資格取得ができる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年			教材名 ¹⁵	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	アニコム損害保険株式会社 https://www.anicom-sompo.co.jp/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	アニコム損害保険講習会①	損害保険の基礎知識(仕組み・役割・保険原理)について。損害保険の基本的な仕組みと社会的役割、保険の原理を説明できる。	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年
第2回	○月○日	アニコム損害保険講習会②	保険契約と保険法について。保険契約の流れ、告知義務、保険法上の時効などについて説明できる。	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年
第3回	○月○日	アニコム損害保険講習会③	火災保険の内容と特徴について。火災保険で補償される内容、対象、免責事項について説明できる。	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年
第4回	○月○日	アニコム損害保険講習会④	自動車保険の基本と種類について。自賠責保険と任意保険の違いや主な補償内容について説明できる。	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年
第5回	○月○日	アニコム損害保険講習会⑤	傷害・疾病保険の基本について。傷害保険・疾病保険の仕組みと対照なるリスクを説明できる。	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年
第6回	○月○日	アニコム損害保険研修①	損害保険募集人資格取得に向けて模擬試験演習と解説実施。過去問を通して自身の理解度を把握し弱点を補強できる。	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年
第7回	○月○日	アニコム損害保険研修②	損害保険募集人資格取得に向けて、試験の重要ポイントのまとめ。試験前に総復習を行いさらに弱点を見つけ補強を行うことができる。	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年
第8回	○月○日	アニコム損害保険募集人資格試験	損害保険募集人資格基礎単位資格試験実施。試験に合格し資格を取得できる。	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 資格試験である「損害保険募集人資格基礎単位」の点数を元に成績判定試験80%の点数を算出
 授業態度: 減点方式(遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点)
 出席: 10%
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				80	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		10	可(D): 69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下	
⑥出席			1位			10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再履修

シラバス作成者	小林 永実	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	丸山 圭太、小林 永実
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	基本IT技術 I		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	演習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	コンピュータを利用したITマナーについて学習。 必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習・習得する。 必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	①コンピュータの基礎を理解し、メールやフォルダの作成ができるようにする。 ②アプリの操作を学習し、ビジネスデータや伝わりやすく汎用性のあるデータを作成ができるようにする。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。							
教科書名 ¹⁴	Word 2021 クイックマスター<基本編> Power Point 2021 クイックマスター Excel 2021 クイックマスター<基本編>			教材名 ¹⁵	教員作成の教材データを適宜配布			
設備名・機器名 ¹⁶	256教室 デスクトップパソコン			関連サイト ¹⁷	ポートフォリオ https://sites.google.com/yic-kyoto.ac.jp/kihonit			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ^{18,19}	基礎IT技術II			

授業計画 (授業コマ単位) ²⁰				
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1.2回	○月○日	ガイダンス・コンピュータの基本操作	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明および進め方 ITリテラシー講義：前半 ログイン、課題提出の仕方・メールの基礎知識について説明することができる。	-
第3.4回	○月○日	コンピュータの基本操作・ビジネス文書の作成	ITリテラシー講義：後半 テキストサンプルデータ準備 Wordの画面構成と文字入力ができる。	Wordテキスト Chapter1
第5.6回	○月○日	書式設定	ビジネス文書作成 IMEパッド・段落・ページ設定ができる。	Wordテキスト Chapter2
第7.8回	○月○日	基本動作設定	グローバルショートカット・書式設定・フォントについて設定できる。	Wordテキスト Chapter3
第9.10回	○月○日	体裁構成の基礎知識	行間・段落間、インデントについて、字下げ・ぶら下げ・禁則処理などの設定ができる。	Wordテキスト Chapter3
第11.12回	○月○日	印刷とPDF	印刷およびPDFへのエクスポートができる。	Wordテキスト Chapter4
第13.14回	○月○日	タブとリーダー ビジネス文章の作成例	タブとリーダーの操作方法を説明できる。 価格表・メニュー表の作成ができる。	Wordテキスト Chapter5
第15.16回	○月○日	表の作成 基本操作	表の作成 文字列から表の作成方法とCSVとの関係性を説明できる。	Wordテキスト Chapter6
第17.18回	○月○日	表の作成 応用操作とオブジェクト挿入	図形、テキストボックスの作成・編集ができる。	Wordテキスト Chapter7 ²¹
第19.20回	○月○日	総合演習問題	総合演習問題作成を作成できる。	総合演習問題
第21.22回	○月○日	総合演習 応用問題	総合演習応用問題作成を作成できる。	総合演習問題/配布問題資料
第23.24回	○月○日	PowerPoint基本操作	試験課題・Word試験データ作成の実施	-
第25.26回	○月○日	試験課題・Word試験データ提出・基礎問題試験実施	試験課題・Word試験データ提出・基礎問題試験実施と解答、解説	-
第27.28回	○月○日	効果的なプレゼンテーションデータの作成とは	ブレースフォルダーの扱いと概念整理を説明できる。	PowerPointテキスト Chapter1,2,3
第29.30回	○月○日	文字やスライドの編集 オブジェクトの作成	テキストのレベル分けと各オブジェクトの概念と操作ができる。	PowerPointテキスト Chapter4,5

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ²¹							
単位認定試験：70%分 (試験内容・評価基準は授業内にて説明) 確認テスト：10%分 (試験内容・評価基準は授業内にて説明) 授業態度：30点満点減点方式 (遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点) 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	評価基準
①成績判定試験	2位				1位	70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト	2位				1位	10	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート						なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				1位		30	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補講・再試験

シラバス作成者	吉野 正巳	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	吉野 正巳
				実務経験紹介	-

更新履歴	シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	基本IT技術Ⅱ		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	演習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	コンピュータを利用したITマナーについて学習。 必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習・習得する。 必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	①コンピュータの基礎を理解し、メールやフォルダの作成ができるようにする。 ②アプリの操作を学習し、ビジネスデータや伝わりやすく汎用性のあるデータを作成ができるようにする。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。基本IT技術Ⅰの単位取得。							
教科書名 ¹⁴	Word 2021 クイックマスター<基本編> Power Point 2021 クイックマスター Excel 2021 クイックマスター<基本編>			教材名 ¹⁵	教員作成の教材データを適宜配布			
設備名・機器名 ¹⁶	256教室 デスクトップパソコン			関連サイト ¹⁷	PowerPoint作品集 https://sites.google.com/yic-kyoto.ac.jp/2024ppcm/			
関連前科目 ¹⁸	基本IT技術Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	-			

授業計画 (授業コマ単位)					20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標		使用教科書・教材
第1回	○月○日	表やグラフの作成 表示効果とハイパーリンク	表やグラフの挿入と画面切り替え・アニメーション効果の取り扱いができる。		PowerPointテキスト Chapter5.6
第2回	○月○日	プレゼンテーション作成	指示された試験課題を作成する事が出来る。		配布資料データ
第3回	○月○日	プレゼンテーション作成と提出	指示された試験課題作成と提出が出来る。		配布資料データ
第4回	○月○日	プレゼンテーション	作成したデータをもとに評価基準に則ったプレゼンテーションができる。		
第5回	○月○日	プレゼンテーション	作成したデータをもとに評価基準に則ったプレゼンテーション評価ができる。		
第6回	○月○日	Excelの基本 (プレゼンテーション予備日)	Excelの基本概念と画面の構成およびデータ・数式の入力ができる。		Excelテキスト Chapter1
第7回	○月○日	インデント・タブとリーダー	オートフィル・左右インデントの概念と操作ができる。		Excelテキスト Chapter2
第8回	○月○日	相対・絶対・複合参照応用	相対・絶対・複合参照の応用演習ができる。		Excelテキスト Chapter2
第9回	○月○日	表の編集・ブックの印刷	表の作成・編集と体裁操作について説明できる。		Excelテキスト Chapter3.4 ^{21.}
第10回	○月○日	ブックの印刷	ブックの印刷時の取り扱いおよびPDF・CSVの概念について説明できる。		Excelテキスト Chapter3.4
第11回	○月○日	グラフの作成	グラフの作成・編集と操作ができる。		Excelテキスト Chapter5.6
第12回	○月○日	オブジェクトの作成 ワークシートの管理	図形・ワードアートなどのオブジェクトの作成 ワークシートの管理・ウィンドウの操作ができる。		Excelテキスト Chapter5.6
第13回	○月○日	関数演習	関数の書式・論理関数を中心とした計算式の論理が説明できる。		Excelテキスト Chapter7 演習問題
第14回	○月○日	関数演習	関数の書式・論理関数を中心とした計算式を組み立てられる。		Excelテキスト Chapter7 演習問題
第15回	○月○日	Excel試験および、PC内データの 整理・削除作業など	基礎問題の答え合わせと解説 及び1年間のデータ整理・削除ができる。		—

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)							21.
成績判定試験：35%分 (試験内容・評価基準は授業内にて説明)							
授業態度：30点満点減点方式 (遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)							
プレゼンテーション：35%分 (第4,5回授業内で実施。評価基準は授業内にて説明)							
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。							
↓判定方法\該当する観点→							
①成績判定試験	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	評価基準
	2位				1位	35	秀 (S) : 100点~90点 優 (A) : 89点~80点 良 (B) : 79点~70点 可 (D) : 69点~60点 不可 (E) : 59点以下
②確認テスト						なし	
③課題レポート						なし	
④授業態度				1位		30	
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション			2位		1位	35	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補講・再試験

シラバス作成者	吉野 正巳	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	吉野 正巳	
更新履歴				実務経験紹介		
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	者(確認者)		
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

2025年度シラバス

科目名 ¹	イベントプロデュース		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	15	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	具体的なイベント活動の企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力をつける。 イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために最高のパフォーマンスを発揮できるよう、イベントのノウハウや、プランニング方法等を実際のイベント運営を通して、具体的に学び、これからのイベントの方向性を探っていく。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	イベントの企画から実際にイベント運営を体験し、制作ノウハウを身につける。 自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し、グループワークで各自が役割に対する責務を果たし、チーム全体の力を発揮することができる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	なし			教材名 ¹⁵	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要/ほりかわ祭について	ほりかわ祭の催し物をクラスで決める。集客を上げるにはどうしたらいいかを考え、クラス内で行える催し物を決めることができる。	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」
第2回	○月○日	ほりかわ祭事前準備①	必要な準備物、具体的な内容を決める。集客・売上を上げるための具体的な催し物内容、役割を決めることができる。	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」
第3回	○月○日	ほりかわ祭事前準備②	役割ごとに計画を立てる。ほりかわ祭に間に合うように準備計画を決め、実行することができる。	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」
第4回	○月○日	ほりかわ祭事前準備③	準備計画の実行を行い、計画通り進めるか評価する。役割ごとに準備の評価を行い、前日準備に必要な物が過不足なく準備できる。	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」
第5回	○月○日	ほりかわ祭前日準備	本番前の最終準備を行う、模擬店・イベントの設営。ほりかわ祭開催にあたり模擬店・イベントの設営ができる。	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」
第6回	○月○日	ほりかわ祭本番①	集客目標の達成のために集客・案内を実施できる。	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」
第7回	○月○日	ほりかわ祭本番②	協調性を持って、模擬店・イベントの開催ができる。	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」
第8回	○月○日	ほりかわ祭 事後学習	集客目標が達成できているかをクラスで振り返り、反省点をまとめることができる。	Googleスプレッドシート「ほりかわ祭出し物」

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

授業態度: 減点方式 (遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点) 課題レポート: 事前学習、事後学習で目標の設定・達成度を評価 (基準に関しては授業内で説明) 課題提出: レポート提出ができてるかどうか							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト						なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート		1位	2位			60	良 (B) : 79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可 (D) : 69点~60点
⑤課題提出				1位		10	不可 (E) : 59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再履修

シラバス作成者	小林 永実	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	小林 永実、丸山 圭太
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	社会常識		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	サービス接遇検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	社会常識について学ぶ。日々の対人関係を円滑にするための基本的スキルの習得。サービス接遇検定3級合格のために必要な知識の習得。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	社会人としての基本的なマナーを身につけ、円滑にコミュニケーションを図れるようになる。 ビジネス電話検定に準じた電話応対ができるようになる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 サービス接遇検定 公式問題集3級 改訂版			教材名 ¹⁵	成績判定試験 五肢択一問題、記述問題 (授業担当教員作)			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	https://jitsumu-ginou-kentei.jp/SV/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ¹⁹	なし			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 サービス接遇接客とは何か	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 サービスの意味、接客とは何かを覚える、効果的な自己紹介の仕方ができる	サービス接遇検定 公式問題集3級 改訂版 P3~P13
第2回	○月○日	サービススタッフの資質① (笑顔練習)	必要とされる要件として、明るさと誠実さ・適切な判断と表現・身だしなみについてを説明する事が出来る。	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P14~P29
第3回	○月○日	サービススタッフの資質② (身だしなみについて)	従業要件として良識をもつ、適切な判断と表現、清潔感について説明する事が出来る。	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P30~P47
第4回	○月○日	専門知識① (身だしなみについて)	サービス知識・サービスの意義・機能・種類を説明する事が出来る。	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P50~P64
第5回	○月○日	専門知識② (新聞記事)	従業知識・商業用語・経済用語を説明する事が出来る。	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P65~P69
第6回	○月○日	一般知識・挨拶基本練習	社会常識を覚える、時事問題を知り答えることができる。	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P72~P80
第7回	○月○日	対人技能① (清潔感について)	一般的な人間関係を築く事が出来る	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P82~P95
第8回	○月○日	対人技能② (マニュアルの必要性)	接遇知識、対人心理が理解できる 接客者としてマナーを心得て実践する事が出来る	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P96~P101
第9回	○月○日	対人技能③ (用語、"職場での良い人間"とは)	話し方、接遇用語・提示・説明の仕方を覚える実践する事が出来る。	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P102~P116
第10回	○月○日	服装	接客者としての適切な服装を装う事が出来る	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P117~P120
第11回	○月○日	問題処理	問題処理。環境整備について実践する事が出来る。	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P122~P133
第12回	○月○日	敬語・環境整備・金品管理	金品管理・社交儀礼の業務ができる。	サービス接遇検定 公式テキスト3級 改訂版 P134~P144
第13回	○月○日	試験範囲の復習	試験対策のポイントを学び総復習をし、サービス接遇検定3級合格ラインの知識が身についている。	-
第14回	○月○日	試験実施	サービス接遇検定3級を受験し、合格する事が出来る。	-
第15回	○月○日	試験問題の解答・解説	試験問題の答え合わせと解説	-

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間・五肢択一式問題)
課題レポート: 20%分 (課題内容・評価基準は授業内にて説明。)
授業態度: 20点満点減点方式 (遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席: 0回欠席 (10点)、1回欠席 (5点)、2回欠席 (3点)、3回欠席 (1点) とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				50	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト						なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート	3位	2位			1位	20	良 (B) : 79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	西田 沙季	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	城戸 さち子
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	ビジネス文章力 I		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	硬筆書写技能検定試験3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	硬筆検定3級取得を目指した授業。文字を書くという私たちの日常生活での最も基本的な教養を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	硬筆書写技能検定3級の合格 就職活動に必要な履歴書の正しい記入方法を理解し、正しく記載できる。 お礼状の正しい書き方を理解し、正しく作成できる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	硬筆書写技能検定3級合格のポイント			教材名 ¹⁵	硬筆検定3級過去問プリント、練習用履歴書用紙、便箋			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	https://www.nihon-shosha.or.jp/schedule.html			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ¹⁹	ビジネス文章力II			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要・文字について	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明 基本点画を正しく書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイント
第2回	○月○日	漢字・楷書について① 硬筆検定3級問題解きなおし (第7問)	筆写の楷書体を理解し、実際に書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP111~119
第3回	○月○日	漢字・楷書について② 硬筆検定3級問題解きなおし (第1問)	枠と文字の大きさに注意し、字形を整え書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP17~32
第4回	○月○日	平仮名・片仮名について 硬筆検定3級問題解きなおし (第9問)	平仮名と片仮名を書くとき、漢字のサイズとバランスが調和するよう書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP133~142
第5回	○月○日	硬筆検定3級問題解きなおし (第4, 5, 8, 10問)	第1~4回目の授業で学んだことを意識しながら硬筆検定の過去問を解きなおし、合格ラインの点数を超える事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP71~100, 120~132, 143~154
第6回	○月○日	行書について 硬筆検定3級3級検定問題解きなおし	行書の書き方を理解し、やや進んだ行書を書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP42
第7回	○月○日	硬筆検定3級問題解きなおし (第6問)	掲示の正しい書き方を説明、実践する事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP101~110
第8回	○月○日	硬筆検定3級問題対策 (第1, 6問の対策)	本番の試験を想定し合格点を越える事が出来るよう早書き(第1問)と掲示(第6問)を書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP17~32, 101~110
第9回	○月○日	履歴書の書き方①	正しいとされる履歴書の書き方を説明する事が出来る。	練習用履歴書用紙
第10回	○月○日	履歴書の書き方②	何も見ずに履歴書に記載する事項を全て記入する事が出来る。	練習用履歴書用紙
第11回	○月○日	履歴書の書き方③ インターンシップお礼状を書く	実際に見学に行った動物病院へ正しくお礼状を書き郵送できる。	練習用履歴書用紙、便箋
第12回	○月○日	履歴書送付状の書き方について	送付状の正しいレイアウトと記入事項を過不足なく記入することができる	-
第13回	○月○日	内定のお礼、及び内定承諾書を送る	内定承諾書を送付する際に必要なお礼状を正しく書く事が出来る。	便箋
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	試験問題の解答・解説	試験問題の答え合わせと解説	-

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第15回の授業内で実施(50分間)
課題レポート: 20% (課題内容・評価基準は授業内にて説明)
授業態度: 減点方式 (遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
出席: 10% (1回欠席: 5点、2回欠席: 3点、3回欠席: 1点とする)
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				60	秀 (S) : 100点~90点	
②確認テスト	1位		2位			なし	優 (A) : 89点~80点	
③課題レポート	2位		1位			20	良 (B) : 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		10	可 (D) : 69点~60点	
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥出席			1位	2位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	北村 昌樹	授業担当教員	上川 華生
				実務経験紹介	-

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	コミュニケーション学		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	コミュニケーションについて学ぶ。日々の対人関係を円滑にするための基本的スキルの習得。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	社会人としての基本的なマナーを身につけ、円滑にコミュニケーションを図れるようになる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。							
教科書名 ¹⁴	なし			教材名 ¹⁵	PowerPoint「コミュニケーション学」(授業担当教員作)、Word「【コミュニケーション学】試験点数<各個人配布用>」(授業担当教員作) Googleスプレッドシート、Googleフォーム、Google			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	「GLOBIS CAREER NOTE」 https://mba.globis.ac.jp/careernote/1181.html			
関連前科目 ¹⁸	特になし			関連後科目 ^{18,19}	特になし			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明/コミュニケーション能力とは	授業概要説明 ICTについて知り、そのツールの1つであるビジネスメールを作成できる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第1回」 ・スプレッドシート「コミュニケーション学 第2回」
第2回	○月○日	授業前模擬試験	グループワークを通して、コミュニケーション能力を身につけるにはどうすればよいか答えにたどり着くことができる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第2回」
第3回	○月○日	自身のコミュニケーション能力の課題を知る	コミュニケーションの定義を学び、「自分にコミュカがあるのかないのか」についてロジックツリーを作成することができる。	・PowerPoint「コミュニケーション学 第3回」 ・Word「【コミュニケーション学 第4回」
第4回	○月○日	コミュニケーション能力を身につけるために(計画立案)/コミュニケーションの基本について	自分たちのコミュニケーションに関する課題を見つけ出し、PDCAサイクルを活用して改善に取り組むことができる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第4回」 ・スプレッドシート「コミュニケーション学 第5回」
第5回	○月○日	問いかける技術	動物看護師として必要なコミュニケーション能力を知り、安心感を与えられる看護師像について考察し、目指す動物看護師像を言語化できるようになる。	・PowerPoint「コミュニケーション学 第5回」
第6回	○月○日	傾聴姿勢について	傾聴には受容と共感が必要であることを学び、自分の意見を含めた傾聴姿勢をグループワークで実践することができる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第6回」
第7回	○月○日	傾聴 “価値観の違いを受け入れる	カードゲーム「ito」を用いて、相手に自分の持ち札の数字の大きさを伝えることができる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第7回」 ・カードゲーム「ito」
第8回	○月○日	問いに答える技術	アンチクライマックス法を用いて、与えられた問いに対して2分間で3問以上答えることができる。	・PowerPoint「コミュニケーション学 第8回」
第9回	○月○日	コミュニケーション能力向上のため	オープンクエストとクローズドクエストを場面によって使い分けすることができる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第9回」 ・スプレッドシート「コミュニケーション学 第10回」
第10回	○月○日	伝える技術	正しい言葉遣いで、相手から見て分かりやすい説明ができる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第10回」
第11回	○月○日	話し方: 3つの基本と3つの応用	話し方の3つの基本と3つの応用を理解するとともに、4つのタイプのうち自分がどれに当てはまるかを知り、自己理解を深めることができる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第11回」
第12回	○月○日	コミュニケーション能力向上のため	前回立案した目標を実行できたか評価し、結果によって15回目までの目標を立案する 今までの授業を振り返り、模擬試験に臨むことができる	・PowerPoint「コミュニケーション学 第12回」 ・スプレッドシート「コミュニケーション学 成績判定試験 採点表」
第13回	○月○日	成績判定試験①	試験①	・PowerPoint「コミュニケーション学 成績判定試験 採点表」
第14回	○月○日	成績判定試験②	試験② (試験①とはペアを変えて実施)	・Word「【コミュニケーション学】試験点数<各個人配布用>」
第15回	○月○日	PDCAサイクルを回す/成績判定試験	試験(第13回、第14回)を終えての考察 (グループワーク)	

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

成績判定試験: 第13回・第14回の授業内で実施。クラスメイト同士ペアで会話を行い、この授業で習ってきたテクニックができていないかを確認。(各回25点 合計50点)
詳細は第1回と第12回で説明。第1回実施後Google classroomにて掲示。

課題レポート: 第3回、第4回、第9回、第12回にてGoogleスプレッドシートで提出 評価基準は各回にて提示・説明

授業態度: 減点方式 (遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)

以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		2位			1位	50	秀 (S) : 100点~90点	
②確認テスト						なし	優 (A) : 89点~80点	
③課題レポート		1位	2位			20	良 (B) : 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可 (D) : 69点~60点	
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥出席			1位			10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	徳永 安衣	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					

2025年度シラバス

科目名 ¹	プレゼンテーション学		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	この授業ではビジネスにおけるプレゼンテーション(以下、プレゼン)の考え方や心理学的、実践的なプレゼンテクニックを学び、愛玩動物看護師としてその知識・技術を適正飼養指導の場で活用できるようになることを目指す。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の伝えたい内容を伝えられるようにプレゼンテーションが行える。 人前に出て、緊張せずにプレゼンテーションが行える。 							
受講条件	動物看護科に在籍している。							
教科書名 ¹⁴	テキスト：資料適宜配布 参考書：日本経済新聞出版「プレゼンテーションの技術」(山本 徹隆 著)			教材名 ¹⁵	PowerPoint「プレゼンテーション学」(授業担当教員作)、 Googleスプレッドシート、Googleフォーム			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	株式会社プロセル「プレゼンテーション技術が必要な理由やスキルを向上させる方法を解説」 https://prosell-traction.com/media/851			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	プレゼンテーションとは	授業内容: 授業概要説明/プレゼンの目的・重要性を知る 到達目標: 相手の記憶に残るように「楽しそうに要点を繰り返して」プレゼンできる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第1回」 ・スプレッドシート「発表準備シート」
第2回	○月○日	目的を達成するためのプレゼン	授業内容: 自分の話したい内容を客観的に捉え、プレゼンの目的を設定できる 到達目標: 「認識→理解→納得」の順でプレゼンできる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第2回」
第3回	○月○日	自分自身をコントロールするテクニック	授業内容: 人前に出て緊張しなくなるための知識を学ぶ/第15回の発表内容を考える 到達目標: プレゼンのセリフを丸暗記してはいけない理由を説明できる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第3回」
第4回	○月○日	眠くなるプレゼンテーションとは	授業内容: 聴衆が眠くなるプレゼンテーションの共通点を見出す 到達目標: 楽しそうなプレゼンで意識するべき3つのポイントを説明できる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第4回」
第5回	○月○日	分かりやすいプレゼンの共通点	授業内容: 分かりやすいプレゼンの共通点を見出す 到達目標: ポイントを3-5個に絞り込み、相手の知識を使ってアンチクライマックス法でプレゼンすることができる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第5回」
第6回	○月○日	認知心理学のテクニックを活用する	授業内容: プレゼンで活用できる認知心理学のテクニックを学ぶ 到達目標: アンカリング、返報性の法則、カクテルパーティ効果について説明できる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第6回」
第7回	○月○日	プレゼンテーションの実践①	授業内容: 第1回-第6回で学んできたテクニックを使ってプレゼンを実践する 到達目標: 第1回-第6回までで学んできたテクニックを用いて、国試過去問1問の覚えておくべきポイントを3分間でプレゼンできる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第7回」
第8回	○月○日	プレゼンテーション相手を知る自身の「声の魅力」を生かす	授業内容: プレゼン相手が誰なのかを考える/プレゼンで活用できる声の魅力を学ぶ 到達目標: 場面に合わせて正しいプレゼン相手を選択できる/声の魅力を使って過去問の解説ができる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第8回」
第9回	○月○日	実践で活用できるテクニック	授業内容: 実践で活用できるテクニックとして効果的な表現や姿勢・ジェスチャーを学ぶ 到達目標: 実践で活用できるテクニックの4つを説明できる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第9回」
第10回	○月○日	プレゼンテーションの実践②	授業内容: 第1回-第9回で学んできたテクニックを使ってプレゼンを実践する 到達目標: 第1回-第9回までで学んできたテクニックを用いて、国試過去問1問の覚えておくべきポイントを3分間でプレゼンできる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第10回」
第11回	○月○日	チームプレゼンテーション	授業内容: 第15回に実施するプレゼンテーションについて説明。第11-14回までの計画を立案する。 到達目標: 第15回のプレゼンに向けて進行計画を立案できる	・PowerPoint「プレゼンテーション学 第11回」 ・スプレッドシート「発表準備シート」
第12回	○月○日	発表準備①	授業内容: 第15回に実施するプレゼンに向けて準備 到達目標: 第11回に作成した計画を確認しながら準備を進めることができる	・スプレッドシート「発表準備シート」
第13回	○月○日	発表準備②	授業内容: 第15回に実施するプレゼンに向けて準備。担当教員に現時点での進捗状況で発表し、指摘を受ける 到達目標: 担当教員の前で発表し、指摘点を修正・訂正できる	・スプレッドシート「発表準備シート」
第14回	○月○日	発表準備③	授業内容: 第15回に実施するプレゼンに向けて最終準備 到達目標: 発表用のプレゼン資料を完成できる	・スプレッドシート「発表準備シート」
第15回	○月○日	発表・総括	授業内容: 全体発表(この回においては授業を実施している全クラスが集まって発表を実施)、その後担当教員から総評を行う 到達目標: 第1回-第9回までで学んできたテクニックを用いて、プレゼンできる	-

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹

プレゼンテーション: 第15回の授業内で班毎に7分間で発表。 ※詳細は第1回、第11回にて説明。Google classroomにて掲示。
 演習: 第7回(10点)、第10回(10点) 評価基準は各回にて提示・説明
 授業態度: 減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
 出席: 欠席0回で10点 1回で5点 2回で3点 3回で1点とする。
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①プレゼンテーション		2位		3位	1位	50	秀(S): 100点~90点
②演習		2位		3位	1位	20	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席点			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	北村 昌樹	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名 ¹	環境整備		学科名 (コース名) ²	動物看護科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	環境整備による職場への効果を知識として学び、クラス内を職場と見立てたうえで具体的な行動指針を策定し環境整備を実践する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	・効果的な(一定期間で達成することができる)目標・計画の立案ができるようになる。 ・目標が達成されたかどうかを客観的に評価することができる。 ・効果的な環境整備ができるようになる。							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している							
教科書名 ¹⁴	特になし			教材名 ¹⁵	PowerPoint「環境整備」(授業担当教員作)、Googleスプレッドシート			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	一般社団法人 日本動物看護師会 https://www.jvna.or.jp/code_of_ethics/			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ^{18,19}	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月18日	主体性とは/環境整備とは	動物看護過程について説明をし、環境整備で計画立案ができるようになる。社会人に求められる主体性を周囲に説明できるようにする。	PowerPoint「環境整備第1回目」
第2回	4月25日	身支度の重要性	身支度の重要性・必要性について学び、獣医医療に必要なものは何かを説明できる。	PowerPoint「環境整備第2回目」
第3回	5月9日	整理整頓とは	整理整頓の意味について学び、環境整備との関連に気付ける。	PowerPoint「環境整備第3回目」
第4回	5月16日	環境整備の流れ説明・改善目標考案	環境整備として担当箇所を周り、担当箇所の問題点と改善点の目標をたて、実行に移す。	PowerPoint「環境整備第4回目」
第5回	5月23日	環境整備実施	環境整備活動課題担当箇所をクラス全員で点検し、目標が達成できているかを客観的に判定できる。	PowerPoint「環境整備第5回目」・Google「スプレッドシート」
第6回	5月30日	環境整備とはの振り返りと改善点の気づき	環境整備活動課題担当箇所を担当とは別の箇所を視察し評価する。自分の担当箇所である問題点がどのくらい改善できていたか気付ける。	Google「スプレッドシート」
第7回	6月6日	状態目標・問題点・行動目標	新しい担当箇所を決め、環境整備を行う。担当箇所の状態目標、問題点、行動目標を班で気づくことができる。	Google「スプレッドシート」
第8回	6月13日	状態目標・問題点・行動目標ができていないかの評価	自分の担当箇所以外の箇所を視察し、「できているか・できていないか」を評価する。状態目標、問題点、行動目標を考えることによりどれだけ達成しているかに気付ける。	Google「スプレッドシート」
第9回	6月20日	周りを巻き込む	自分の担当箇所以外の箇所を視察し、「周りを巻き込む」方法を考え、次回の担当箇所に活かせることができる。	Google「スプレッドシート」 ²¹
第10回	6月27日	周りを巻き込む環境整備	自分の担当箇所以外の箇所を視察し、「できているか・できていないか」の評価を行う。「周りを巻き込む」方法を考え、気付いたことを発表する。さらに担当箇所をより良い環境整備を行うことができる。	Google「スプレッドシート」
第11回	7月4日	相手の立場にたつ	自身の考えが相手の立場を考慮して行っているかを振り返る。周りを巻き込む環境整備が行えたかを自分以外の箇所を視察し、「できているか・できていないか」を評価する。	Google「スプレッドシート」
第12回	7月18日	総復習と振り返り	自分の担当箇所以外の箇所を視察し、「できているか・できていないか」の評価を客観的に行う事が出来る。また、判断した理由を説明する事が出来る。	Google「スプレッドシート」
第13回	7月25日	環境整備目標達成のために	教員の手を借りずに自分の担当箇所の環境整備を行い、「問題点」・「改善目標」・「目標達成のための行動目標」を立てられる。	Google「スプレッドシート」
第14回	8月29日	環境整備目標達成確認	「評価・採点・問題点抽出」を他の班の担当箇所も考えることができる。	Google「スプレッドシート」
第15回	9月5日	最終評価/この授業を終えて	自分の担当箇所以外の箇所を視察し、「できたか・できていないか」を評価する。グループごとに「授業を終えて」の発表する。	Google「スプレッドシート」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)

成績判定試験:第13,14回授業にて実施(評価基準・配点は授業内で説明を実施。)
 課題レポート:20%分(Googleスプレッドシートにて課題提出。評価基準は授業内で説明を実施。)
 授業態度:減点方式(授業と関係ないことをしている、グループワーク内での不必要な私語、居眠りは1点ずつ減点していく)
 出席:減点方式(遅刻・早退は0.5点減点、欠席は1点減点)
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	2位	1位				60	秀(S):100点~90点	
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点	
③課題レポート	2位	1位				20	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥出席			1位	2位		10		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	高砂 珠乃	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	高砂 珠乃、大井 剛
				実務経験紹介	-

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹¹	アニマルヘルパー		学科名 ²² (コース名)	2. 動物看護科			学年 ³³	1学年
授業形態 ⁴⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵⁵	10月	該当資格区分 ⁶⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷⁷ 分	選択	単位数 ⁸⁸	1	時間数 ⁹⁹	30	該当資格名称 ¹⁰⁰	アニマルヘルパー	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 1 独立開業を目指す場合やトリマー、ドッグトレーナー、ペットショップ、ペットホテルなどの職業に就いても必要となる訪問サービスを学び身につける。犬・猫の行動特性を理解しヘルパー業務を身に付ける。また要介護が必要な動物のケアも学ぶ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 2 アニマルヘルパーが行うペット訪問サポートについて実践的に身につける。							
受講条件	13 3 YIC京都ペット総合専門学校に所属している。							
教科書名	14 4 日本ペットサービス研究会作成テキスト				教材名 ¹⁵⁵	5 日本ペットサービス研究会作成動画 全11回、動物のぬいぐるみ、包帯		
設備名・機器名	16 6 なし				関連サイト ¹⁷⁷	一般社団法人 日本ペットサービス研究会 https://pet-ken.com/		
関連前科目	18 8 なし				関連後科目 ^{18,19}	なし		

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.0

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要説明 インフォメーション	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 講座の目標、講座終了までの流れ、配布資料の確認 到達目標: 講座の目標と終了までの流れを説明できる	・ 動画①「概要説明・インフォメーション」 ・ 研究会作成テキスト
第2回	○月○日	犬の行動①	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 犬の発達過程、犬種特性① 到達目標: 犬の発達過程のステージの行動特徴を説明できる	・ 動画②「犬の行動」 ・ 研究会作成テキスト
第3回	○月○日	犬の行動②	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 犬種特性②、ボディランゲージ 到達目標: 犬種毎の特性を説明できる/犬のボディランゲージ画像の選択肢の中から正しい意味を選択できる	・ 動画②「犬の行動」 ・ 研究会作成テキスト
第4回	○月○日	猫の行動①	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 猫の発達過程、ボディランゲージ① 到達目標: 猫の発達過程のステージの行動特徴を説明できる	・ 動画③「猫の行動」 ・ 研究会作成テキスト
第5回	○月○日	猫の行動②	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 ボディランゲージ②、排泄や爪ときなど猫特有の行動 到達目標: 猫特有の行動を説明できる/猫のボディランゲージ画像の選択肢の中から正しい意味を選択できる	・ 動画③「猫の行動」 ・ 研究会作成テキスト
第6回	○月○日	業務 -犬①-	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 犬のお世話をする際の注意事項や散歩や食事など依頼される可能性が高い内容について 到達目標: 犬のお世話をする際の注意点を3つ説明できる	・ 動画④「業務 -犬①-」 ・ 研究会作成テキスト
第7回	○月○日	業務 -犬②-	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 犬のお世話をする際の注意事項や散歩や食事など依頼される可能性が高い内容とその手順 到達目標: 犬のお世話において依頼される可能性の高い事項の流れを説明できる	・ 動画④「業務 -犬②-」 ・ 研究会作成テキスト
第8回	○月○日	業務 -猫①-	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 猫のお世話をする際の注意事項やトイレ掃除や遊びなど依頼される可能性が高い内容について 到達目標: 猫のお世話をする際の注意点を3つ説明できる	・ 動画⑥「業務 -猫①-」 ・ 研究会作成テキスト
第9回	○月○日	業務 -猫②-	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 猫のお世話をする際の注意事項やトイレ掃除や遊びなど依頼される可能性が高い内容とその手順 到達目標: 猫のお世話において依頼される可能性の高い事項の流れを説明できる	・ 動画⑦「業務 -猫②-」 ・ 研究会作成テキスト
第10回	○月○日	介護ケア①	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 食事介護や排泄介護、運動介護など 到達目標: 各介護の時の注意点を3つずつ説明できる	・ 動画⑧「介護ケア①」 ・ 研究会作成テキスト
第11回	○月○日	介護ケア②	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 特別に看護が必要な動物の対応 到達目標: 看護が必要な動物への対応を説明できる	・ 動画⑧「介護ケア②」 ・ 研究会作成テキスト
第12回	○月○日	エキゾチックアニマル	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 一般的な小動物の具体的なお世話や注意事項 到達目標: 一般的な小動物のお世話における注意事項を3つ説明できる	・ 動画⑩「エキゾチックアニマル」 ・ 研究会作成テキスト
第13回	○月○日	CPR (心肺蘇生)	授業内容: 〈オンデマンド授業〉 訪問サービス時の心肺蘇生法のタイミングや具体的な方法 到達目標: 心肺蘇生のポイントを3つ説明できる	・ 動画⑪「CPR (心肺蘇生)」 ・ 研究会作成テキスト
第14回	○月○日	心肺蘇生・応急処置実習	授業内容: 〈対面授業〉 到達目標: 訪問サービス時に起こり得る怪我等の応急処置ができる	・ 研究会作成テキスト ・ 動物のぬいぐるみ ・ 包帯
第15回	○月○日	修了試験	授業内容: 〈対面授業〉 到達目標: アニマルヘルパーの試験を受け、検定を取得できる	・ 研究会作成修了試験

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) 21.1

検定試験: 第15回の授業内にて実施。 ※詳細は第14回〈対面授業〉にて説明
検定の取得を以て単位認定とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①検定試験	1位	2位				100	秀 (S) : 100点~90点	
②演習						なし	優 (A) : 89点~80点	
③課題レポート						なし	良 (B) : 79点~70点	
④授業態度						なし	可 (D) : 69点~60点	
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥出席						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	なし

シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	北村 昌樹	授業担当教員	阿部 令子 (日本ペットサービス研究会)		
				実務経験紹介			

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	ビジネス文章力Ⅱ		学科名 (コース名) ²	2. 動物看護科			学年 ³	3学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	硬筆書写技能検定試験2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	硬筆検定2級取得を目指した授業。文字を書くという私たちの日常生活での最も基本的な教養を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢と筆記具の持ち方を実践できる。 ・楷書・行書それぞれの点画の特徴を理解し、書き分けることができる。 ・文字のバランスを意識して文章や氏名・住所を整えて書くことができる。 ・はがき文や自由文などの実用文を検定の形式に沿って書写できる。 							
受講条件 ¹³	動物看護科に在籍している。ビジネス文章Ⅰの単位取得							
教科書名 ¹⁴	硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント			教材名 ¹⁵	硬筆検定2級過去問プリント			
設備名・機器名 ¹⁶	プロジェクター、スクリーン			関連サイト ¹⁷	https://www.nihon-shosha.or.jp/schedule.html			
関連前科目 ¹⁸	なし			関連後科目 ¹⁹	ビジネス文章力Ⅱ			

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要・検定概要説明/基本の姿勢と持ち方	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明 検定の内容と合格基準を理解し、正しい姿勢と筆記具の持ち方ができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第2回	○月○日	楷書の基本①: 点画の書き方(横画・縦画・払いなど)	楷書の基本的な点画を正しい筆順と形で書くことができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第3回	○月○日	楷書の基本②: 部首ごとのバランス	左右・上下に分かれる部首のバランスを整えて書くことができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第4回	○月○日	楷書の応用①: 文章の書写(短文)	楷書で短い文章をバランスよく書くことができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第5回	○月○日	楷書の応用②: はがき文の書写	郵便文例(はがき・案内文など)を楷書で丁寧に書ける。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第6回	○月○日	行書の基本①: 点画の変化と連続(つながり)	行書特有の点画の変化やつながりを正しく使って書ける。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第7回	○月○日	行書の基本②: 楷書からの移行練習	楷書から行書への変化を理解し、書き分けができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第8回	○月○日	行書の応用①: 氏名・住所の書写	氏名・住所を行書で整った形で書くことができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第9回	○月○日	行書の応用②: 自由文の書写	行書で自由文(感謝文・近況報告など)をバランスよく書くことができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第10回	○月○日	実践練習①: 検定課題形式(楷書)	検定の楷書課題に近い形式で書写練習ができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第11回	○月○日	実践練習②: 検定課題形式(行書)	検定の行書課題に近い形式で書写練習ができる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第12回	○月○日	知識問題対策①: 筆順・用語・字形	筆順や字形、書写に関する用語の知識を確認し、正しく理解できる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第13回	○月○日	知識問題対策②: 過去問演習	過去の知識問題に取り組み、出題傾向に対応できる。	・硬筆書写技能検定1.2級合格のポイント ・硬筆検定2級過去問プリント
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	成績判定試験実施	-
第15回	○月○日	試験問題の解答・解説	試験問題の答え合わせと解説	-

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) 21.

成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分間)
 課題レポート: 20% (授業内で説明を実施)
 授業態度: 減点方式 (遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点)
 出席: 10% (1回欠席: 5点、2回欠席: 3点、3回欠席: 1点とする)
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				60	秀 (S) : 100点~90点	
②確認テスト	1位		2位			なし	優 (A) : 89点~80点	
③課題レポート	2位		1位			20	良 (B) : 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		10	可 (D) : 69点~60点	
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥出席			1位	2位		10		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	丸山 圭太	シラバス承認者	丸山 圭太	授業担当教員	上川 華生
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				